MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

三菱純正用品
オリジナルナビゲーション
（詳細版）

MM115D-WM

取 扱 説 明 書

部品番号:
MZ609632

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。
ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本書内の画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ、消失したデータなどについては補償できません。

Bluetooth® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。
本書をお読みになる前にご確認ください。

A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
メニュー ／ 自宅	パネルのスイッチ／タッチパネルのタッチキーを表します。
	画面上でタッチするタッチキーを表します。

もくじ

本書の読みかた……3

はじめに A-1

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-5
本機の電源を入れる／電源を切る……A-7
各部の名称と機能……A-10
タッチパネルの操作のしかた……A-11
メニュー画面の操作のしかた……A-12
メニューのタッチキーをカスタマイズする……A-13
ディスプレイの角度を調整する……A-14
音声はそのままで画面を消す……A-14
ディスクやSDカードを入れる／取り出す……A-15
文字入力のしかた……A-16

ナビゲーションの基本操作 B-1

地図画面の見かた……B-2
地図表示(方位)を切り替える……B-5
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-6
地図を拡大／縮小する……B-8
自宅を登録する……B-9
右画面に地図／情報を表示する……B-10
Quick機能について……B-12
Quick MENUをカスタマイズする……B-14

ルート探索する C-1

施設の名称からルート探索する……C-2
住所からルート探索する……C-5
登録地点からルート探索する……C-6
周辺にある施設からルート探索する……C-7
目的地履歴からルート探索する……C-8
施設のジャンルからルート探索する……C-9
電話番号からルート探索する……C-11
マップコードからルート探索する……C-11
緯度・経度からルート探索する……C-12
郵便番号からルート探索する……C-12
スマートフォンアプリNaviConを使用する…C-13
地図スクロールしてルート探索する……C-14
自宅までルート探索する……C-14
ルートを変更する……C-15
ルート案内をストップ／スタートする……C-19
現在のルートを表示する……C-19
現在のルートを保存する……C-20
現在のルートを削除する……C-20
保存したルートを呼び出す／削除する……C-20
渋滞地点を確認する……C-21
渋滞予測ルート探索をする……C-21
シミュレーション走行をする……C-23
迂回ルート探索をする……C-24
ルート探索の詳細条件を設定する……C-25

ナビゲーションの設定 D-1

地図画面の表示を設定する……D-2
走行軌跡を設定する……D-6
案内画面を設定する……D-7
高速道路での逆走報知を設定する……D-10
場所を登録する……D-11
自宅／登録地点／フォルダ名を編集する……D-12
登録地点の順番を並び替える……D-15
自宅／登録地点を削除する……D-16
VICS情報の地図表示を設定する……D-17

情報を見る E-1

VICS情報を見る……E-2
VICS情報を選局する……E-4
緊急情報を見る……E-6
エコ運転診断の結果を表示する……E-7
渋滞予測地図を見る……E-9

各種設定／登録をする F-1

セキュリティを設定する……F-2
盗難多発地点案内を設定する……F-4
iPod抜き忘れ案内を設定する……F-5
メンテナンス情報を設定する……F-6
ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する…F-7
メニューを英語／韓国語／中国語で表示する…F-8
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-9
オプションボタンを設定する……F-10
キー操作音をON／OFFする……F-10
携帯電話／**Bluetooth**® Audio機器を
登録する……F-11

カメラを使う G-1

リヤビューカメラの映像を表示する……G-2

地図を更新する H-1

地図更新について……H-2
全国地図更新を利用する……H-2
主要地図更新を利用する……H-3

AVを楽しむ I-1

AVの基本操作……I-2
CDを聞く……I-4
ラジオ(FM／AM)を聞く……I-7
ラジオで交通情報を聞く……I-8
iPodを使う……I-9
WALKMAN®／USBメモリー／
SDカードを使う……I-15
Bluetooth® Audioを使う……I-19
AV設定をする……I-22
車速連動音量を設定する……I-24

テレビ放送を受信する J-1

TVを見る……J-2
視聴エリアの変更をする……J-5
チャンネルをスキャンする……J-6
郵便番号を設定する……J-6
中継・系列局サーチをする……J-6
各種設定をする……J-7
受信レベルを確認する……J-8
緊急警報放送について……J-8

外部機器の映像を見る／音声を聞く K-1

接続する……K-2
映像を見る／音声を聞く……K-3

ハンズフリーフォンを使う L-1

ハンズフリーフォンを使う……L-2
ハンズフリーの通話設定をする……L-6
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……L-7

困ったとき M-1

故障かな？と思ったら……M-2
こんなメッセージが表示されたら……M-14

必要なとき N-1

再探索する……N-2
自車位置を修正する……N-3
GPS情報を見る……N-4
システム情報／バージョン情報を見る……N-4
接続状態を確認する……N-5
映像の調整のしかた……N-6
GPS衛星の電波受信と測位……N-8
自律航法とマップマッチング……N-9
ルート案内について……N-10
ルート探索について……N-12
VICSについて……N-14
地図ソフトについて……N-17
市街地図の収録エリア……N-21
表示できる施設……N-27
テレビ／ラジオについて……N-29
ディスク／SDカードについて……N-30
WALKMAN®／USBメモリーについて……N-33
iPodについて……N-35
Bluetooth® について……N-36
ステアリングオーディオリモコンスイッチ
について……N-39
音楽ファイルについて……N-40
さまざまな情報・データを初期化する……N-43
仕様……N-44
初期設定一覧……N-45
別売品(システムアップ)について……N-48
商標など……N-49
保証とアフターサービス……N-51
さくいん……N-52

A
はじめに

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-5
本機の電源を入れる／電源を切る……A-7
電源を入れる……A-7
利用開始日登録とイージーセットアップを行う…A-7
電源を切る……A-9
各部の名称と機能……A-10
ディスプレイを閉じた状態……A-10
ディスプレイを開いた状態……A-10
タッチパネルの操作のしかた……A-11
メニュー画面の操作のしかた……A-12
目的地メニューの表示のしかた……A-12
AVメニューの表示のしかた……A-12
情報・設定メニューの表示のしかた……A-13
メニューのタッチキーをカスタマイズする…A-13
ディスプレイの角度を調整する……A-14
音声はそのままで画面を消す……A-14
ディスクやSDカードを入れる／取り出す…A-15
文字入力のしかた……A-16
ひらがな／カタカナ／英数字／記号を入力する…A-16
漢字を入力する……A-17
修正する……A-17

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

万一、異物が入った・水や飲みものがかかった場合や、煙が出る・変なにおいがする・変な音がするなど異常が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売会社に相談する

そのままご使用になると思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

運転者がテレビなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する

テレビなどは安全のため走行中は表示されません。交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

⚠ 警告

運転者は走行中に、本機や周辺機器の操作やディスクの交換はしない

前方不注意となり交通事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

思わぬ事故・火災・感電の原因となります。

本機の中に水や異物を入れない

発煙や発火、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

SDカードなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐ医師に相談してください。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

分解禁止

本機を分解したり、改造しない

交通事故・火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

本機の取り付け・配線は、専門技術者に依頼する

安全のため必ずお買い上げの販売会社に依頼してください。誤った取り付けや配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

⚠ 注意

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

直射日光が当たる場所で使用しない

金属部分が高温になり、触れると火傷する可能性があります。

ディスク／SDカード挿入口に異物を入れない

火災や感電、故障の原因となることがあります。

ディスク／SDカードに、はがれやすいシール、シート類が貼り付いた状態で挿入しない

火災や感電、故障の原因となることがあります。

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない

火災の原因となることがあります。

タッチパネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

タッチパネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをするおそれがあります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れない

皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で充分洗浄した後、医師に相談してください。

ディスプレイの収納時や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

安全上への配慮から、走行中は操作できない機能があります。
また、TVなどの映像ソースは、走行中には映像を表示せず、音声のみ流れます。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。
常温に戻ると正常に動作します。

結露について

雨の日または湿度が非常に高いとき、寒いとき、ヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに露(水滴)が生じることがあります。この状態では、レーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びや映像が欠けるなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- 液晶パネルの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶パネルの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。

車のエンジン停止中でのご使用について

- エンジン停止中に本機をご使用になりますと、車のバッテリーがあがるおそれがあります。
  エンジンを停止したままで長時間ご使用にならないでください。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

- 画面は指紋やほこりが付きやすいので、ときどき清掃してください。
  清掃するときは、車のキースイッチを「OFF」にし、乾いた柔らかい布で拭いてください。(汚れをおとす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸してよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください)
  ぬれたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。
  また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、表面が変質することがありますので使用しないでください。

キーレスオペレーションキーの動作について

キーレスオペレーションキーが装着されている車両では、キーレスオペレーションキーを本機に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バス・商用車など)に使用した場合、保証の対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客さまの責任において消去してください。
- 本機の使用を誤ったときや静電気・電気的なノイズの影響を受けたときに基本プログラムなどが消失・変化した場合は補償できません。また、修理によって本機に登録した内容(登録地点など)が消去された場合も補償できません。
- 地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に保存されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償できません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

著作権について

お客さまが録音·録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたWALKMAN®／USBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内でご使用ください。

その他

バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、プリセットしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。

本機の電源を入れる／電源を切る

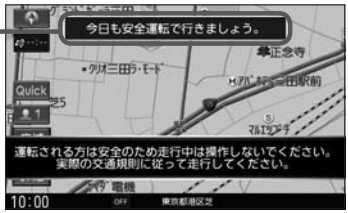
電源を入れる

1 車のキースイッチを「ACC」または「ON」にする。

※初回起動時は、取付確認・設定画面が表示されますので、以降の手順に従って利用開始日登録およびイージーセットアップを行ってください。

安全運転メッセージの内容は時間帯によって異なります。

起動時に地図画面が表示されたとき（例）



お知らせ

- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、三菱自動車工業本社付近を表示します。**
- 安全運転メッセージは非表示にできます。

利用開始日登録とイージーセットアップを行う

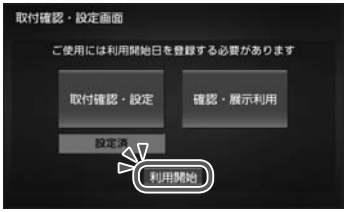
初回起動時、取付確認・設定画面が表示されます。

1 **利用開始** をタッチする。

：利用開始日登録画面が表示されます。

※ **利用開始** をタッチできない場合は、車をGPSが受信できる場所に移動してください。

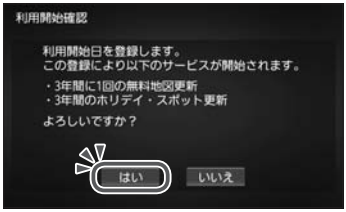
※ **利用開始** 以外をタッチした場合は、車のキースイッチを入れなおしてください。



2 **はい** をタッチする。

※3年の間に1回無料*[1]で全国地図の更新が受けられます。

＊1…無料の全国地図更新を受けられるのは、12ヶ月／24ヶ月法定点検時、3年車検時のいずれか1回のみです。



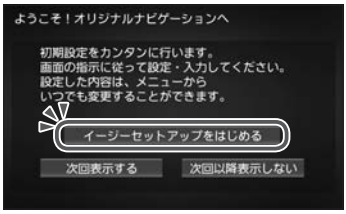
3 OK をタッチする。

：イージーセットアップ画面が表示されます。

お知らせ

一度登録すると、次回から登録確認画面は表示されません。登録しないで車のキースイッチを「OFF」にすると、本機を起動時、再度取付確認・設定画面が表示されます。

4 イージーセットアップをはじめる をタッチする。



お知らせ

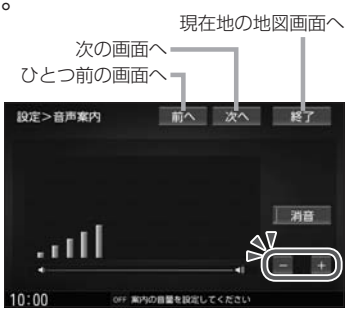
次回表示する ／ 次回以降表示しない をタッチすると下記の設定になります。

次回表示する	次回起動時、再度イージーセットアップ画面を表示
次回以降表示しない	次回起動時、イージーセットアップ画面を非表示（情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ イージーセットアップ をタッチして表示させてください）

5 以降は、画面に従って、セットアップ操作をする。

■ ルート案内時の音量設定

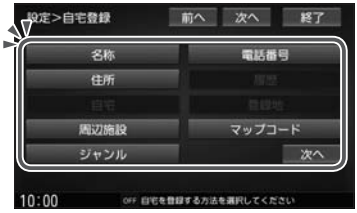
－ ／ ＋ をタッチして音量を設定します。



■ 自宅設定

自宅へのルートを探索するために自宅を登録します。
登録方法を選んでください。

※自宅が登録済みの場合は、確認メッセージが表示されます。



■ **Bluetooth® 設定**

ハンズフリーフォンなどを使うために携帯電話の登録や音量設定などを行います。

■ **オプションボタン設定**

項目をタッチして、パネルの☆(OPT)に割り当てる機能を設定します。

6 **終了** をタッチする。

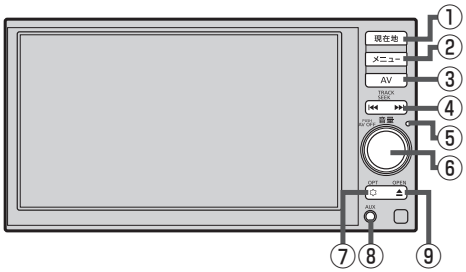
：イージーセットアップを終了し、現在地の地図画面を表示します。

電源を切る

1 車のキースイッチを「OFF」にする。

各部の名称と機能

ディスプレイを閉じた状態



① 現在地 スイッチ

- 今いる場所の地図を表示します。
- 長押しすると画質調整画面を表示します。

② メニュー スイッチ

- トップメニュー画面を表示します。
- 長押しすると画面を消します。

③ AV スイッチ

選択中のオーディオ画面またはAVメニュー画面を表示します。

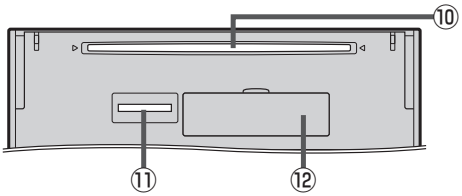
④ ⏮ ⏭ スイッチ

- 押すと
  CD／iPod／WALKMAN®／USB／SD／Bluetooth® Audio
  ：曲の頭出し
  ラジオ／TV　：選局
- 押したままにすると
  CD／iPod／WALKMAN®／USB／SD／Bluetooth® Audio
  ：早戻し、早送り
  ラジオ／TV　：自動選局

⑤ セキュリティインジケータ

セキュリティコードを設定すると、点滅して盗難抑止のお知らせをします。

ディスプレイを開いた状態



⑥ ロータリースイッチ

⑥-1 音量 ツマミ

音声案内中／AV ON時／ハンズフリーフォン中に各音量を調整できます。

※次の音量は音出力中でなくても別方法で音量設定できます。
音声案内→F-9ページ、ハンズフリー→L-6ページ

⑥-2 PUSH AV OFF ボタン

押すとAVをON／OFFします。

⑦ ☆ スイッチ(OPT)

オプションボタン画面で選んだ機能の操作をします。

⑧ AUX端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。

⑨ ⏏ スイッチ(OPEN)

- OPEN／EJECT画面を表示します。
- ディスプレイを閉じます。

⑩ ディスク挿入口

⑪ SDカード挿入口

⑫ 地図SDカード挿入口

あらかじめ地図SDカードが挿入されています。

※ドライバーなど工具を使用して開けると、ツメ部分が破損するおそれがありますのでご注意ください。

タッチパネルの操作のしかた

タッチ（触れる）

1回軽く触れます。

メニュー画面 リスト画面
次の画面に移ります。

地図画面
タッチした場所が地図の中心になります。

お知らせ

- タッチできないキーは暗くなります。
- ▲▲ ／ ▼▼ をタッチするとリストを上下に動かすことができます。

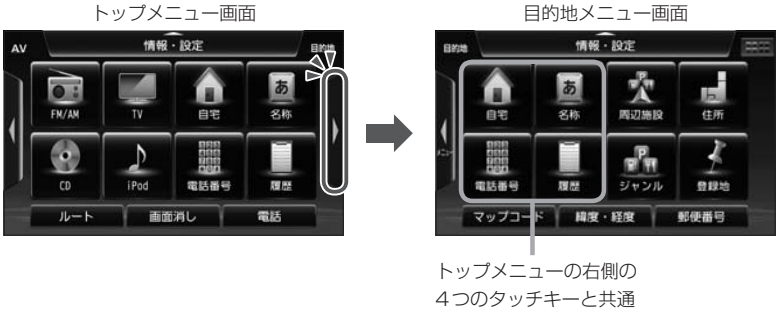
画面を操作するときは指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面にキズが付いたり、誤動作の原因となります。

メニュー画面の操作のしかた

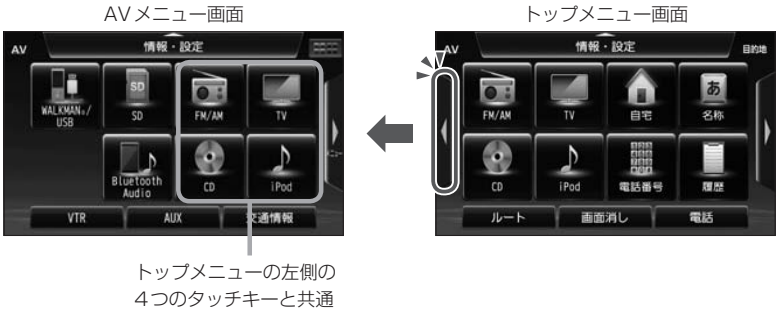
1 メニュー を押してトップメニューを表示させ、
上または左右の表示キーをタッチする。

トップメニュー画面

目的地メニューの表示のしかた



AVメニューの表示のしかた



情報・設定メニューの表示のしかた

トップメニュー画面

情報・設定メニュー画面

情報・設定メニュー画面に移る前のメニュー名を表示します。
（トップメニューは“メニュー”と表示）
タッチすると移る前の画面に戻ります。

お知らせ

目的地メニューやAVメニューから情報・設定メニューに移ることもできます。

メニューのタッチキーをカスタマイズする

目的地メニュー内またはAVメニュー内のタッチキーを入れ替えることができます。

1 目的地メニューまたはAVメニューからカスタマイズキーをタッチする。

目的地メニュー(例)

メニュー下段のタッチキーは入れ替えることができません。

2 入れ替えたいタッチキーを2つ選んで、それぞれをタッチする。

：選んだタッチキーが入れ替わります。

(例) 電話番号 と 登録地 をそれぞれタッチすると、タッチキーが入れ替わり、トップメニューに 登録地 が表示されます。

目的地メニューからカスタマイズキーをタッチした場合(例)

AVメニューと目的地メニューを切り替えることができます。

トップメニューの右側の4つのタッチキーと共通になります。
※AVメニューからカスタマイズした場合は、トップメニューの左側の4つのタッチキーとカスタマイズ画面の右側の4つのタッチキーが共通になります。

操作説明画面を表示

目的地メニューがお買い上げ時の設定に戻ります。

目的地メニュー／AVメニューともにお買い上げ時の設定に戻ります。

ディスプレイの角度を調整する

1 ▲(OPEN)を押す。

2 ▲または▼をタッチする。

※ディスプレイの角度を５段階に調節できます。

お知らせ

車のキースイッチを「OFF」にすると、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると、前回角度調整した段階でディスプレイが開きます。

音声はそのままで画面を消す

画面を消して音声のみ聞くことができます。

1 メニューを長押しする。

：画面が暗くなります。

※再度画面を表示する場合は、画面をタッチしてください。

お知らせ

- トップメニューの 画面消し をタッチしても画面を消すことができます。
- リヤビューカメラが接続されている場合に車のシフトレバーをリバースに入れると、画面消し中でもカメラ映像に自動的に切り替わります。（シフトレバーをリバース以外に入れると、画面を消す前に表示していたソースの画面をしばらく表示してから画面が消えます）

ディスクやSDカードを入れる／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

1 ▲(OPEN)を押し、**OPEN**をタッチする。

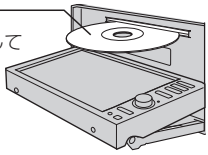
：ディスプレイが開きます。

2 ■ ディスク／SDカードを入れる

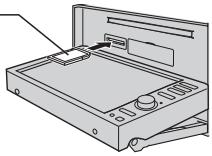
ディスクはディスク挿入口に、SDカードはSDカード挿入口に入れる。

：自動的にディスプレイが閉じます。

ディスク
記録面を下にして入れる。



SDカード
ラベル面を上にしてカチッと音がするまで入れる。



■ ディスクを取り出す

① **DISC EJECT**をタッチする。

：ディスク挿入口より自動で押し出されます。

② ▲(OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

■ SDカードを取り出す

① SDカードを１回押して取り出す。

② ▲(OPEN)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

お知らせ

- ディスプレイが開いたまま、車のキースイッチを「OFF」にした場合は、自動的にディスプレイが閉じます。ディスクやSDカードが完全に入っていないときは、自動的には閉じません。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、お気をつけください。
- 長時間使用すると、SDカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを入れると自動でディスプレイが閉じ、再生がはじまります。

文字入力のしかた

入力する画面によっては、入力できる文字の種類に制限があります。画面に表示されるタッチキーは、入力する画面によって異なります。
(例)名称検索(→C-2ページ)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。

お知らせ

携帯電話での操作のような入力方式への切り替え

①文字入力画面で、 入力切替 をタッチする。

：携帯電話での操作のような入力方式に切り替わります。
再度 入力切替 をタッチすると、通常の入力方式に戻ります。

※ 入力切替 が表示されていない画面では、携帯電話での操作のような入力方式で文字入力できません。

②タッチキーをタッチして文字の種類を選ぶ。

：タッチするたびに下記のように切り替わります。

カナ → 英字 → 数字 → かな

※タッチキーが表示されていない画面では文字の種類を選ぶことはできません。

③入力したい文字が表示されるまでタッチキーをタッチする。

ひらがな／カタカナ／英数字／記号を入力する

1 タッチキーをタッチして文字の種類を選ぶ。

：タッチするたびに下記のように切り替わります。

カナ → 英数 → 記号 → かな

※タッチキーが表示されていない画面では文字の種類を選ぶことはできません。

2 文字を入力し、 無変換 ➡ 決定 をタッチする。

※ 無変換 のタッチが不要な場合があります。そのときは 決定 をタッチしてください。

※小文字、濁点文字、半濁点文字に変換したい場合は、 小" ° をタッチしてください。
(変更可能な文字のみ)

※アルファベットを小文字に変換したい場合は、 小文字 をタッチしてください。

お知らせ

- ■ をタッチすると１文字分のスペースを空けることができます。
- 設定を変更したときは 決定 をタッチして設定を保存してください。 決定 をタッチしないで 現在地 / メニュー を押したり、 戻る をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

漢字を入力する

1 ひらがなで文字を入力し、**変換** をタッチする。

※ **変換** が表示されていない画面では
漢字入力はできません。

2 変換したい漢字を選んで、**決定** をタッチする。

お知らせ

← ／ → をタッチして変換する文字の範囲を選ぶことができます。

修正する

入力した1文字を修正	**修正** をタッチ
全ての文字を修正	**修正** を長押し
途中の文字を修正	← ／ → をタッチし、修正したい文字の後ろへカーソルを移動 ➡ **修正** をタッチ

B

ナビゲーションの基本操作

地図画面の見かた……B-2
画面のタッチキーについて……B-2
画面の表示内容について……B-3
地図画面の表示内容について……B-4
地図表示(方位)を切り替える……B-5
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-6
平面地図をスクロールする……B-6
3D表示画面でスクロールする……B-7
地図を拡大／縮小する……B-8
自宅を登録する……B-9
右画面に地図／情報を表示する……B-10
Quick機能について……B-12
Quick MENUをカスタマイズする……B-14

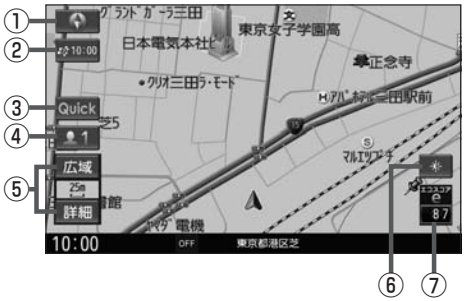
地図画面の見かた

操作するためのタッチキーやさまざまな情報を地図画面に表示します。

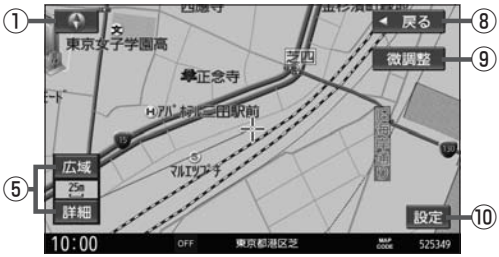
画面のタッチキーについて

現在地画面

現在地 を押すと、現在地画面が表示されます。



地図スクロール画面



①方位キー

地図表示(方位)を切り替えることができます。

②VICSタイムスタンプキー

- キー内にVICS情報が提供された時刻を表示します。
- 渋滞／規制地点を表示します。

③ Quick キー

Quick MENUを表示します。
→B-12ページ

④ユーザーカスタマイズキー

ユーザー(1、2)を切り替えたり、ユーザー名を編集したり、ユーザーカスタマイズキーを消したりします。

⑤ 詳細 ／ 広域 ／キー

地図の縮尺の表示と変更をします。
市街地図の縮尺表示では、🔍が表示されます。
(例)市街地図25 m：

⑥明るさアップキー

車のライト点灯時に表示され、画面の明るさを切り替えます。
※設定や時間帯によって表示されない場合があります。

⑦簡易エコスコアキー

- キー内にエコスコアの数値を表示します。
- エコスコアやエコ運転度の画面を表示します。

⑧ 戻る キー

ひとつ前の画面に戻ります。

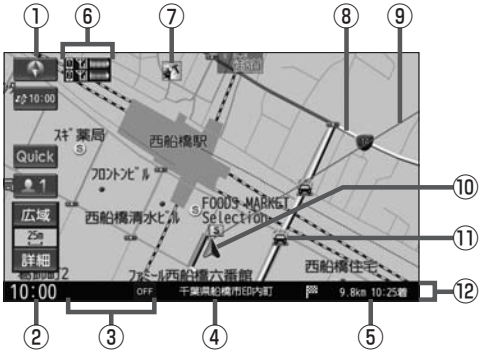
⑨ 微調整 キー

スクロールの微調整をします。
(平面地図のみ)

⑩ 設定 キー

吹き出しメニューを表示します。
→B-13ページ
閉じる をタッチすると吹き出しメニューを閉じます。
※吹き出しメニュー以外の画面をタッチしても閉じることができます。

画面の表示内容について



①GPS受信表示

現在地の測位の状態を色で表示
※測位には時間がかかる場合があります。
黄色：現在地の測位完了
灰色：現在地の測位未完了／測位計算中

②現在の時刻

③各種マーク表示

携帯電話の通話状態や再生中のAVソースなどのマークを表示

④周辺の住所(または道路名)／AV情報

⑤目的地への残距離、到着予想時刻(ルート案内時)

⑥携帯電話の電波状態、電池残量

携帯電話の状態の表示
(登録／未登録、接続／未接続、電波状態、電池残量)
：電話1で登録し、未接続
：電話1で登録し、接続済み
非表示：電話1／電話2で未登録または接続設定解除
※電話2も同様の表示となります。
※電話1／電話2以外の接続設定では本表示はされません。

⑦盗難多発地点表示

縮尺が100 mまでの地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分し表示
(お買い上げ時、市街地図では表示しません)
※盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。
(地域により基準は異なります)
※お客さまの設定によっては表示されません。

⑧案内ルート

目的地を設定するとルート表示されます。
青　色：有料道路
黄　色：一般道路
ピンク：細街路

⑨目的地方向表示

ルート設定時、赤い直線で目的地の方向を表示

⑩自車マーク

車の位置(現在地)と進行方向を表示
※設定によりマークの色を変更できます。

⑪冠水注意ポイント表示

縮尺が100 mまでの地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示(お買い上げ時、市街地図では表示しません)
※お客さまの設定によっては表示されません。

⑫情報バー

地図画面の表示内容について

道路の表示

青色：高速道路、有料道路　　緑色：主要地方道、県道　　灰色(細線)：細街路
赤色：国道　　灰色(太線)：一般道　　青色(破線)：フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。
※市街地図の場合、高速道路、有料道路以外は異なる色で表示されます。
※走行中は、細街路(道幅5.5 m 未満の道路)を表示しません。
・細街路を走行しているときは、細街路を表示します。
・細街路によっては、走行中も消えないものもあります。
※計画道路　● 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
● 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。

地図表示アイコン(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署・市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む：分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城・城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- JRA 競馬場・ウィンズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点
- 冠水注意ポイント

※改善のため予告なく変更することがあります。

立体アイコン(例)

東京タワー

東京都庁
(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

地図表示(方位)を切り替える

地図画面の方位を切り替えることができます。

1 地図画面の方位キーをタッチする。

：タッチするたびに方位表示や画面が切り替わります。

進行方向が上( ) ➡ 3D表示( )

北方向が上( )

進行方向(進行方向が上)	車の進行方向が常に上に向くよう地図を表示します。 走行に合わせて地図が回転します。
3D(3D表示)	進行方向が常に画面の上を向きます。
北向き(北方向が上)	北方向が常に上に向くよう地図を表示します。

お知らせ

3D表示について

- 3D表示のとき、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が複雑にならないように文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字が表示されなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。
- 地図と検索結果リストの両方が表示されている目的地の検索結果画面では、3D表示に切り替えることはできません。

地図をスクロールする(地図を動かす)

地図をスクロールして、見たい地域を表示できます。
走行中はスクロール操作が制限されます。

平面地図をスクロールする

1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(−┼−)が表示され、タッチした場所が中心になります。

2 スクロールしたい方向をタッチし続ける。

：カーソル(−┼−)の近くをタッチすると低速で、
カーソル(−┼−)から離れた場所をタッチすると高速で
スクロールします。

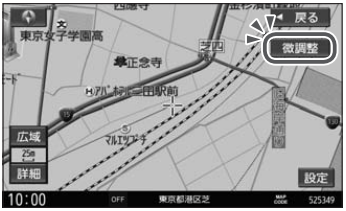
お知らせ

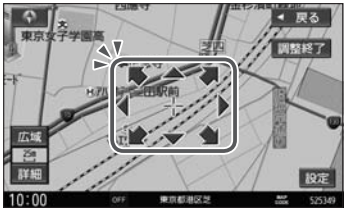
見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させてから詳細な地図に変えて目的地を探します。

微調整をする

1 地図をスクロールさせ、**微調整**➡動かしたい方向の矢印をタッチする。

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。
※ 以外をタッチしてもスクロールしません。
※微調整が終了したら**調整終了**をタッチしてください。スクロール画面に戻ります。
※走行中は微調整できません。





3D表示画面でスクロールする

1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(−┼−)と↺／↻が表示されます。

2 動かしたい方向へタッチし続ける。

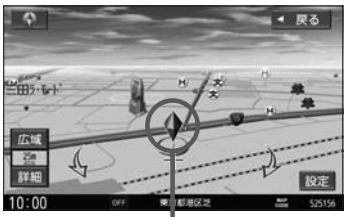
：カーソル(−┼−)の近くをタッチすると低速で、
カーソル(−┼−)から離れた場所をタッチすると高速でスクロールします。

※↺／↻をタッチして向きを変えることもできます。

↺：カーソル(−┼−)を中心に右回転(時計回り)

↻：カーソル(−┼−)を中心に左回転(反時計回り)

※走行中は3D表示画面でスクロールできません。



自車マークは◆で表示

お知らせ

最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域に移ると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。

地図を拡大／縮小する

1 詳細 ／ 広域 をタッチする。

詳細 ／ 広域 をタッチ

タッチし続けると、ズームアウト／ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

縮尺バーを利用する場合

詳細 ／ 広域 をタッチすると、縮尺バーが表示されます。縮尺バーをタッチして、詳細(拡大)表示、広域(縮小)表示させることができます。

お知らせ

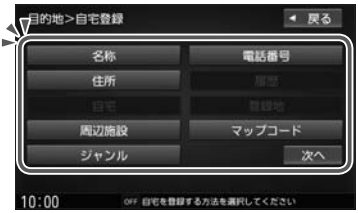
右画面に地図を表示していて右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面上で同じように操作してください。

自宅を登録する

自宅を登録すると、自宅までのルートを探索できます。

1 目的地メニューから 自宅 をタッチする。

2 登録方法を選んでタッチする。

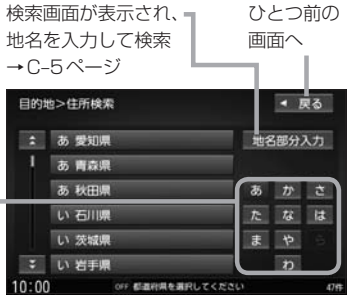


例 住所から自宅を登録する

① 住所 をタッチする。

② リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、丁目などを順に選んでタッチする。

：自宅周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。



タッチした行(あ行～わ行)のリストのところまでリスト送りします。

お知らせ

- 丁目などを表示するリスト画面右の数字をタッチすると、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。
- 登録方法を 地図 ／ 現在地付近 ／ 出発地付近 ／ 目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。

3 地図に表示された場所を自宅に登録する。

表示された場所のまま登録する	吹き出しメニューの 自宅に設定する をタッチ ※地図のみ表示された場合は 設定 をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
場所の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる をタッチ ➡カーソル(−┼−)が登録したい場所に合うように地図をスクロール➡ 設定 をタッチ➡ 自宅に設定する をタッチ

：自宅が登録され、自宅までのルート探索をするかメッセージが表示されます。 はい をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。 いいえ をタッチすると、自宅周辺の地図が表示されます。

お知らせ

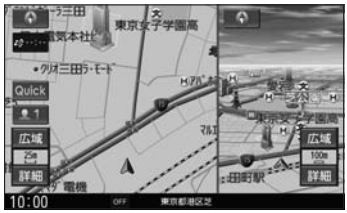
- 自宅のマークは になります。マークは登録地詳細画面で変更できます。→D-12ページ
- “登録地を表示” しない に設定している場合は、自宅を登録しても地図上にマークは表示されません。→D-4ページ
- 自宅の登録を変更したい場合は、情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ ナビデータ編集 ➡ 登録地編集 ➡ 自宅編集 ➡ 削除 をタッチして自宅を登録しなおすか 位置修正 をタッチして自宅を変更してください。

右画面に地図／情報を表示する

現在地画面で、画面を2つに分けて、右画面に縮尺の異なる地図やルート情報などを表示させることができます。

1 現在地画面で Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

地図	地図が2画面で表示されます。  **お知らせ** ● 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。 ● 右画面の方位／縮尺の設定を変えることもできます。 ● シミュレーション走行中は右画面地図表示⇔全画面表示の切り替えはできません。
ルート情報	ルート案内中にルート情報が表示されます。 経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示

ハイウェイモード	タッチするたびに表示灯の 点灯⇔消灯が切り替わります。 点灯：高速道路／一般有料道路 走行中のみルート情報を 右画面表示 消灯：ルート情報を右画面非表示
OFF	全画面表示に戻します。 ※ハイウェイモードで右画面表示をしている場合は、 OFF をタッチしても全画面表示に戻りません。 ハイウェイモード の表示灯を消灯させてください。

お知らせ

- ルート情報 をタッチまたは情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 案内 で“ルート情報の表示” する に設定すると ハイウェイモード はタッチできません。
- ハイウェイモードを選んでいる場合、他の項目を選んでいてもハイウェイモードを優先して表示します。
- ルートを引いていないとルート情報は表示されません。

お知らせ

右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると全画面表示に切り替わります。 現在地 を押すと、右画面表示に戻ります。

Quick機能について

主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／吹き出しメニュー)を設けています。
Quick MENUを表示させるには現在地画面で Quick 、吹き出しメニューを表示させるには地図スクロール画面で 設定 をタッチします。

Quick をタッチ(現在地画面)

※お買い上げ時

お気に入り地点	お気に入り地点までのルートを探索します。
再探索	探索条件を変えて、再探索できます。 ※ルート案内を停止している場合はタッチできません。
渋滞地点	設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認できます。 ※ルート案内を停止している場合はタッチできません。
音声案内	ルート案内の音声の音量を設定します。
走行軌跡	通った道にしるしを付け記録するかどうかを設定します。
右画面表示	右画面に地図／ルート情報などを表示します。 ※ハイウェイモード(高速道路走行中のみルート情報を右画面表示)の設定もできます。
ランドマーク	地図上にマークで表示させる施設を設定します。
登録・履歴消去	登録地点や目的地履歴などを消去します。
地点を登録	タッチすると、現在地が地点登録されます。
オプション設定	パネルの☆(OPT)に割り当てる機能を設定します。

お知らせ

Quick MENUはカスタマイズできます。→B-14ページ

設定 をタッチ(地図スクロール画面)

一部のタッチキーはスクロール時でないときでも表示されることがあります。

目的地に設定する	目的地を登録し、ルートを探索します。
複数探索	複数ルート探索をします。
経由地に設定する	経由地を設定します。 ※ルート案内を停止している場合は表示されません。
地点を登録する	カーソル(–┼–)に合わせた場所を登録します。
周辺の施設検索	スクロール先の場所周辺の施設を検索します。
出発地に設定する	出発地を設定します。 (ルート編集画面で出発地を変更する場合のみ)
自宅に設定する	自宅を登録します。(自宅が未登録の場合のみ)
テナント情報	テナント情報(建物の中のテナント名や階数、電話番号など)が確認できます。 (市街地図でテナント情報のある施設にカーソル(–┼–)を合わせた場合のみ) ※データが収録されていない場合もあります。また、ビル名称のみ収録されている場合はテナント情報を見ることはできません。 ※電話番号が収録されている場合は 電話する が表示されます。 電話する ➡ 発信 (携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話の 発信)をタッチすると、ハンズフリーフォンで通話できます。(ハンズフリーフォンができない状態のときは通話できません)
地点を編集する	登録地点を編集します。 (地点マークにカーソル(–┼–)を合わせた場合のみ)
施設の詳細	ランドマークに設定した施設や盗難多発地点の詳細情報を表示します。(該当の場所にカーソル(–┼–)を合わせた場合のみ) ※電話番号が収録されている場合は 電話する が表示されます。 電話する ➡ 発信 (携帯電話を複数台登録している場合は、通話したい携帯電話の 発信)をタッチすると、ハンズフリーフォンで通話できます。(ハンズフリーフォンができない状態のときは通話できません)

Quick MENUをカスタマイズする

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定できます。

1 現在地画面で Quick ➡ 設定 をタッチする。

2 Quick MENU配置より配置したいタッチキーを選び、続けてメニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。

Quick MENUの設定をお買い上げ時の状態へ

選んだQuick MENU配置のメニューを消去

Quick MENU配置のメニューを全て消去

現在設定されているメニューの配置イメージ

Quick MENUに追加できる機能

1. お気に入り地点
2. 再探索
3. 渋滞地点
4. VICS文字情報
5. VICS図形情報
6. 地点を登録
7. 登録・履歴消去
8. 右画面表示
9. 音声案内
10. ユーザー切替
11. 携帯電話登録一覧
12. リダイヤル
13. 消音
14. 交通情報
15. 走行軌跡
16. オプション設定
17. ランドマーク

C
ルート探索する

施設の名称からルート探索する……C-2
住所からルート探索する……C-5
登録地点からルート探索する……C-6
周辺にある施設からルート探索する……C-7
目的地履歴からルート探索する……C-8
施設のジャンルからルート探索する……C-9
電話番号からルート探索する……C-11
マップコードからルート探索する……C-11
緯度・経度からルート探索する……C-12
郵便番号からルート探索する……C-12
スマートフォンアプリNaviConを使用する…C-13
本機でNaviCon対応可能な端末について…… C-13
準備する…… C-13
NaviConを使用する…… C-13
地図スクロールしてルート探索する……C-14
自宅までルート探索する……C-14
ルートを変更する……C-15
目的地／出発地を変更する…… C-15
目的地を追加する …… C-16
経由地を追加する …… C-17
経由地を変更／削除する…… C-18
経由地／目的地など地点を入れ替える…… C-18
探索条件を変更する…… C-18
ルート案内をストップ／スタートする……C-19
現在のルートを表示する……C-19
現在のルートを保存する……C-20
現在のルートを削除する……C-20
保存したルートを呼び出す／削除する……C-20
渋滞地点を確認する……C-21
渋滞予測ルート探索をする……C-21
シミュレーション走行をする……C-23
迂回ルート探索をする……C-24
ルート探索の詳細条件を設定する……C-25

施設の名称からルート探索する

施設の名称を直接入力したり、施設候補を地域やジャンルから絞り込んで探すことができます。

1 目的地メニューから 名称 をタッチする。

2 施設名称をひらがなで入力し、 検索 をタッチする。

：50音順に施設リスト画面が表示されます。

※検索候補が10,000件より多い場合 検索 はタッチできません。

※濁点、半濁点、長符号の入力および小文字への変換を省いても検索できます。

3 検索方法を選ぶ。

■ 50音順のリストから施設名を選ぶ

① 施設名を選んで、 決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

■ 距離順のリストから施設名を選ぶ

① 距離順 をタッチする。

：地図上の直線距離で現在地から近い順に施設名が表示されます。

② 施設名を選んで、 決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

■ 絞り込みで施設名を選ぶ

① 絞込み をタッチする。

② 条件を選んでタッチする。

地域	都道府県名➡市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル➡施設の種類をタッチ

③ リストから施設名を選んで、 決定 をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。

お知らせ

- 検索候補の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 絞り込み検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 指定した条件を変更したい場合は、 地域 ／ ジャンル をタッチして選びなおしてください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチすると続きを確認できます。

4 地図表示された場所を目的地に設定する。

表示された目的地のまま設定する	吹き出しメニューの 目的地に設定する ／ 複数探索 をタッチ ※地図のみ表示された場合は 設定 をタッチし、吹き出しメニューを表示してください。
目的地の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる をタッチ ➡カーソル(−┼−)が目的地に合うよう地図をスクロール ➡ 設定 をタッチ ➡ 目的地に設定する ／ 複数探索 をタッチ

目的地に設定する ：1ルート探索します。
現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。

複数探索 ：距離優先など最大5ルートを探索し、その中から選ぶことができます。

5 ルート案内を開始する。

■ 目的地に設定する をタッチしたとき

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

ルート全表示画面

ルートの詳細情報を表示

複数探索できます。

■ 複数探索 をタッチしたとき

① 探索条件を選んでルートを確認し、
案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離、所要時間、到着予想時刻（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示）

お知らせ

探索条件について

自動	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
eco	燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルートを探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索

※探索条件を設定してもお客さまの意図と異なるルートを案内する場合があります。

お知らせ

現在地から目的地までのルート探索をする際、自車マークの位置／角度が間違っている場合は、必ず修正してください。→N-3ページ

住所からルート探索する

1 目的地メニューから 住所 をタッチする。

2 リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、丁目などを順に選んでタッチする。

：周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。

タッチした行(あ行～わ行)のリストのところまでリスト送りします。

■ 地名を入力して探す ※市町村名で検索できます。

① 地名部分入力 をタッチする。

② 地名をひらがなで入力し、 検索 をタッチする。

：リストが表示されます。

③ リストから地名、丁目などを順に選んで 検索 をタッチする。

：周辺の地図と吹き出しメニューが表示されます。

※複数の都道府県に該当する地名がある場合 絞込み が表示され、タッチすると都道府県を絞り込みます。

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 4

お知らせ

- 丁目などを表示するリスト画面右の数字をタッチすると、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

登録地点からルート探索する

登録地点(→D-11ページ)の中から目的地を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、目的地の設定に便利です。

1 目的地メニューから **登録地** をタッチする。

2 リストから登録地点を選んで、 **決定** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

登録順で表示(例)

- 登録地点が入っているフォルダを表示
- 場所を登録した順に表示
- 同じマーク同士をまとめて表示
  (お気に入り地点は一番上に表示されますが、地点マークを変更した場合は一番上にならない場合があります)

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 **4**

周辺にある施設からルート探索する

現在地やルート沿い、地図スクロール先周辺などのレストランやガソリンスタンドなどを探したいときに便利です。

1 周辺施設の検索方法を選ぶ。

現在地周辺の施設を検索	目的地メニューから 周辺施設 ➡ 地図周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索（ルート案内中のみ）	目的地メニューから 周辺施設 ➡ ルート沿い をタッチ
目的地周辺の施設を検索（ルート案内中のみ）	目的地メニューから 周辺施設 ➡ 目的地周辺 をタッチ
地図スクロールして表示した場所周辺の施設を検索	地図画面で地図スクロール➡ 設定 ➡ 周辺の施設検索 ➡ 地図周辺 をタッチ

お知らせ

- 現在地／目的地／地図スクロール先周辺を検索する場合は、それぞれの場所から半径10 km以内に存在する施設を最大100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は、現在地からルートの進行方向に沿って10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。

2 探したい施設名を選んで、 検索 をタッチする。

※ 検索 のタッチが不要な場合があります。

※▶が表示されているもの（交通機関など）はタッチすると詳細分類リスト（駅、空港など）が表示されます。

※選んだ施設名に✔印が付きます。

※選択を解除したい場合は再度タッチキーをタッチして✔印を消します。

お知らせ

目的地メニューから 周辺施設 ➡ ジャンル名入力 ➡ジャンル名をひらがなで入力して 検索 をタッチしても施設名を探すことができます。

3 施設名を選んで、**決定** をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。

お知らせ

リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチすると続きを確認できます。

4 リストから目的地を選んで、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 **4**

目的地履歴からルート探索する

一度設定した目的地に再度行きたい場合に便利です。

1 目的地メニューから **履歴** をタッチする。

※目的地履歴は、最新のものから順に1ユーザーにつき100地点まで自動的に登録されます。

2 リストから目的地を選んで、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 **4**

施設のジャンルからルート探索する

都道府県を選ぶことができるので、ドライブ先の観光スポットなどを探したいときに便利です。

1 目的地メニューから **ジャンル** をタッチする。

2 リストから探したい施設名を選んでタッチする。

※▶が表示されているもの(交通機関など)はタッチすると詳細分類リスト(駅、空港など)が表示されます。

■ ジャンル名を入力してから選ぶ

① **ジャンル名入力** をタッチする。

② ジャンル名をひらがなで入力して **検索** をタッチする。

※検索候補が100件以上の場合 **検索** はタッチできません。

③ 探したい施設名を選んでタッチする。

3 施設名の検索方法を選ぶ。

現在地周辺を検索	**地図周辺** をタッチ (現在地から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示)
目的地周辺にある施設を検索 (ルート案内中のみ)	**目的地周辺** をタッチ (目的地から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示)
ルート沿いにある施設を検索 (ルート案内中のみ)	**ルート周辺** をタッチ (現在地からルートの進行方向に沿って10 km以内で、ルートの左右約100 m 以内に存在する施設を最大100 件まで表示)
都道府県で検索	**都道府県** ➡都道府県名を選んでタッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
地域／路線で検索	**地域／路線** ➡地域を選んでタッチ➡路線を選んでタッチ (**交通機関** ➡ **高速・都市高速・有料道路施設** ➡ **IC** ／ **SA** ／ **PA** をタッチした場合のみ) ※ **交通機関** ➡ **高速・都市高速・有料道路施設** ➡ **地域／路線選択** をタッチすると、道路名から選ぶことができます。

4 施設名を選ぶ。

■ 地図周辺 ／ 目的地周辺 ／ ルート周辺 をタッチ

① リストから施設名を選んで、
決定 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

選んだ施設の情報アイコンを表示（情報のある場合のみ）

施設の詳細を表示

選んだ施設・出入り口情報のリスト画面を表示

■ 都道府県 ／ 地域／路線 をタッチ

① リストから都道府県・地域などを
タッチする。

② リストから施設名（目的地）を選んで、
決定 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

選んだ頭文字の行（あ行～わ行）をリスト表示（リストにない場合や 距離順 を選んでいる場合は、タッチできません）

現在地から近い順にリスト表示

頭文字を送ることができます。

都道府県 を選んだ場合（例）

お知らせ

リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチすると続きを確認できます。

5 リストから目的地を選んで、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 4

電話番号からルート探索する

電話番号から、その地域の地図を表示できます。地図ソフトには、NTTタウンページの情報の一部が収録されています。個人宅の電話番号は収録されていません。

1 目的地メニューから 電話番号 をタッチする。

2 電話番号を市外局番から全桁(最大10桁)入力し、 検索 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 4

お知らせ

入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、該当する施設名を選ぶと地図が表示されます。

マップコードからルート探索する

マップコードから、施設周辺の地図を表示できます。

1 目的地メニューから マップコード をタッチする。

2 マップコードを入力し、 検索 をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 4

お知らせ

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードです。施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 本機は高精度マップコードに対応しておりません。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。

緯度・経度からルート探索する

緯度と経度を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニューから **緯度・経度** をタッチする。

2 緯度(北緯)と経度(東経)を入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 **4**

お知らせ

本機は日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると、異なる場所を表示する場合があります。

郵便番号からルート探索する

郵便番号から、周辺施設の地図を表示できます。
※企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。

1 目的地メニューから **郵便番号** をタッチする。

2 郵便番号を入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

お知らせ

郵便番号を入力途中で **検索** をタッチすると、検索リストが表示されます。
該当する郵便番号を選んで、 **決定** をタッチすると周辺の地図が表示されます。

3 目的地として設定し、ルート探索する。

→C-3ページ 手順 **4**

スマートフォンアプリNaviConを使用する

本機はスマートフォンアプリNaviConに対応しています。
スマートフォンアプリNaviConで行きたい場所を検索して目的地を本機に送信し、本機でルート探索・ルート案内を行うことができます。

本機でNaviCon対応可能な端末について

NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroid™スマートフォン
※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviConを使用することができません。
※お手持ちのスマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備する

- スマートフォンを本機に登録し、さらに本機で接続設定を行ってください。
  （登録方法 →F-11ページ、接続設定方法 →F-12ページ）
- 本機とiPod／iPhoneをケーブルで接続している場合、ケーブルの接続が優先されるためiPhoneでNaviConは使用できません。iPod／iPhoneをケーブルから外してください。

NaviConを使用する

NaviConアプリ側での操作方法は、NaviConのWebサイトまたはNaviConのヘルプをご覧ください。

1 スマートフォン側でNaviConアプリを起動する。
※本機とBluetooth®接続がされていることをアプリ側で確認してください。

2 アプリ側で目的地を設定する。
：本機に目的地が送信され、ルート探索を始めます。

3 本機で 案内スタート をタッチする。
：ルート案内を開始します。

地図スクロールしてルート探索する

1 地図をスクロールしてカーソル(−┼−)を目的地に合わせ、
設定 ➡ **目的地に設定する** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。

2 **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

※有料道路上に設定するかのメッセージが表示されたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は **有料道路** を、一般道路上に設定する場合は **一般道路** をタッチしてください。

自宅までルート探索する

現在地から自宅までルート探索できます。

1 目的地メニューから **自宅** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。

2 **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

お知らせ

- 自宅を登録していない場合は、登録が必要です。
- ☆(OPT)に **自宅** を設定するには→F-10ページ

ルートを変更する

設定したルートを変更して、新しいルートを探索できます。

目的地／出発地を変更する

目的地の変更で操作説明しますが、出発地の変更の操作方法も同様です。

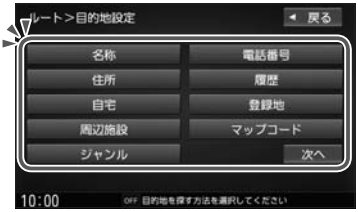
1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチする。

2 **目的地** ➡吹き出しメニューから **変更** をタッチする。

3 検索方法を選んでタッチする。

※検索した場所周辺の地図画面が表示されるまで操作してください。

※ **目的地付近** ／ **出発地付近** ／ **経由地付近** ／ **現在地付近** をタッチした場合は選んだ場所付近の地図が表示、**地図** をタッチした場合は前回表示していた地図が表示されるので、目的地まで地図をスクロールして **設定** をタッチしてください。



4 目的地を設定する。

表示された目的地のまま設定する	吹き出しメニューの **目的地に設定する** をタッチ
目的地の位置調整をする	吹き出しメニューの **閉じる** をタッチ ➡カーソル(−┼−)が目的地に合うよう地図をスクロール ➡ **設定** をタッチ➡ **目的地に設定する** をタッチ

5 探索開始 ／ 複数探索 を選んでタッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5ルートを表示します。 （探索条件に設定したルートは優先して探索します） 探索条件（→C-4ページ）を選んで、案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地を設定したときは、 複数探索 はタッチできません。
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をすることがあります。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地にしたルート案内を見たい場合は、 シミュレーション をタッチしてください。

目的地を追加する

すでに設定した目的地は経由地になります。

1 トップメニューから ルート ➡ ルート編集 ➡ 目的地追加 をタッチする。

2 C-15ページ手順 3 、 4 を行う。

：目的地が追加され、すでに設定した目的地は経由地に変更されます。

3 ルートを探索するには 探索開始 ➡ 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

経由地を追加する

経由地を5地点まで追加できます。

1 追加方法を選ぶ。

ルート編集画面から追加	トップメニューから ルート ➡ ルート編集 ➡追加する場所の 経由地追加 をタッチ➡経由地の検索方法を選ぶ ※ 目的地付近 ／ 出発地付近 ／ 経由地付近 ／ 現在地付近 をタッチした場合は選んだ場所付近の地図が表示され、 地図 をタッチした場合は前回表示していた地図が表示されるので、経由地まで地図をスクロールして 設定 をタッチしてください。
ルート案内中に目的地メニューから追加	目的地メニューから経由地の検索方法を選ぶ

※検索した場所周辺の地図画面が表示されるまで操作してください。

2 経由地を設定する。

表示された経由地のまま設定する	吹き出しメニューの 経由地に設定する をタッチ
経由地の位置調整をする	吹き出しメニューの 閉じる をタッチ ➡カーソル(−┼−)が経由地に合うよう地図をスクロール ➡ 設定 をタッチ➡ 経由地に設定する をタッチ

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

3 ルート探索をする。

ルート編集画面が表示されたら	探索開始 をタッチ
経由地追加画面が表示されたら	挿入したい場所の 追加 をタッチ

：ルート探索を開始します。

4 案内スタート をタッチする。

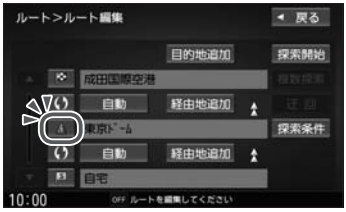
：ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

経由地を変更／削除する

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
変更／削除する経由地をタッチする。

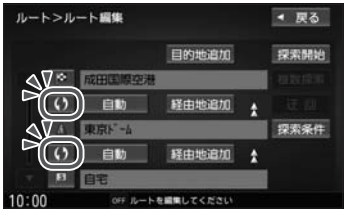


2 変更または削除する。

変更する	**変更** をタッチし、新しい経由地を設定する
削除する	**削除** をタッチ

経由地／目的地など地点を入れ替える

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
入れ替えしたい場所の ( ) をタッチする。



お知らせ

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

探索条件を変更する

1 トップメニューから
ルート ➡ **ルート編集** をタッチし、
変更したいルートの探索条件をタッチする。

※全てを同じ探索条件に変更したい場合は、
探索条件 をタッチしても変更できます。

2 探索条件を選んでタッチする。

※探索条件については →C-4ページ

ルート案内をストップ／スタートする

ルート案内を必要としない場合は音声案内と案内画面表示を一時的に停止させたり、再度開始させたりできます。

1 トップメニューから ルート ➡ 案内ストップ または 案内スタート をタッチする。

案内ストップ	ルート案内を停止
案内スタート	前回ルート探索したルート案内を開始

お知らせ

- ルート設定していない場合はタッチできません。
- ルート案内をやめても、探索したルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

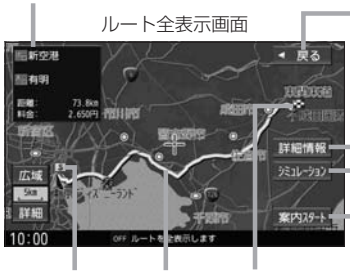
現在のルートを表示する

設定したルートを全画面に表示させて確認できます。

1 トップメニューから ルート ➡ ルートの全表示 をタッチする。

：ルート全表示画面が表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称
「出口」：目的地に一番近いICの名称
「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離
「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金
※有料道路を通らないルートの場合や、一部の料金が不明な有料道路を通るルートの場合は「－－－」と表示されます。



お知らせ

- ルート全表示画面は、出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。
- 3D表示のときでも、ルート全表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図を詳細表示やスクロールすると出発地から目的地までのルートを確認できます。

現在のルートを保存する

探索したルートを保存しておいて、必要なときに呼び出すことができます。（20ルートまで）

1 トップメニューから ルート ➡ ルート保存 をタッチする。

お知らせ

- ルートの変更や再探索などをして新たなルートを設定した場合、現在のルートは自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- ルート保存可能件数を超えたら、ルートを保存できません。不要なルートを削除してください。

現在のルートを削除する

1 トップメニューから ルート ➡ ルート削除 をタッチする。

保存したルートを呼び出す／削除する

保存したルートを呼び出してルート探索したり、保存したルートを削除したりできます。

1 トップメニューから ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

2 保存したルートを呼び出す、または削除する。

呼び出す	リストから呼び出したいルートをタッチ ：ルート探索後、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※保存したときの探索条件でルート探索されます。 ※すでに現在のルートがあるときは、メッセージが表示され、 はい をタッチするとルート探索を開始します。
削除する	リストから削除したいルートの 🗑 をタッチ

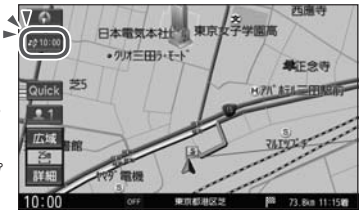
渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、現在地から前方 10 km以内の一番近い渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 **現在地画面でVICSタイムスタンプキーをタッチする。**

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。（ルート上に渋滞／規制がない場合は、音声案内のみ）

※ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプキーは無効です。



渋滞予測ルート探索をする

設定したルートについて、出発日時を変えたときに所要時間やルートがどう変化するか、本機に収録されている統計交通情報を使って予測できます。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **渋滞予測回避** をタッチする。

2 **出発日時を設定する。**

■ **現在時刻探索** をタッチ

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

出発時刻を選んでタッチし、ルートを確認する。

現在時刻	現在時刻に出発
30分後	現在時刻の30分後に出発
1時間後	現在時刻の1時間後に出発
予測なし	渋滞統計情報を考慮しないルートで現在時刻に出発
カレンダー	お好みの日時に出発

ルート確認画面

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻（有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示）

■ 日時指定探索 をタッチ

① 日付を選んでタッチする。

今月のカレンダーを表示しているときは、 前月 を指定できません。

② 時間を24時間制(15分単位)で入力し、探索 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

③ 出発時刻をタッチしてルートを確認する。

指定日時	指定した日時に出発
30分後	指定日時の30分後に出発
1時間後	指定日時の1時間後に出発
予測なし	渋滞統計情報を考慮しないルートで指定日時に出発

出発日時を変更します。

3 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

お知らせ

- 日時指定探索画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図を詳細表示やスクロールして出発地から目的地までのルートを確認できます。
- 過去の渋滞統計情報をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く設定している場合は、ルート探索に時間がかかります。

シミュレーション走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上で走ってみることができます。（シミュレーション走行）
出発前に、前もってルートを確認する場合に便利です。

1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルートの全表示** をタッチする。

2 **シミュレーション** をタッチする。

：シミュレーション走行が開始されます。

3 シミュレーション走行を終えるには
シミュレーション中止 をタッチする。

お知らせ

- メニュー を押してもシミュレーション走行を終了させることができます。
- シミュレーション走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- シミュレーション走行時、交差点の拡大をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがあります。
- シミュレーション走行中の操作は、実際の操作と異なります。（Quick MENUなどは操作できません。また、走行軌跡の表示はしません）
- シミュレーション走行中に ▶ をタッチすると、JCTビュー、交差点拡大表示などを一時的に消すことができます。（再度表示したい場合は ◀ をタッチ）

迂回ルート探索をする

ルート案内時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

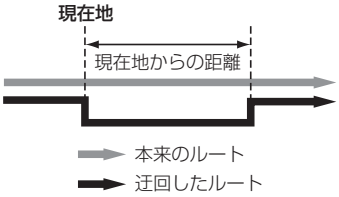
1 トップメニューから **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチする。

2 **迂回** をタッチする。

3 **現在地からの距離を選ぶ。**

：選んだ距離の迂回ルートを再探索します。

※設定範囲は１km／２km／５km／10kmです。



お知らせ

- 保存ルートを呼び出してルート案内していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回ルート探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回ルート探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 別の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く）

ルート探索の詳細条件を設定する

ルート探索する詳細条件を変更できます。次に行うルート探索から変更後の条件で探索します。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 探索 をタッチする。

2 詳細条件を選んでタッチする。

探索条件	探索条件(→C-4ページ)をタッチ
料金表示	車種をタッチ
自動再探索	する ／ しない をタッチ
フェリーを優先	する ／ しない をタッチ
季節規制考慮	する ／ しない をタッチ
時間規制道路を考慮	する ／ しない をタッチ ※祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。 ※実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。
スマートICを利用	する ／ しない をタッチ
ルート学習結果を利用 自車の走行履歴などをもとにします。	する ／ しない をタッチ ※“探索条件” 距離優先 を選んでいる場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。
VICS自動再探索	する ／ しない をタッチ ※“VICS情報を考慮” しない に設定するとタッチできません。
VICS情報を考慮	する ／ しない をタッチ
統計交通情報を考慮	する ／ しない をタッチ
到着予想	自動 ／ 手動 をタッチ ※ 手動 に設定した場合は、 － ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定してください。(5 km/h単位) ※ 走行は実際の法定速度に従って走行してください。 ※ 自動 に設定するとVICS情報や統計交通情報を考慮して、目的地までの到着予想時刻を表示します。

お知らせ

探索条件について

- 自動 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 eco のいずれか１つ設定できます。
- ルート案内中に探索条件を変更し 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。

料金表示について

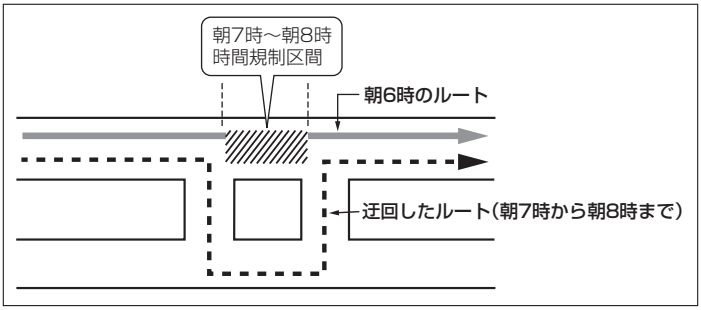
- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 全ての道路が料金表示に対応しているわけではありません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- １つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、２つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。（ルートの出発地／目的地が高速道路、有料道路上にあるときも、料金の表示は「－－－円」となります）
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。

フェリーを優先について

“フェリーを優先” する に設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が地図データにない場合は、陸路になります。また、フェリー航路を優先しない場合もあります。

時間規制道路を考慮について

斜線部分に朝７時から朝８時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



※実際に運転されていて朝７時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

スマートICについて

- スマートICとはSA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジのことです。
- スマートICはETCユニットまたはDSRC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。（営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください）
  ※ETCを搭載していない車両は通行できません。
  ※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

お知らせ

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
※ルート学習結果を初期化するには →N-43ページ

VICS自動再探索・VICS情報を考慮・統計交通情報を考慮について

各項目を する に設定した場合の探索のしかたは以下になります。

項目	探索のしかた
VICS自動再探索	**VICS情報を受信し、ルート前方に規制情報(通行止めなど)が存在した場合、規制情報を考慮したルートを自動で再探索** ※最新のVICS情報が提供されていない区間では、渋滞が発生していても考慮されない場合があります。 ※探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。
VICS情報を考慮	**VICS情報を受信した場合、規制情報(通行止めなど)を考慮したルートを探索** ※最新のVICS情報が提供されていない区間では、渋滞が発生していても考慮されない場合があります。 ※探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。
統計交通情報を考慮	**本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去の渋滞統計情報をもとにルートを探索** ※突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化は考慮されない場合があります。

D
ナビゲーションの設定

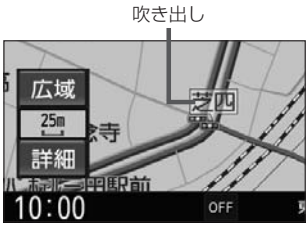
地図画面の表示を設定する……D-2
走行軌跡を設定する……D-6
案内画面を設定する……D-7
高速道路での逆走報知を設定する……D-10
場所を登録する……D-11
自宅／登録地点／フォルダ名を編集する……D-12
　自宅や登録地点を編集する……D-12
　お気に入り地点を登録／解除する……D-14
　フォルダ名を編集する……D-14
登録地点の順番を並び替える……D-15
自宅／登録地点を削除する……D-16
VICS情報の地図表示を設定する……D-17

地図画面の表示を設定する

メイン画面／右画面の地図設定や、地図色、情報バー表示などの設定ができます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** をタッチする。

2 項目を選んで設定する。

メイン画面用地図設定／右画面用地図設定	
名称の文字サイズ	地図に表示されている名称の文字サイズを変更
吹き出しを表示	高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を吹き出しで表示する／表示しない ※本機に収録されていない交差点では表示しません。 
標高地図を表示	地図の縮尺が5 km以上の画面のとき、地形地図にする／しない
地図モード	地図表示(向き／3D)を設定できます。→B-5ページ **北向き** …… 北方向が常に上に向くように地図表示 **進行方向** … 進行方向が常に上に向くように地図表示 **3D** …… 3D地図で表示
3D視角調整	3D表示の角度を調整 …角度を下げる　…角度を上げる
右画面に地図表示 (右画面用地図設定のみ)	右画面に地図を表示する／表示しない

地図色設定	
昼夜切り替え	**時間連動** …… 日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替え **昼** ／ **夜** …… 昼モード／夜モードに固定 **スモール連動** … 車のライトをONにすると夜モードの色に、OFFにすると昼モードの色に自動的に切り替え
地図切り替え	**ノーマル** …… 道路・文字を標準的に表示 **道路メイン** …… 詳細地図で国道と一般道を識別しやすく表示 **文字メイン** …… 文字情報を強調した地図を表示
標高地図色	**季節連動** …… GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春用、6月～8月は夏用、9月～11月は秋用、12月～2月は冬用と自動的に切り替え **標準** ／ **春** ／ **夏** ／ **秋** ／ **冬** …… 標準色や各季節色に固定

情報バー表示設定	
MAPCODEを表示	マップコードを表示する／表示しない(現在地画面は除く) MAPCODE
地図情報を表示	**住所名**…周辺の住所を表示 **道路名**…地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示 ※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。 地図情報(例) ※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が表示されなかったり、近くの別の道路名が表示される場合もあります。
AV情報を表示	現在地画面で、再生中の曲名や周波数、放送局名などを表示する／表示しない ※**Bluetooth**® Audio再生時は曲名が表示されない場合があります。

その他設定	
緯度・経度を表示	地図画面(現在地画面は除く)に、緯度・経度を表示する／表示しない 緯度・経度
冠水注意ポイント表示	冠水注意ポイント( )を表示する／表示しない ※縮尺が100 m以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 ※冠水注意ポイント表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
市街地図での冠水注意ポイント表示	“冠水注意ポイント表示” **する** に設定した場合、市街地図に冠水注意ポイント( )を表示する／表示しない

<table>
<tr><th colspan="2">その他設定</th></tr>
<tr><td>登録地を表示</td><td>地点マークを表示する／表示しない
</td></tr>
<tr><td>映像中の時計表示</td><td>映像の全画面表示中、画面左下に時計を表示する／表示しない</td></tr>
<tr><td>安全運転メッセージ</td><td>本機を起動時に安全運転メッセージを表示する／表示しない
（条件により表示されない場合があります）</td></tr>
<tr><td>エコ運転機能を表示</td><td>現在地画面で、エコ運転機能を表示する／表示しない</td></tr>
<tr><td>アニメーションを表示</td><td>「トップメニューからAVメニューへ」などメニュー画面を切り替えるとき、画面をどのように表示させるか設定できます。
する …… 画面がスクロールするように次のメニュー画面へ切り替わる
しない …… すぐに次のメニュー画面へ切り替わる</td></tr>
<tr><td>ランドマーク</td><td>コンビニエンスストアなど特定の各施設を地図上にマークで表示できます。
① 設定する ➡表示したいジャンル、施設名を選んでタッチ
：選んだ施設に✔印が付きます。(再度タッチすると✔印を解除)
② 戻る をタッチ

お知らせ
● 縮尺が500 m以上の場合、ランドマークは表示されません。
● 複数の施設を表示する場合、多数の情報がある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。
● ランドマークにカーソルを合わせると、施設名が表示されます。</td></tr>
</table>

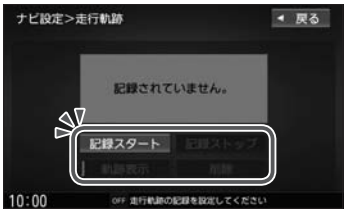
その他設定	
カーマーク	自車マークの色を選ぶことができます。 **設定する** ➡ **マークの色を選んでタッチ** ：選んだ色で表示されます。
自車位置	→N-3ページ

走行軌跡を設定する

通った道にしるしを付けて記録し、あとで確認できます。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ ナビデータ編集 ➡ 走行軌跡 をタッチする。

2 “走行軌跡” の設定をする。



走行軌跡の記録をする	記録スタート をタッチ ：走行した軌跡の記録を開始します。 ※走行軌跡は約500 kmまで記録できます。容量を超えると古い軌跡から自動的に消します。
走行軌跡の記録をやめる	記録ストップ をタッチ
走行軌跡を表示する／表示しない	軌跡表示 をタッチ ：タッチするたびに表示灯が点灯／消灯します。 点灯：記録した走行軌跡を地図上に青い点で表示する 消灯：走行軌跡を表示しない
走行軌跡を削除する	削除 をタッチ

お知らせ

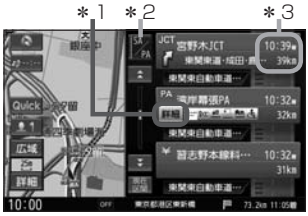
- 走行軌跡の記録をやめても、やめるまでの走行軌跡の記録は残っています。走行軌跡の記録を削除するには 削除 をタッチしてください。
- 走行軌跡の記録がない場合、または記録中は、 軌跡表示 や 削除 の操作はできません。
- 走行中の操作はできません。

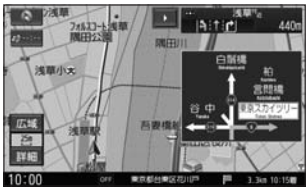
案内画面を設定する

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **案内** をタッチする。

2 項目を選んで設定する。

※表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、データが収録されていない場所／交差点では、表示／案内はされません。データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

ルートの全表示	ルート探索終了後、ルート全表示画面を表示する／表示しない ※ **しない** に設定していても、複数ルート探索後はルート全表示画面を表示します。
交差点情報の表示	走行中、常に交差点情報を表示する／表示しない （ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示） ※ **案内中のみ** をタッチするとルート案内時のみ交差点情報を表示します。
ETCレーンの表示	料金所の手前でETCレーンを表示する／表示しない
JCTビューの表示	JCTビューを表示する／表示しない
ルート情報の表示	ルート情報を表示する／表示しない  ＊1… **詳細** をタッチすると、特長や施設情報などの詳細情報を表示できます。走行中は詳細情報は表示できません。 ＊2…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA／PA** をタッチすると、ルート情報の表示がサービスエリア／パーキングエリアのみになります。 ＊3…経由地や各ポイントなどへの到着時間や距離を表示します。
ハイウェイモードの表示	高速道路／一般有料道路走行時のみルート情報を表示する／表示しない

交差点拡大図の表示	交差点拡大図を表示する／表示しない バーの長さによって交差点までの残距離の目安を表示
リアル3D表示	リアル3D交差点を表示する／表示しない
方面看板の表示	走行中は常に方面看板を表示する／表示しない  ※ 案内中のみ をタッチするとルート案内時のみ方面看板を表示します。 ※ する ／ 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
高速道路での逆走報知	→D-10ページ
AV画面中の案内割込み	オーディオ画面表示中に左折や右折などの情報がある場合、ルート案内画面に切り替える／切り替えない ※ルート案内終了後、オーディオ画面に戻ります。
EWS(緊急情報)の割込み	→J-8ページ

お知らせ

ETCレーン、JCTビュー、交差点拡大図、リアル3D、方面看板の表示は、画面の ▶ をタッチして一時的に表示を消すことができます。再度表示させるには ◀ をタッチしてください。

交差点情報の表示について

- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。（表示される距離は目安です）

- 次の交差点が10 km以上の場合は交差点情報に“みちなり”と表示されます。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

お知らせ

ETCレーンの表示について

ETCレーン表示は、ETCユニット未接続時でも表示されます。

JCTビューの表示について

- 高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図を右画面に表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

ルート情報の表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がる方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。ルート情報は、ルート案内時とシミュレーション走行時に表示できます。
- VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICSマークを表示します。

ハイウェイモードの表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、“ハイウェイモードの表示”を選ぶことはできません。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

交差点拡大図の表示について

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマークとともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大図機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。

リアル3D表示について

ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

方面看板の表示について

交差点まで距離が短い場合、方面看板は表示されません。

AV画面中の案内割込みについて

本機を操作している間は、画面の切り替えが行われない場合があります。

高速道路での逆走報知を設定する

高速道路で逆走してしまったとき、画面表示と音声でお知らせし、運転者に注意をうながします。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 案内 をタッチする。

2 “高速道路での逆走報知” する ／ しない を タッチする。

する	逆走報知を設定する
しない	逆走報知を設定しない

⚠注意
- 高速道路での逆走報知機能は状況によって、報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

お知らせ

- 逆走報知画面は 現在地 を押す、または ▶ ／ 解除 をタッチすると表示を解除できます。

逆走報知画面(例)

- 下記のような条件などの場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
  - ・走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
  - ・周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
  - ・ダッシュボードの上に物を置いたなどGPS信号が受信できない場合
  - ・トンネルなどの遮断によりGPS信号が受信できない場合
  - ・高架橋下や高層ビル群地帯などGPS信号が正しく受信できない場合
  - ・旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
  - ・地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行の場合

場所を登録する

場所を登録すると、地図上に地点マークを表示したり、登録地点までルート探索ができたりして便利です。

1 登録したい場所にカーソル(–┼–)を合わせ、**設定** をタッチする。

2 **地点を登録する** をタッチする。

：地図上に地点マークが追加されます。

お知らせ

- 1ユーザーにつき最大900地点(自宅を含む)登録可能です。
- 登録地点の情報はメインフォルダに登録されます。地点マークや登録先のフォルダは変更できます。→D-12ページ
- 地点マークを非表示にできます。(登録地点検索のときは表示)→D-4ページ
- 最も詳細な縮尺の地図で場所を選ぶと、より正確な位置で登録できます。

自宅／登録地点／フォルダ名を編集する

自宅や登録地点の名称などを変更したり、フォルダ名を編集したりできます。

自宅や登録地点を編集する

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **ナビデータ編集** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** ／ **登録地編集** を選んでタッチする。

※ **登録地編集** をタッチした場合は、リストから編集したい登録地点を選んでタッチしてください。

3 変更／登録したい項目をタッチする。

登録地詳細画面(例)

お知らせ

- **自宅編集** をタッチした場合、表示されるタッチキーは異なります。
- カーソル(−¦−)を編集したい地点マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** をタッチしても登録地詳細画面を表示できます。
- 電話番号が収録されている場合、**電話する** が表示されます。**電話する** ➡ **発信** をタッチするとハンズフリーフォンができます。

■ 名称／メモを編集する

名称 ／ **メモ** をタッチ➡文字を入力し、 **決定** をタッチする。

名称 …全角12文字、半角25文字まで

メモ …全角16文字、半角32文字まで

■ フォルダを変更する

フォルダ をタッチ➡移動させたいフォルダを選んでタッチする。

：選んだフォルダに登録地点が移動します。

※“自宅”はフォルダを選べません。

■ 電話番号を編集する

TEL をタッチ➡電話番号を入力し、 **決定** をタッチする。

■ マークを変更する

マーク をタッチ➡表示したいマークを選んでタッチし、 **戻る** をタッチする。

■ アラームを変更する

① **アラーム** をタッチする。

② お好みのアラーム音(9種類)を選んで
タッチする。

③ 案内距離を選んでタッチする。

※選んだ距離まで近づくと、アラーム音が鳴ります。

④ **戻る** をタッチする。

お知らせ

特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、手順③に続いて **進入角度** をタッチしてください。矢印をタッチして進入角度を修正し、 **セット** をタッチしてください。

■ 位置を修正する

位置修正 をタッチ➡カーソル(−┼−)の位置を修正し、 **セット** をタッチする。

：位置が修正されます。

お気に入り地点を登録／解除する

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ ナビデータ編集 ➡ 登録地編集 をタッチする。

■ 登録する

お気に入り地点編集＜登録されていません＞ ➡
お気に入り地点にしたい登録地点を選んでタッチする。

お知らせ
- お気に入り地点の登録は 1 地点のみです。
- お気に入り地点を登録すると、地点マークが自動的に ★ に変わります。

■ 解除する

お気に入り地点編集 ➡
お気に入り地点を解除する をタッチする。

フォルダ名を編集する

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ ナビデータ編集 ➡ 登録地編集 をタッチする。

2 フォルダ名編集 ➡編集したいフォルダを選んでタッチする。
※メインフォルダは編集できません。

3 文字を入力し、 決定 をタッチする。

登録地点の順番を並び替える

登録地点が2地点以上ある場合に並び替えができます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **ナビデータ編集** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **登録地編集** をタッチする。

3 並び替えをしたい登録地点を選んでタッチする。

：登録地詳細画面が表示されます。

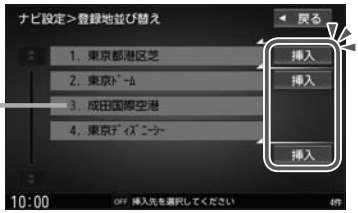
※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点で並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内で並び替えをします。

※フォルダ選択画面から地点編集画面に変更したい場合は、 **全表示** をタッチしてください。

4 **並び替え** をタッチする。

※登録地点が1地点の場合は、 **並び替え** は表示されません。

5 挿入したい場所の **挿入** をタッチする。



並び替えしたい登録地点の番号を青色で表示

お知らせ

カーソル( )を編集したい地点マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** をタッチしても登録地詳細画面を表示できます。

自宅／登録地点を削除する

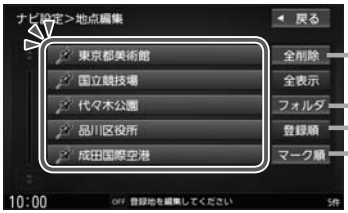
1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **ナビデータ編集** ➡ **登録地編集** をタッチする。

2 **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** ／ **登録地編集** を選んでタッチする。

※ **自宅編集** ／ **お気に入り地点編集** をタッチした場合は →手順 **4**

3 削除したい地点を選んでタッチする。

※フォルダ選択画面から地点編集画面に変更したい場合は、 **全表示** をタッチしてください。



- 全削除 — 全ての登録地点を削除
- フォルダ — フォルダごとに表示
- 登録順 — 場所を登録した順に表示
- マーク順 — 同じマーク同士をまとめて表示（お気に入り地点は一番上に表示されますが、地点マークを変更した場合は一番上にならない場合があります）

4 **削除** をタッチする。

お知らせ

カーソル（−┼−）を編集したい地点マークに合わせ **設定** ➡ **地点を編集する** をタッチしても登録地詳細画面を表示できます。

VICS情報の地図表示を設定する

地図画面にVICS情報を表示する道路や表示する項目を設定できます。

1 情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **渋滞情報** をタッチする。

2 表示したい道路を選んでタッチする。

：表示灯が点灯（表示）／消灯（非表示）します。

一般道	一般道路に対しVICS情報を表示する／表示しない
有料道	有料道路に対しVICS情報を表示する／表示しない

3 設定したい項目を選んでタッチする。

：表示灯が点灯／消灯し、選んだ項目の表示／非表示が切り替わります。

規制	規制情報の表示する／表示しない
点滅	渋滞情報などを示す矢印表示を点滅させる／させない
駐車場	駐車場情報を表示する／表示しない
渋滞無し	渋滞情報のうち<緑色：順調>について表示する／表示しない
渋滞混雑	渋滞情報のうち<赤色：渋滞>と<橙色：混雑>について表示する／表示しない

お知らせ

情報が多い場合は、VICS情報を表示するまでに数秒かかることがあります。

E
情報を見る

VICS情報を見る……E-2
文字表示、簡易図形表示を見る……E-2
地図表示を見る……E-3
VICS情報を選局する……E-4
プリセット(保存)する……E-5
緊急情報を見る……E-6
エコ運転診断の結果を表示する……E-7
履歴をグラフで表示する……E-8
エコ運転診断データをリセットする……E-8
渋滞予測地図を見る……E-9

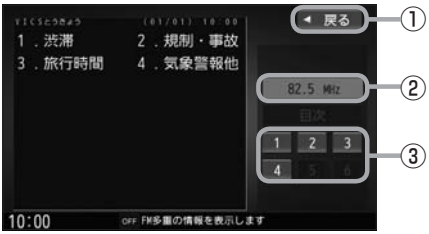
VICS情報を見る

VICS情報を見るには、FM多重放送局を選局して情報受信する必要があります。

文字表示、簡易図形表示を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 文字情報 ／ 図形情報 をタッチする。

文字表示(例)
文字で情報などが表示されます。



簡易図形表示(例)
簡単な図形や文字でVICS情報が表示されます。

① 戻る キー
ひとつ前の画面に戻ります。

②受信中の周波数

③目次選択キー

④ 目次 キー
目次画面に戻ります。

⑤ ▲ ／ ▼ キー(ページ戻し／送り)
2ページ以上ある場合に表示されます。

地図表示を見る

VICS情報を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞情報などを表示します。

地図表示(例1：現在地画面)
地図上にVICS情報が表示されます。

タッチキー内にVICS情報の提供時刻を表示
(表示可能な地図表示情報がないときは、
“－－：－－”と表示)

地図表示(例2：スクロール画面)
地図をスクロールさせてVICSマークにカーソル
(┼)を合わせると、詳細情報が表示されます。

①渋滞情報

赤色：渋滞
橙色：混雑
緑色：順調(VICS表示設定で“渋滞無し”を点灯させた場合)
黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。

②VICSマーク(一例)

規制などの情報をマークで表示します。

事　故	故障車	路上障害	工　事	凍　結	片側交互通行
チェーン規制	対面通行	車線規制	徐　行	大型通行止め	入り口制限

お知らせ

- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
  提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。
- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によっては地図表示できない場合があります。
- VICS情報表示は、地図スクロール中、データ処理のために一時的に消える場合があります。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたり、受信周波数が変わると受信したVICS情報は消去されることがあります。

VICS情報を選局する

FM多重放送局でVICS情報を提供している放送局を選局してください。

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 周波数設定 をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。

自動選局	自動選局 をタッチ ：タッチするたびに表示灯が点灯／消灯します。 点灯：自動選局に設定する 消灯：自動選局を解除する ※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。（放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります） ※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替えます。
手動選局	＋ ／ － をタッチし、受信したい周波数を表示 ※ ＋ をタッチすると、0.1 MHzアップ、タッチし続けると始めは0.1 MHzアップし、その後1 MHzずつアップします。 － をタッチすると、0.1 MHzダウン、タッチし続けると始めは0.1 MHzダウンし、その後1 MHzずつダウンします。
エリア選局	① エリア選局 をタッチ ：放送局リスト画面が表示されます。 ② 選局する放送局を選んでタッチ
プリセット選局	呼び出したいプリセットキーをタッチする。 ※プリセットした放送局を呼び出したときは、手動選局表示になります。

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければVICS情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、VICS情報は受信できない場合があります。

プリセット(保存)する

※プリセット選局をするには、放送局をプリセットしておく必要があります。
放送局を3局までプリセットできます。

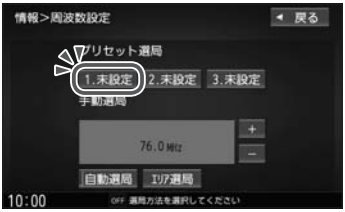
1 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 周波数設定 をタッチする。

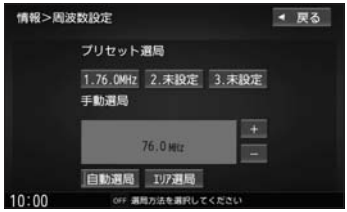
2 プリセットしたい放送局を受信する。

お知らせ

自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機がサーチを始め、周波数が変わる場合があります。

3 保存させたいプリセットキーを選んで長押しする。





お知らせ

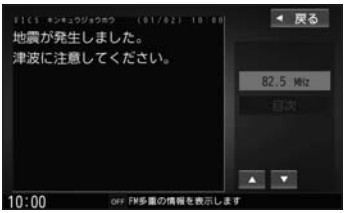
すでに他の放送局がプリセットされているプリセットキーを選ぶと、新しい放送局が上書きされます。

緊急情報を見る

受信中の放送局の緊急情報を受信すると、音声で受信したことを知らせ、自動的に緊急情報画面を割り込み表示します。

緊急情報画面(例１：割り込み表示)

緊急情報画面(例２：切り替え表示)



※再探索中など一部の場合では割り込み表示しません。
※VICS情報(文字表示／簡易図形表示)を表示中に受信した場合は、VICS情報の表示から緊急情報の表示に切り替わります。
※割り込み表示しなかった場合や再度緊急情報を見る場合は、情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞情報 ➡ “FM VICS” 緊急情報 をタッチしてください。
※新たな緊急情報を受信した場合は、古い緊急情報は消去されます。

■ 緊急情報表示をやめる場合

- 割り込み表示の場合は、しばらくすると緊急情報画面は消えます。(すぐに消したい場合は緊急情報画面で ▶ をタッチしてください)
- VICS情報(文字表示／簡易図形表示)を表示中に受信した場合は、自動ではもとに戻りませんので操作をしなおしてVICS情報の表示に戻してください。

エコ運転診断の結果を表示する

環境にやさしく無駄の少ない運転ができているかを評価して、診断結果を見ることができます。

1 **現在地画面のとき、**
簡易エコスコアキーをタッチする。

：エコスコア画面が表示されます。

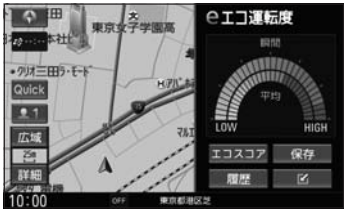
※簡易エコスコアキーが非表示の場合は、情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** ➡ “エコ運転機能を表示” **する** に設定してください。

エコスコア画面

エコ運転度 をタッチ

エコスコア をタッチ

エコ運転度画面



【エコスコア画面】

走行シーン別に、エコ運転度を確認できます。
走行全体の評価は、100点満点のエコスコアで表現され、「発進」「巡航」「減速」シーン別評価は、バーの長さで表現されます。

※エコスコアはリセットしてから次にリセットをするまでの運転を評価します。

エコ運転のコツ

エコ運転ができると、エコスコアも良くなります。
発進…ふんわりアクセルでやさしい発進を心がけましょう。最初の5秒で時速20 kmが目安です。
巡航…加減速の少ない運転を心がけましょう。車間距離に余裕をもって、速度にムラのない走行をしましょう。
減速…停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。

【エコ運転度画面】

エコ運転度を確認できます。
エコ運転度は車の速度・加速度などから計算され、バーの伸び縮みで表示します。
エコな運転であるほど、メーターがHIGH側に伸びます。メーターを参考にして運転することで、エコ運転の向上が期待できます。

“瞬間”……瞬間のエコ運転度を示します。
“平均”……リセットしてから次にリセットするまでの平均エコ運転度を示します。

お知らせ

- エコスコア画面またはエコ運転度画面の **✎** をタッチすると簡易エコスコアキーになります。
- 簡易エコスコアキーでは、地図画面にエコスコアの数値のみを表示します。
- エコ運転診断を参考にして運転する場合は、地図画面を注視せず、安全に十分注意して運転してください。
- 急な坂道など走行環境によりエコスコアが低く計算される場合があります。
- エコスコアまたはエコ運転度のリセットについては →E-8ページ
- エコ運転診断の表示をやめる場合は、情報・設定メニューから **ナビ設定** ➡ **表示** ➡ “エコ運転機能を表示” **しない** に設定してください。

履歴をグラフで表示する

エコ運転診断の履歴を見ることができます。

1 エコスコア画面またはエコ運転度画面の 履歴 をタッチする。

エコ運転診断データをリセットする

リセットと同時にSDカードへE1Grand Prixに参加するためのデータを保存するか選ぶことができます。
※SDカードで音楽再生中は保存できません。

【E1Grand Prixのご案内】(http://e1gp.jp)
E1Grand Prixとは、燃費やスコアを競いながら、お客さまの車をエコカーにしていくプロジェクトです。他のドライバーと競争しながら、楽しくエコ運転を続けることができます。登録は無料、Webサイトからすぐにエントリーできます。
※E1 Grand Prixに関するお問い合わせは、E1 Grand Prix運営事務局
(http://e1gp.jp/e1gp/cgi/FaqEtc.cgi)へお願いします。

1 エコスコア画面またはエコ運転度画面で 保存 ➡ はい ／ いいえ をタッチする。

はい	SDカードへデータを保存し、本機内のデータをリセットします。
いいえ	SDカードへデータを保存せずに、本機内のデータをリセットします。

渋滞予測地図を見る

指定した日時の渋滞予測データを地図上で確認できます。

1 地図を表示させる。

現在地周辺の渋滞予測地図を見たい	現在地 を押す
指定した場所の渋滞予測地図を見たい	カーソル(−┼−)を表示したい場所に合わせる

2 情報・設定メニューから 情報 ➡ 渋滞予測地図 をタッチする。

3 日付を選んでタッチする。

今月のカレンダーを表示しているときは、前月 を指定できません。

4 時間を24時間制(15分単位)で入力し、検索 をタッチする。

(例)午後5時30分は「1730」とタッチします。

お知らせ

- 過去の渋滞統計情報をもとに、日付、時間、曜日などから渋滞を予測して表示するため、実際の渋滞状況とは異なる場合があります。
- 渋滞予測地図画面で地図をスクロール／拡大／縮小して渋滞状況を確認することができます。

F

各種設定／登録をする

セキュリティを設定する……F-2
セキュリティコードを設定する……F-2
セキュリティコードを消去する……F-2
セキュリティコードを入力する……F-3
セキュリティインジケータの点滅／消灯を設定する……F-3
盗難多発地点案内を設定する……F-4
iPod抜き忘れ案内を設定する……F-5
メンテナンス情報を設定する……F-6
ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する……F-7
ユーザーを切り替える……F-7
ユーザー名を変更する……F-7
ユーザーカスタマイズキーを表示する／表示しない……F-8
メニューを英語／韓国語／中国語で表示する…F-8
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-9
オプションボタンを設定する……F-10
キー操作音をON／OFFする……F-10
携帯電話／Bluetooth® Audio機器を登録する……F-11
携帯電話を登録する……F-11
登録した携帯電話の接続設定をする……F-12
携帯電話接続確認案内の設定をする……F-12
Bluetooth® Audio機器を登録する……F-13
登録した携帯電話の詳細情報を見る／登録を削除する……F-14
登録したBluetooth® Audio機器の接続設定／登録を削除する……F-14
本機のBluetooth®情報を確認する……F-15
デバイス名／パスキーを変更する……F-15

セキュリティを設定する

セキュリティコードを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。セキュリティコードを設定すると、本機がバッテリーから外され再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないと本機は起動しません。

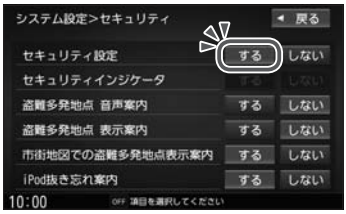
- お客さまが設定したセキュリティコードは保管用シールに控え、必ず保管してください。
- セキュリティコードの初期パスワードは、1234に設定されています。
- **セキュリティコードを忘れた場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。**

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **セキュリティ** をタッチする。

2 “セキュリティ設定” **する** をタッチする。

※初めて、セキュリティコードを設定するときは、
初期パスワードを入力してください。→上記

セキュリティ画面



3 3桁～12桁のセキュリティコードを入力し、 **決定** をタッチする。

：セキュリティコードが設定され、セキュリティ画面に戻ります。

お知らせ

戻る をタッチするとセキュリティコードの設定が中止されセキュリティ画面に戻ります。

セキュリティコードを消去する

1 セキュリティ画面から “セキュリティ設定” **しない** をタッチする。

2 設定したセキュリティコードを入力し、 **決定** をタッチする。

：セキュリティコードを消去し、セキュリティ画面に戻ります。

セキュリティコードを入力する

セキュリティコードが設定された状態で本機をバッテリー(＋B)からはずし、再度接続した場合は、本機を起動するときにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 設定したセキュリティコードを入力し、 決定 をタッチする。

お知らせ

- 間違ったセキュリティコードを入力するとメッセージが表示され、何度も入力画面を繰り返します。正しいセキュリティコードを入力しなおしてください。
- 入力した英数字を修正するときは 修正 をタッチして英数字を入力しなおしてください。

セキュリティインジケータの点滅／消灯を設定する

セキュリティコードが設定された状態で、車のキースイッチを「OFF」にすると、盗難防止のためにセキュリティインジケータを点滅させるよう設定できます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ セキュリティ をタッチする。

2 “セキュリティインジケータ” する ／ しない をタッチする。

する	車のキースイッチが「OFF」時にインジケータが点滅
しない	インジケータが消灯

お知らせ

“セキュリティ設定” する に設定をすると、“セキュリティインジケータ” する ／ しない の設定が可能になります。

盗難多発地点案内を設定する

盗難多発地点を音声または表示で案内したり、市街地図に表示したりする設定ができます。

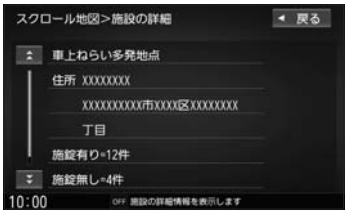
1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **セキュリティ** をタッチする。

2 “盗難多発地点音声案内”／“盗難多発地点表示案内”／“市街地図での盗難多発地点表示案内” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。

盗難多発地点音声案内	盗難多発地点の音声案内が流れる／流れない
盗難多発地点表示案内	地図上に盗難多発地点マーク( )を表示する／表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	“盗難多発地点表示案内” **する** に設定した場合、市街地図に盗難多発地点マーク( )を表示する／表示しない

お知らせ

- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。
- “盗難多発地点表示案内”／“市街地図での盗難多発地点表示案内” **する** を選んだ場合は、地図をスクロールさせて盗難多発地点マークにカーソル( )を合わせ、 **設定** ➡ **施設の詳細** をタッチすると、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。（3D表示のときは詳細情報を見ることができません）



- 危険度をマークの色で赤色、橙色、黄色と3段階表示しており、盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示し、赤色が最も盗難が多発していることを表します。（地域により基準は異なります）
- 自車位置が盗難多発地点付近にある場合、車のキースイッチを「ACC」から「OFF」にすると、メッセージを音声でお知らせします。（ただし、自宅が盗難多発地点付近にある場合、音声でのお知らせはありません）
- 音声案内で **消音** に設定している場合でも“盗難多発地点音声案内” **する** に設定した場合は、音声案内されます。音声は **消音** に設定する前の音量になります。

iPod抜き忘れ案内を設定する

iPodを接続したまま車のキースイッチを「OFF」にしたとき、音声でお知らせするように設定できます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ セキュリティ をタッチする。

2 “iPod抜き忘れ案内” する ／ しない を選んでタッチする。

する	音声案内をする
しない	音声案内をしない

お知らせ

音声案内で 消音 に設定している場合でも、 する に設定した場合は、音声案内されます。
音声は 消音 に設定する前の音量になります。

メンテナンス情報を設定する

車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを音と画面でお知らせします。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **その他設定** ➡ **車両メンテナンス** をタッチする。

2 設定したい項目の“お知らせ設定” **する** をタッチする。

3 設定項目の詳細を設定する。

お知らせ

年月日·距離のどちらかを設定してください。項目によっては年月日のみの場合や名称編集があります。

設定した内容を消去

4 **戻る** をタッチする。

：設定したい項目のお知らせ設定が **する** になります。

お知らせ

エンジンオイル交換設定当日(例)

- 通知開始設定の日になった／設定日当日になった／設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。
  ※ **今後表示しない** をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。(“お知らせ設定” **しない** になります)
- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの販売会社へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず **設定消去** をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPSからの日付情報と車速信号を使用します。

ユーザーを切り替える／ユーザー名を変更する

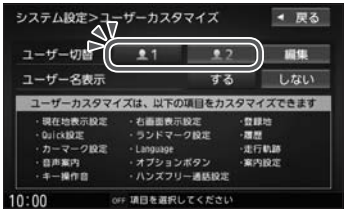
本機は、2ユーザー分(ユーザー１／ユーザー2)の設定を保持し、切り替えることができます。
また、ユーザー名を変更することもできます。

ユーザーを切り替える

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

2 “ユーザー切替” **ユーザー１** ／ **ユーザー２** を選んでタッチする。

ユーザーカスタマイズ画面



お知らせ

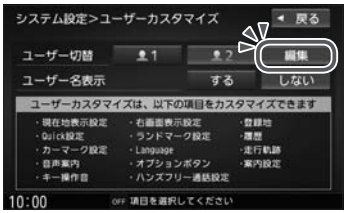
現在地画面のユーザーカスタマイズキーをタッチしても、ユーザーカスタマイズ画面を表示できます。

ユーザー名を変更する

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

※必要に応じてユーザーを切り替えてください。

2 **編集** をタッチする。



3 文字を入力し、 **決定** をタッチする。

：入力したユーザー名がユーザーカスタマイズキー内に表示されます。

お知らせ

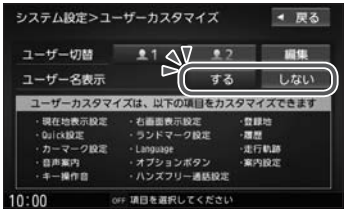
入力できる文字数は、全角４文字、半角８文字です。

ユーザーカスタマイズキーを表示する／表示しない

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **ユーザーカスタマイズ** をタッチする。

※必要に応じてユーザーを切り替えてください。

2 “ユーザー名表示” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。



する	現在地画面にユーザーカスタマイズキーを表示する ユーザーカスタマイズキー
しない	ユーザーカスタマイズキーを表示しない

メニューを英語／韓国語／中国語で表示する

一部の画面を英語／韓国語／中国語で表示したり、ルート案内の音声を英語／韓国語／中国語で案内することができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **Language** をタッチする。

2 表示させたい言語を選んでタッチする。

：一部の画面が選んだ言語で表示され、ルート案内も選んだ言語で案内します。

※日本語の表示や案内に戻したい場合は **Japanese** をタッチしてください。

音声案内の音量調整／詳細設定をする

音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内などの詳細設定ができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **音声案内** をタッチする。

2 音声案内の音量調整／詳細設定をする。

■ 音声案内の音量調整

－ ／ **＋** をタッチし、お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声が鳴ります。

タッチするたびに
音声案内をやめる⇔音声案内をする
（消音設定時、表示灯は点灯）

■ 音声案内の詳細設定

詳細設定 をタッチし、設定したい項目を設定する。

合流案内	高速道路の合流地点に近くなると音声でお知らせ **常時** ……ルート案内をする／しないに関係なく音声案内をする **案内中** …ルート案内中に音声案内をする **しない** …音声案内をしない
踏み切り案内	踏み切り近くになると音声でお知らせ **常時** ……ルート案内をする／しないに関係なく音声案内をする **案内中** …ルート案内中に音声案内をする **しない** …音声案内をしない
専用レーン案内	ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせない
高速走行時の音量切替	高速走行時に自動で音量を上げる／上げない
VICS案内	渋滞／規制情報がある場合に音声案内をする／しない ※VICS情報を受信できない場合などは、**する** を選んでいても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。
休憩メッセージ案内	ルート走行中に一定の時間がたつと休憩メッセージをうながす音声案内をする／しない
トンネル出口案内	トンネルの出口が近づくと音声案内をする／しない

オプションボタンを設定する

本機の [☆] (OPT)によく使う機能をリストの中から割り当てることができます。設定すると [☆] を押して、AVソース切替や消音などの操作ができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **オプションボタン** をタッチする。

2 設定する機能を選んでタッチする。

消音	画面はそのままで、AVの音を消します。 再度 [☆] を押すと音が出ます。
AVソース切替	AVソースが切り替わります。
電話リダイヤル発信	本機のハンズフリー機能を使用して、前回電話をかけた番号にかけなおします。
自宅	現在地から自宅までのルート探索をします。

キー操作音をON／OFFする

本機を操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選ぶことができます。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **その他設定** ➡ **キー操作音** をタッチする。

2 “キー操作音” **する** ／ **しない** をタッチする。

する	キー操作音を出す
しない	キー操作音を出さない

携帯電話／Bluetooth® Audio機器を登録する

携帯電話を登録する

携帯電話の登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth 設定 ➡ 機器登録 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ 機器登録 は端末が追加登録可能な場合に選ぶことができます。

2 登録する携帯電話のキャリア名(携帯事業社名)を選んでタッチする。

お知らせ

すでにBluetooth®接続済みの機器がある場合、Bluetooth®接続を切断するかメッセージが表示されるので はい を選んで切断してください。

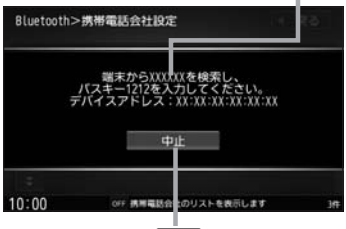
3 携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

※ハンズフリー登録操作完了後Bluetooth® Audioの追加登録が可能な場合、登録した端末をBluetooth® Audioとしても登録するか確認メッセージが表示されます。

初期値は型式に対応

接続待機中画面



接続待機中に 中止 をタッチすると接続を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

お知らせ

- 携帯電話は4台まで登録可能です。
- 携帯電話の登録を行う際は、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth®機器の電源はお切りください。
- 携帯電話を利用するには、登録に加えて携帯電話の接続設定(→F-12ページ)が必要です。
- 本機に登録済みの携帯電話を登録しなおす場合は、本機で登録を削除(→F-14ページ)してから登録操作を行ってください。
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録できます。

登録した携帯電話の接続設定をする

ハンズフリーを利用するには“電話１”または“電話２”に接続設定してください。
NaviConを利用するときは“NaviCon”に接続設定してください。
※“電話１”、“電話２”、“NaviCon”に接続設定できる携帯電話はそれぞれ１台です。
利用する機能に合わせて接続設定を行ってください。

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 接続設定したい携帯電話の“電話１”、“電話２”、“NaviCon”の ／ をタッチする。

：タッチするたびにBluetooth®接続する携帯電話の接続設定⇔接続解除が切り替わります。

携帯電話登録一覧画面

登録した携帯電話の一覧

お知らせ

- 携帯電話を接続設定した場合、その携帯電話の仕様によってはBluetooth®操作を行えない場合があります。その場合は、接続設定を解除してください。接続設定を解除すると、解除された携帯電話の接続は切断されます。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

携帯電話接続確認案内の設定をする

“電話１”または“電話２”に接続設定されている携帯電話と接続できなかった際、メッセージと音声でお知らせするか設定できます。
※“NaviCon”にのみ接続設定されている携帯電話については本設定を行ってもお知らせしません。

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 “接続確認案内” する ／ しない を選んでタッチする。

お知らせ

- する に設定した場合は、“電話１”／“電話２”の片方のみ接続設定している場合は起動から約30秒後、“電話１”／“電話２”の両方に接続設定している場合は起動から約60秒後に接続設定されている携帯電話と接続できない場合に、メッセージと音声でお知らせします。
- 音声案内で 消音 を設定している場合でも する に設定した場合、音声でお知らせします。音声は 消音 に設定する前の音量になります。
- 接続確認案内のメッセージが表示される前にハンズフリーの画面を表示した場合、接続確認の案内は行われません。
  ※ハンズフリー以外のBluetooth®機能が動作中の場合、案内表示までにBluetooth®接続が行われず、接続確認の案内が表示される場合があります。

Bluetooth® Audio機器を登録する

Bluetooth® Audio機器の登録は、本機とBluetooth® Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、Bluetooth® Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ Bluetooth ➡ 機器登録 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

※ 機器登録 は端末が追加登録可能な場合にタッチできます。

お知らせ

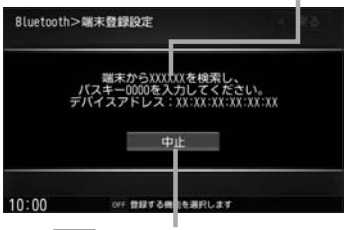
すでにBluetooth®接続済みの機器がある場合、Bluetooth®接続を切断するかメッセージが表示されるので はい を選んで切断してください。

2 Bluetooth® Audio機器側を操作して登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

初期値は型式に対応

接続待機中画面



接続待機中に 中止 をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。

お知らせ

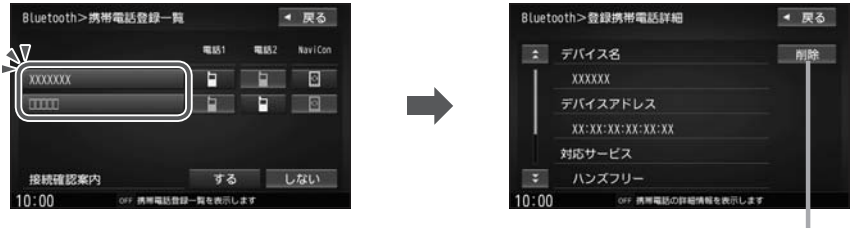
- Bluetooth® Audio機器は２台まで登録可能です。2台登録した場合、どちらを使用するか接続設定してください。→F-14ページ
- Bluetooth® Audio機器の登録を行う際は、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth®機器の電源はお切りください。
- 本機に登録済みのBluetooth® Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除(→F-14ページ)してから登録操作を行ってください。
- Bluetooth® Audio機器の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録できます。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／登録を削除する

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

2 携帯電話を選んでタッチする。

：選んだ携帯電話の詳細情報画面が表示されます。



登録を削除

お知らせ

- 携帯電話を削除すると、本体に転送したメモリ(アドレス帳)は削除されます。
- 電話２に接続設定された携帯電話を削除した場合は、リストの一番下の携帯電話を電話２として自動的に接続設定します。ただし、その携帯電話が電話１として接続設定されている場合は、リストの下から２番目の携帯電話を電話２に接続設定します。
- 電話１に接続設定された携帯電話を削除した場合は、電話１に他の携帯電話を自動的に接続設定しません。
- 本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。また、絵文字を使用している場合、本機では_(アンダーバー)表示されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

登録したBluetooth® Audio機器の接続設定／登録を削除する

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ Bluetooth ➡ 登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

2 操作したい項目を選んでタッチする。

接続する	タッチするたびに接続設定⇔接続解除が切り替わります。 ※接続設定できるのは１台です。
詳細	登録機器詳細画面が表示されます。
削除	登録を削除します。

本機のBluetooth®情報を確認する

本機のデバイス名、デバイスアドレス、ハンズフリーパスキー、**Bluetooth®** Audioパスキーを確認できます。

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。

デバイス名／パスキーを変更する

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth 設定 ➡ 本体情報 をタッチする。

2

■ デバイス名を変更する

① デバイス名変更 をタッチする。

② デバイス名を入力し、 決定 をタッチする。

■ パスキーを変更する

① パスキー変更 をタッチする。

② ハンズフリー ／ Bluetooth Audio を選んでタッチする。

③ パスキーを入力し、 決定 をタッチする。

お知らせ

安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

G
カメラを使う

リヤビューカメラの映像を表示する……G-2
映像を表示する／非表示にする……G-2
目安線を表示する……G-2
目安線の見かた……G-2
目安線を調整する……G-3
バックドア開閉目安点を調整する……G-4

リヤビューカメラの映像を表示する

本機にリヤビューカメラを接続すると、車の後方を映像で確認できます。

映像を表示する／非表示にする

映像を表示する	車のシフトレバーをリバースに入れる
映像を非表示にする	車のシフトレバーをリバース以外に入れる ：もとの画面に戻ります。

目安線を表示する

※標準装備のリヤビューカメラの場合、目安線の表示⇔非表示を本機で切り替えることはできません。

1 リヤビューカメラ映像表示中に、
画面をタッチして **目安線を表示** をタッチする。

※目安線の表示をやめるには **目安線を非表示** をタッチします。

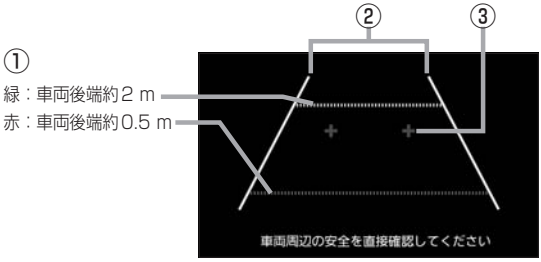
お知らせ

夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

目安線の見かた

※ディーラーオプションのリヤビューカメラの目安線を説明しています。

画面上に車両後方の進路となる車幅目安線が表示されます。



①距離目安線
車両後方の距離の目安を表示

②車幅目安線
後退したときの車幅の目安を表示

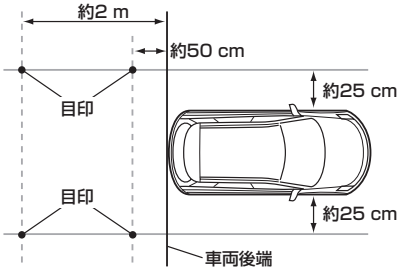
③バックドア開閉目安点
バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示

お知らせ

- リヤビューカメラの映像に表示される車幅・距離目安線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 直接目で後方を確認しながらバックしてください。リヤビューカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。

目安線を調整する

1 車両の幅から両側約25 cm、車両後端からうしろ側へ約50 cmと約2 mの4点にガムテープなどで目印を付ける。



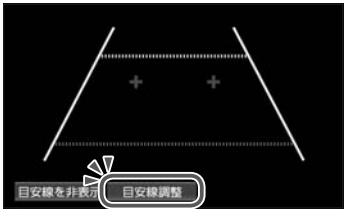
2 パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れ、画面をタッチして **目安線を表示** をタッチする。

※ **目安線を表示** が消えた場合は、再度画面をタッチしてください。

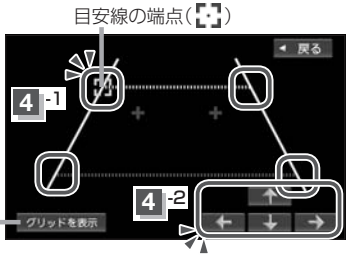
3 **目安線調整** をタッチする。

※車種によってはリヤビューカメラの取付位置により、目安線が車両にかかる場合があります。

※ **目安線調整** が消えた場合は、再度画面をタッチしてください。



4 調整したい目安線の端点をタッチして、↑／↓／←／→で、手順 **1** で付けた目印と重なるように調整する。



5 **戻る** をタッチする。

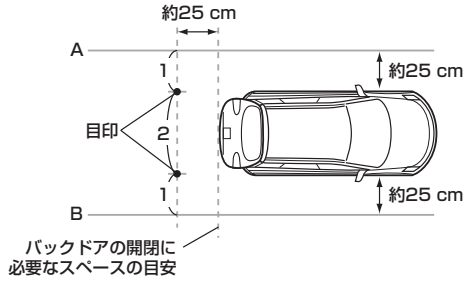
：リヤビューカメラ映像画面に戻ります。

お知らせ

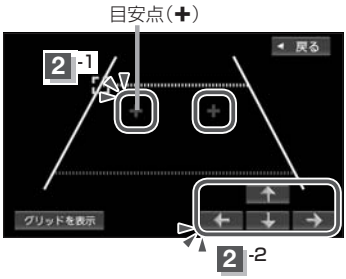
- パーキングブレーキをかけて車のシフトレバーをリバースに入れているとき **目安線を表示** を点灯／消灯と目安線の調整ができます。
- 目安線の調整をしている途中に車のキースイッチを「OFF」にしても、調整の設定は保持されます。

バックドア開閉目安点を調整する

1 バックドアの開閉に必要なスペースの目安からうしろ側へ約25 cmの位置およびA、B間を右図のように長さの比率が1：2：1になるようガムテープなどで目印を付ける。



2 G-3ページ手順 **2** 、 **3** に従って操作し、調整したい目安点をタッチして、↑／↓／←／→で、手順 **1** で付けた目印に重なるように調整する。



3 **戻る** をタッチする。

：リヤビューカメラ映像画面に戻ります。

お知らせ

リヤビューカメラ画面上の✚はバックドア可動範囲の目安点です。これ以上車両をバックさせるとバックドアが障害物とぶつかる危険性があります。

H
地図を更新する

地図更新について……H-2
更新される内容……H-2
全国地図更新を利用する……H-2
主要地図更新を利用する……H-3
ご利用の前に……H-3
主要地図更新の流れについて……H-3
困ったときは……H-3

地図更新について

地図更新は、下記の２つの方法で更新できます。

1. 全国地図更新

三菱自動車販売会社で、地図の全データを更新します。

※全国地図更新無料クーポン券が使用できます。

※更新用データは、毎年７月頃に三菱自動車販売会社で取り扱います。

2. 主要地図更新

お客さまがパソコンで地図更新アプリを使用し、インターネットから地図データをダウンロードして、主要道路、施設情報を更新します。

※市街地図など一部の地図データは更新されません。

※更新データは、２ヶ月に１度主要地図更新専用サイトに掲載されます。
なお、下表のとおり、データ配信時期（ホリデイ更新：4、8、12月／スポット更新：2、6、10月）により更新内容が異なります。

更新される内容

更新内容 ＼ 更新方法	全国地図更新	主要地図更新	
		ホリデイ更新	スポット更新
道路地図（縮尺25 m ～250 km）※細街路含む。	○	○	○
案内画像（リアル3D交差点・JCTビュー・方面看板など）	○	○	○
音声案内	○	○	○
地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）	○	○	×
市街地図（縮尺 5 m／12 m／25 m）	○	×	×
発売時期・主要地図更新データ配信時期	毎年７月頃	4、8、12月	2、6、10月

○：更新されます。　×：更新されません。

全国地図更新を利用する

- **全国地図更新は、三菱自動車販売会社にて取り扱う更新となります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。また、１回限り有効な「全国地図更新無料クーポン券」を取扱説明書の巻末に記載していますので、よくお読みのうえご利用ください。**

  ※無料クーポン券の再発行は行いません。大切に保管してください。

  ※無料クーポン券は、車両初年度登録年月日またはディーラーオプションナビ購入日より３年以内の三菱自動車販売会社での有料点検入庫時（12ヶ月／24ヶ月法定点検、３年目車検）に限り、１回有効です。それ以外の更新は有料となりますのでご了承ください。

- **更新時に本機に登録された情報・内容が消去される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

お知らせ

2016年8月1日から2019年12月末までの間、年１回地図更新についてのお知らせを、音声と画面にて案内します。

※取扱説明書の巻末に記載している「全国地図更新無料クーポン券」を利用して全国地図更新をすると、以後案内しなくなります。

主要地図更新を利用する

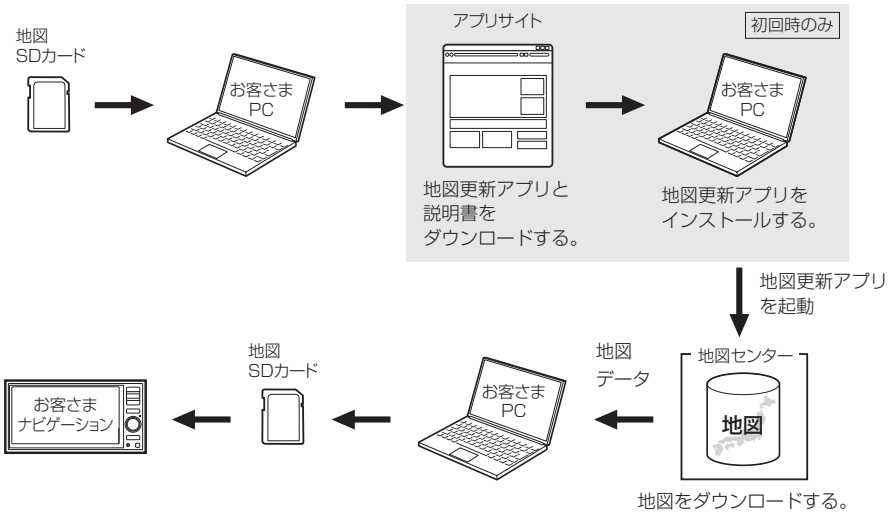
車両初年度登録年月日またはディーラーオプションナビ購入日より３年間「無料」でご利用できます。
※４年目以降の更新は有料となりますのでご了承ください。（詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください）

ご利用の前に

- **インターネットに接続できる環境とSDHC対応カードスロット搭載のパソコンが必要です。**
  ※パソコンがSDHC対応カードスロットを搭載していない場合は、SDHCカード対応SDカードリーダーが必要です。
- パソコン推奨環境の最新情報については主要地図更新専用サイト（http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/index4.html）を確認ください。
- **インターネット使用料金などの費用はお客さまのご負担となります。**

主要地図更新の流れについて

主要地図更新についての詳しい操作方法は、主要地図更新専用サイト（http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/appli4.html）から説明書をダウンロードしてご覧ください。
※専用サイトは、携帯電話でのご利用はできません。



本機のソフトウェアの更新について

地図データ更新時に、本機のソフトウェアも併せて更新される場合があります。
その場合、本機の画面に従って操作をしてください。

困ったときは

主要地図更新「よくあるご質問」が主要地図更新専用サイト（http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/faq4.html）にありますのでご確認ください。

AVを楽しむ

AVの基本操作……I-2
ソースを選ぶ……I-2
音量を調整する……I-2
AVをON／OFFする……I-3
音声はそのままで、地図画面を表示する……I-3
CDを聞く……I-4
再生する……I-4
選曲する……I-5
早戻し／早送りする……I-5
リピート／ランダム／スキャン再生する……I-6
ラジオ(FM／AM)を聞く……I-7
FM／AMを聞く……I-7
選局する……I-7
ラジオで交通情報を聞く……I-8
iPodを使う……I-9
音楽を再生する……I-9
選曲する……I-10
音楽を早戻し／早送りする……I-11
音楽を一時停止する……I-11
音楽をリピート／シャッフル再生する……I-12
ビデオを再生する……I-12
ビデオを早戻し／早送りする……I-13
ビデオを一時停止する……I-14
iPodを本機に接続する……I-14
WALKMAN®／USBメモリー／SDカードを使う……I-15
音楽を再生する……I-15
選曲する……I-16
音楽を早戻し／早送りする……I-17
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する……I-17
WALKMAN®／USBメモリーを取り付ける……I-18
WALKMAN®／USBメモリーを取り外す……I-18
Bluetooth® Audioを使う……I-19
再生する……I-19
選曲する……I-20
早戻し／早送りする……I-21
一時停止する……I-21
リピート／ランダム再生する……I-21
AV設定をする……I-22
車速連動音量を設定する……I-24

AVの基本操作

ソースを選ぶ

1 **AV を押す。**

：AVメニューまたはオーディオ画面が表示されます。

※オーディオ画面が表示された場合は、再度 AV を押してください。

2 **操作したいソースを選んでタッチする。**

：選んだソースのオーディオ画面が表示されます。

お知らせ

(OPT)に **AVソース切替** を割り当てている場合は、 を押すたびにAVソースが切り替わります。

音量を調整する

1 **音量 ツマミを回す。**

：画面に音量表示が表示されます。

※回し続けて調整することもできます。

SDソース(例)

音量表示

お知らせ

- 音量は各ソースで個別に設定できます。
  ※FM／AMソースの場合は、FMまたはAMのどちらかで設定した音量となります。
- (OPT)に **消音** を割り当てている場合は、 を押すたびに音を消したり、出したりできます。

AVをON／OFFする

1 PUSH AV OFF を押す。

お知らせ

Bluetooth® Audioソースの場合、Bluetooth® Audio対応機器によっては、AVをOFF／車のキースイッチを「OFF」にしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合は、機器側で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

音声はそのままで、地図画面を表示する

1 各ソースの画面で、現在地 を押す。

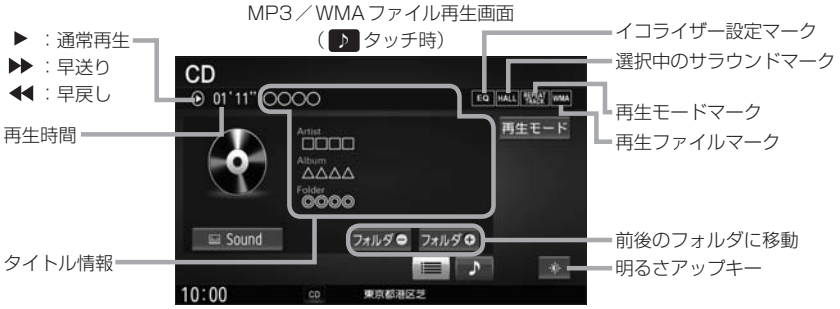
：音声はそのままで、地図画面に変わります。

※今聞いているソース画面に戻すには AV を押してください。

CDを聞く

再生する

1 **ディスクを入れる。**→A-15ページ



お知らせ

- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AVメニューから CD をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

音楽CDについて

- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が表示されます。
  ※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- CD-TEXT情報がない場合、Artist、Albumは“No Title”と、トラック名は“TRACK XX（XXはトラック番号）”と表示されます。
- トラック名、Artist、Albumが表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。（走行中はスクロールしません）

MP3／WMAについて

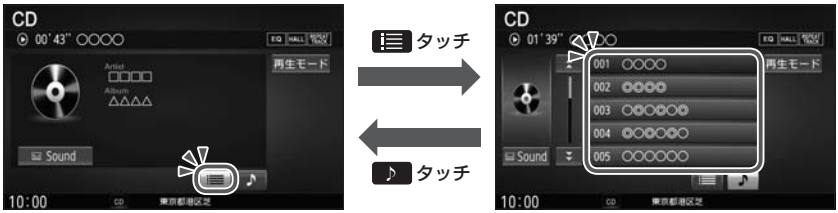
- トラック名、Artist、Album、Folderが表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。（走行中はスクロールしません）
- タイトル情報の表示が実際と異なって表示される場合があります。

選曲する

■ トラックリストから選曲する

➡再生したい曲をタッチする。

CD再生画面(例)



お知らせ

MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

■ フォルダ選曲する(MP3／WMAのみ)

フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

：選んだフォルダ内の先頭の曲から再生します。

フォルダ⊖	前のフォルダに戻る
フォルダ⊕	次のフォルダに進む

■ 曲の頭出しをする

⏮ ⏭ を押す。

早戻し／早送りする

1 **⏮ ⏭ を押したままにする。**

※指を離すと通常再生に戻ります。

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モードをタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

	CD	MP3／WMA
リピート	再生中の曲を繰り返し再生（リピートトラック） ↓ 通常再生 ←	再生中の曲を繰り返し再生（リピートトラック） ↓ フォルダ内の曲を繰り返し再生（リピートフォルダ） ↓ 通常再生 ←
ランダム	ディスク内の曲を順不同に再生 ↓ 通常再生 ←	選曲中のフォルダ内の曲を順不同に再生 ↓ 通常再生 ←
スキャン	曲の初めを約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 ディスク内の曲をスキャン再生 ↓ 通常再生 ←	

ラジオ(FM／AM)を聞く

FM／AMを聞く

1 AVメニューから FM／AM をタッチする。

2 エリア ➡放送局リストから呼び出したい放送局をタッチする。

お知らせ

- 放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。
- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 自動的に放送局リストは更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局リストを表示できていない場合があります。その場合は、 エリア更新 をタッチして現在地周辺の放送局リストに更新してください。

選局する

■ 手動選局する

⏮ ⏭ を押す。

：押すたびにFMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。

■ 自動選局する

⏮ ⏭ を押したままにする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ ⏭ を押すと自動選局は止まります。

お知らせ

- 自動選局中は“サーチ中…”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

■ プリセット選局する

P1／P2に登録した放送局を呼び出すことができます。
放送局の登録のしかた→下記

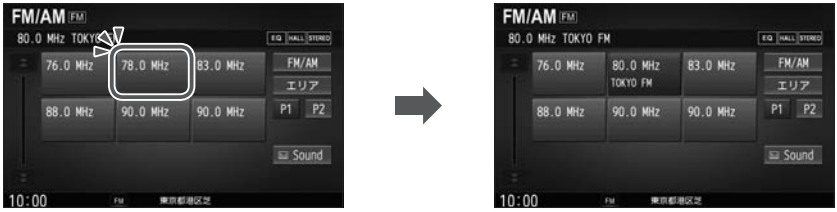
P1 ／ **P2** ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します。

P1／P2に登録する

FM、AMでP1／P2に6局ずつ登録できます。

① **P1** ／ **P2** を選んでタッチする。
② ⏮ ⏭ を操作して登録したい放送局を選ぶ。
③ 登録させたいタッチキーを、登録したい放送局の表示に変わるまで長押しする。



ラジオで交通情報を聞く

1 AVメニューから **交通情報** をタッチする。

2 **1620kHz** または **1629kHz** をタッチする。

：交通情報を受信します。

iPodを使う

あらかじめiPodを本機と接続(→I-14ページ)しておく必要があります。
※iPodはiPodソースで再生します。WALKMAN®／USBソースでは動作しません。
※本書では特にことわりのない限り、iPod、iPhoneを「iPod」と表記しています。

音楽を再生する

1 AVメニューから iPod をタッチする。

※iPodビデオが再生された場合は、画面を2回タッチしてから ミュージック をタッチしてください。

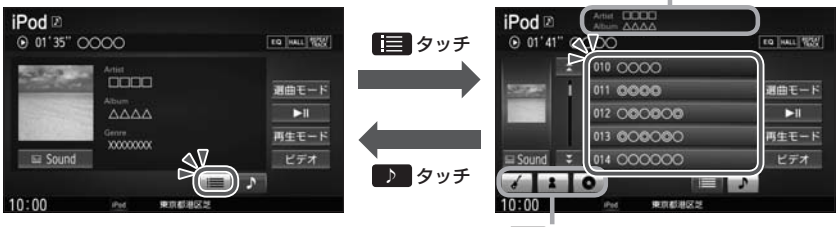
お知らせ

- 表示内容はiPodで表示されるタイトル情報となります。ただし、iPodの機種やバージョンによっては、正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPodで表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。
- iPod側のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。

選曲する

■ トラックリストから選曲する

≡ ➡再生したい曲をタッチする。



アーティスト名とアルバム名が確認できます。

：ジャンルリストを表示
：アーティストリストを表示
：アルバムリストを表示

お知らせ

表示されるリストは選曲モード(→下記)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。

トラック名をタッチすると、選曲モードのリストで 全曲 タッチと同じ動作をします。

アーティスト名／アルバム名／ジャンル名をタッチすると、選曲モードのリストでそれぞれ アーティスト ／ アルバム ／ ジャンル タッチと同じ動作をします。

② 表示されるリストから選んでいき、トラックリストから再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生したいトラックを選んでタッチ
アルバム	再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
ポッドキャスト	再生したいポッドキャストを選んでタッチ
ジャンル	再生したいジャンル➡アーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
プレイリスト	再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ
作曲者	再生したい作曲者➡アルバム➡トラックを選んでタッチ

※ すべて をタッチした場合は、絞り込みをせずに次のリスト表示をします。
例えば、アーティストリストで すべて をタッチした場合、次に表示されるアルバムリストはiPodに収録されている全てのアルバムが表示されます。

③ 再生中画面 をタッチする。

：再生画面に戻ります。

お知らせ

- 選曲モードは、iPodに収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- トラックリストのとき、トラック名が表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。（走行中はスクロールしません）
  ※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。（スクロールは一巡すると止まります）

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作に制限がかかります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はしません）
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示となる場合があります。

■ 曲の頭出しをする

⏮ ⏭ を押す。

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする。

※指を離すと通常再生に戻ります。

音楽を一時停止する

1 ▶II をタッチする。

※一時停止中に再度 ▶II をタッチすると通常再生に戻ります。

音楽をリピート／シャッフル再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲を繰り返し再生(リピートトラック) ↓ 通常再生
シャッフル	今聞いているリストの中から順不同で再生(シャッフルトラック) ↓ アルバムごとに順不同で再生(シャッフルアルバム) ※アルバム内のトラックは順番通りに再生されます。 ※アルバムは選曲モード(→I-10ページ)によって変わります。 ↓ 通常再生

ビデオを再生する

1 AVメニューから iPod をタッチする。

※ミュージックが再生された場合は、iPodミュージック再生画面で ビデオ をタッチしてください。

■ タイムバーを表示する

画面をタッチする。

※無操作の状態がしばらく続くとタイムバー表示は消えます。

■ リストより再生したいビデオを選ぶ

① タイムバー表示時に、画面をタッチする。

② リストから再生したいファイルを選んでタッチする。

③ 全画面 をタッチする。

ファイルリスト

お知らせ

ファイルリストを変更するには、 リスト変更 をタッチし、表示されたリストから選んで、 再生中画面 をタッチしてください。

■ ビデオをリピート再生する

① タイムバー表示時に、画面をタッチする。

② 再生モード ➡ リピート をタッチする。

：タッチするたびに表示灯が点灯／消灯します。
点灯：繰り返し再生
消灯：通常再生

お知らせ

- ビデオ再生を使うには、iPod側でTV出力の設定を有効にしてください。
- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中、iPod側の操作はできません。
- ビデオ再生のとき、リストの各動画コンテンツ（情報の内容）ごとにリジューム情報（どこまで再生したか）をiPodが記憶しています。他のオーディオ画面に切り替えても再度ビデオ再生にすると前回の続きから再生が始まります。ただし、車のキースイッチを「OFF」したり ミュージック と ビデオ を切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リストの一番上の曲から再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは再生できません。
- ビデオに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。画面をタッチし、 ミュージック をタッチしてください。

ビデオを早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする。

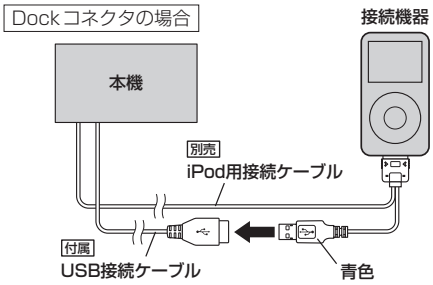
※指を離すと通常再生に戻ります。

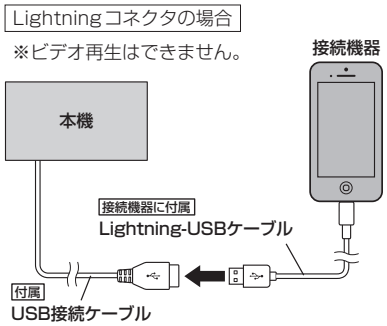
ビデオを一時停止する

1 タイムバー表示時に、画面をタッチし ▶II をタッチする。

※一時停止中に再度 ▶II をタッチすると通常再生に戻ります。

iPodを本機に接続する





お願い

- iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- iPodソースのときに、iPodの取り付け･取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を防げないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたあとは､必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず､iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- 接続中は、iPodを操作しないでください。
- iPodの説明書もよくお読みください。
- 本機への接続前と取り外し後で､iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touchを接続して使用する際は、iPod touch側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

お知らせ

- iPod使用時は、WALKMAN® やUSBメモリーは使用できません。
- 接続したまま車のキースイッチを「OFF」にすると、設定により抜き忘れを音声でお知らせします。
- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- 本機に接続すると、起動中、iPodは充電されます。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作や、バージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。

WALKMAN®／USBメモリー／SDカードを使う

あらかじめWALKMAN®／USBメモリーを本機と接続(→I-18ページ)、またはSDカードを本機に挿入(→A-15ページ)しておく必要があります。

音楽を再生する

※再生できる音楽ファイルについて →N-40ページ

1 AVメニューから WALKMAN®／USB または SD をタッチする。

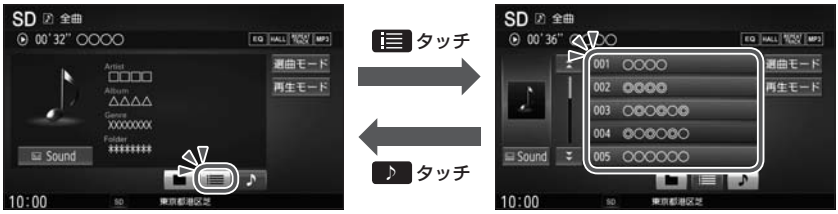
お知らせ

- タイトル情報が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- トラック名、Artist、Album、Folderなどが表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。(走行中はスクロールしません)
- WALKMAN®に転送したMP3／WMA／AACファイルはフォルダ選曲でのみ再生できます。

選曲する

■ トラックリストから選曲する

[☰]➡再生したい曲をタッチする。



お知らせ

表示されるリストは選曲モード(→下記)によって変わります。

■ アルバム選曲する(WALKMAN®)／フォルダ選曲する(USBメモリー／SDカード)

[💿]／[📁]➡再生したいアルバム／フォルダをタッチする。

：タッチしたアルバム／フォルダの先頭の曲から再生します。

お知らせ

表示されるリストは選曲モード(→下記)によって変わります。

WALKMAN®ご使用の場合

- 選曲モードでフォルダを選んだ場合は、[💿]が[📁]に変わります。
- 選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選んだ場合、[💿]はタッチできません。

■ 選曲モードから選曲する

① **選曲モード**➡選曲方法を選んでタッチする。

② 表示されるリストから選んでいき、
トラックリストから再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生したいトラックを選んでタッチ
アルバム *1	再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ
アーティスト *1	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
ジャンル *1	再生したいジャンル➡トラックを選んでタッチ
グループ *1	再生したいグループ➡トラックを選んでタッチ
プレイリスト *1	再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ
フォルダ	再生したいフォルダ➡トラックを選んでタッチ

＊1…WALKMAN®のみ

③ 再生中画面 ⮌ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

お知らせ

- WALKMAN®／USBメモリー／SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 走行中は安全のため、リストのキーをタッチしても無効になるなど、操作に制限がかかります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。（トラックリストなどの表示はしません）

■ 曲の頭出しをする

⏮ ⏭ を押す。

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする。

※指を離すと通常再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

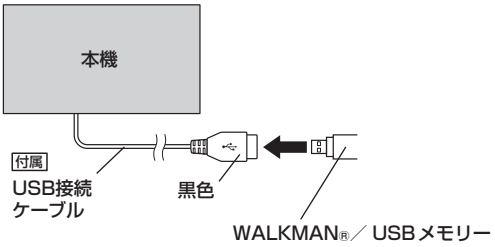
リピート	再生中の曲を繰り返し再生（リピートトラック） ⬇ 通常再生
ランダム	今聞いているリストの中から順不同に再生 ⬇ 通常再生
スキャン	曲の初めを約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生 ⬇ 通常再生

WALKMAN®／USBメモリーを取り付ける

お知らせ

- 車のキースイッチを「OFF」にして行ってください。
- WALKMAN®／USBメモリー使用時、iPodは使用できません。
- WALKMAN®の種類によっては、WALKMAN®本体に付属されているUSBケーブルを使用して本機にUSB接続する必要があります。

1 本機から出ている付属のUSB接続ケーブル(黒色)に WALKMAN®／USBメモリーを接続する。



WALKMAN®／USBメモリーを取り外す

1 PUSH AV OFF を押してAVをOFFにし、 WALKMAN®／USBメモリーを外す。

お願い

- WALKMAN®／USBソースのときに、WALKMAN®の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- WALKMAN®やUSBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- WALKMAN®、USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降り、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- WALKMAN®、USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、WALKMAN®やUSBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたあとは、必ずWALKMAN®を取り外してください。WALKMAN®の電池を消耗することがあります。

お知らせ

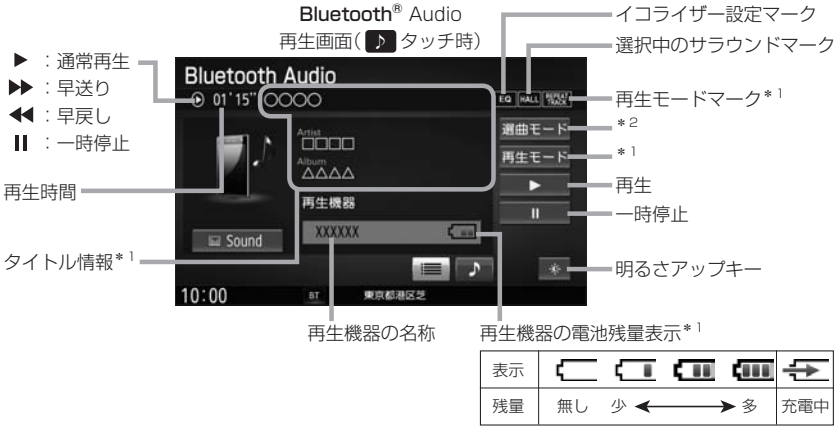
- WALKMAN®／USBメモリーを外したあと再度接続して再生を始めると、前に再生していた続きから再生を始めます。
  ※WALKMAN®／USBメモリー認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の初めから再生する場合があります。
- 再生中にWALKMAN®／USBメモリーを外すとデータが壊れたり、WALKMAN®／USBメモリーが破損するおそれがあります。必ずWALKMAN®／USBソースをOFFにして外してください。

Bluetooth® Audioを使う

あらかじめ**Bluetooth®** Audio機器を本機に登録(→F-13ページ)・接続設定(→F-14ページ)をしておく必要があります。

再生する

1 AVメニューから Bluetooth Audio ➡ ▶ をタッチする。



お知らせ

- 接続機器によっては、音声出力や画面表示に時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。
- 接続機器によっては、画面表示が更新されない場合があります。
- 接続機器によっては、タイトル情報が表示されない場合があります。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続機器で動画再生中の音声を**Bluetooth®** Audioとして本機から出力する場合、接続機器側の映像よりも音声が遅れて出力される場合があります。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、**Bluetooth®** Audioに切り替える前に全てのアプリを終了して、**Bluetooth®** Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、**Bluetooth®** Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例:iPodとケーブル接続している場合)
- タイトル名、Artist、Albumが表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。(走行中はスクロールしません)

＊1…AVRCP ver.1.0では非表示
＊2…AVRCP ver.1.3以下では非表示／操作非対応

選曲する

■ トラックリストから選曲する

※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

☰ ➡再生したい曲をタッチする。

※スクロールバーの位置表示／操作はできません。

※トラックリストの先頭から最後尾または最後尾から先頭へ直接スクロールすることはできません。

■ 選曲モードから選曲する

※AVRCP ver.1.3 以下では操作できません。

① **選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。**

：選曲モードに表示される内容や以降の操作は機器によって異なります。

② **再生中画面 ⮌ をタッチする。**

：再生画面に戻ります。

お知らせ

- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 機器によっては、キー表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。

■ 曲を頭出しする

⏮ ⏭ を押す。

早戻し／早送りする

1 ⏮ ⏭ を押したままにする。

※指を離すと通常再生に戻ります。

お知らせ

早送り／早戻しをすぐに解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。解除されない場合は ▶ または ⏸ をタッチして解除してください。

一時停止する

1 ⏸ をタッチする。

※一時停止中に ▶ をタッチすると通常再生に戻ります。

リピート／ランダム再生する

※AVRCP Version1.3 以上対応でリピート／ランダム再生可能なBluetooth® Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。（機器によってはモードが正しく反映されない場合があります）

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲を繰り返し再生（リピートトラック） ↓ 通常再生
ランダム	今聞いているリストの中から順不同に再生 ↓ 通常再生

AV設定をする

AV OFFのとき、AV設定はできません。AV ONにしてから設定してください。
また、走行中は設定できる項目が制限されます。

1 情報・設定メニューから AV設定 をタッチする。

2 項目を選んで設定する。

AV設定画面

FADE／BALANCE設定
BASS／TREBLE設定
音響効果設定
イコライザー設定

■ 前後左右のスピーカーの音量バランス設定(FADE／BALANCE設定)

① 詳細設定 をタッチする。

② ◀／▶／▼／▲をタッチして調整する。

※イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。

◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。
▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後ろスピーカーの音量が下がる。

■ 音響効果設定 ※交通情報受信中は無効です。

① エフェクトの◀／▶をタッチして、種類を選ぶ。

DSP	いろいろな環境の音場を擬似的に再現することができます。
OFF	音響効果設定をOFFにします。

② サラウンドの◀／▶をタッチして、擬似再現したい音場環境を選ぶ。

LIVE ……ライブハウスのような音場
HALL ……コンサートホールのような音場
STADIUM …スタジアムのような音場
CHURCH ……残響音の多い教会のような音場

■ イコライザー設定 ※交通情報受信中は無効です。

POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER から選んでタッチする。

※ POP ／ ROCK ／ JAZZ は本機に既存の値が設定されています。

※ USER の初期設定は全音域が±0に設定されています。
詳細設定 をタッチしてお好みの値を設定してください。

※イコライザー設定を解除したい場合は OFF をタッチしてください。

お知らせ

イコライザー設定値を変更するには

① 詳細設定 をタッチする。
② POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER から選んでタッチする。
③各帯域の ▲ ／ ▼ をタッチして調整する。
④ 登録 をタッチする。

イコライザー設定値を“－”で表示
タッチしても調整できます。

※イコライザーの63 Hz設定値とBASS設定値は連動します。また、イコライザーの12.5 kHz設定値とTREBLE設定値は連動します。

■ BASS／TREBLE設定 ※交通情報受信中は無効です。

① － ／ ＋ をタッチして調整する。

BASS	－ …低音が弱まる。　＋ …低音が強まる。
TREBLE	－ …高音が弱まる。　＋ …高音が強まる。

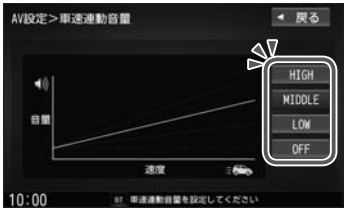
車速連動音量を設定する

車の速度によって、AVの音量を自動で調整するよう設定できます。

1 情報・設定メニューから AV設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

2 HIGH ／ MIDDLE ／ LOW ／ OFF から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない



J

テレビ放送を受信する

TV

TVを見る …… J-2
選局する …… J-2
チャンネルをプリセットキーに登録する …… J-3
データ放送を見る …… J-3
番組表を見る …… J-4
映像／音声を切り替える …… J-4
12セグ／ワンセグを切り替える …… J-5
視聴エリアの変更をする …… J-5
チャンネルをスキャンする …… J-6
郵便番号を設定する …… J-6
中継・系列局サーチをする …… J-6
各種設定をする …… J-7
受信レベルを確認する …… J-8
緊急警報放送について …… J-8
受信中に緊急警報放送が始まると …… J-8
緊急警報放送が終了すると …… J-8

TVを見る

1 AVメニューから **TV** をタッチする。

お知らせ

受信設定は以下を参照してください。
・視聴エリアの変更をする／チャンネルをスキャンする／郵便番号設定→J-5、J-6ページ

選局する

■ 順送りで選局する

⏮ ⏭ を押す。

■ チャンネルキー／プリセットキーをタッチして選局する

TV視聴中に画面をタッチして、
チャンネルキー／プリセットキーから選んでタッチする。

チャンネルキー／プリセットキー
※ **リスト** ➡ **チャンネルリスト** ➡ **戻る** をタッチした後、画面をタッチすると、チャンネルキーを表示
※ **リスト** ➡ **プリセットリスト** ➡ **戻る** をタッチした後、画面をタッチすると、プリセットキーを表示

■ チャンネルリスト／プリセットリストから選局する

① TV視聴中に画面をタッチして、**リスト** をタッチする。

② リストからチャンネルを選んでタッチする。

チャンネルリスト(例)

チャンネルリストに切り替え

プリセットリストに切り替え

チャンネルリスト表示中：エリアごとに初期設定されているチャンネルリストに戻します。
プリセットリスト表示中：プリセットしたチャンネルを全て削除します。

■ 自動選局する

⏮ ⏭ を押したままにする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※放送局を受信または一巡するまで自動選局は継続されます。

※自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。

※受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

チャンネルをプリセットキーに登録する

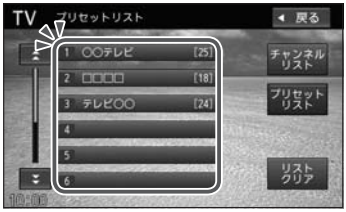
1 登録したいチャンネルを選局する。

2 画面をタッチして、リスト ➡ プリセットリスト をタッチする。

3 登録するプリセットキーを選んで長押しする。

：チャンネルがプリセットキーに登録されます。

※選局中や放送局を受信できない状態では、チャンネルを登録できません。



データ放送を見る

※データ放送は12セグ受信時のみ対応しています。

1 TV視聴中に画面をタッチして、次へ ➡ 色ボタン ➡ d をタッチする。

※データ放送を終了するには d をタッチしてください。

表示中のタッチキーを移動(画面上／画面下)

数字キーを表示

データ放送の操作に使用します。

表示中のタッチキーを消します。

番組表を見る

1 TV視聴中に画面をタッチして、**番組**をタッチする。

番組表 3チャンネル表示(例)

番組情報を取得
(最大9時間後までの選択中エリア内全放送局の番組情報を一括で取得します)

番組の詳細情報を表示
(番組はカーソルキーで選んでください)

カーソルキー

タッチするたびに番組表の表示を切り替え
・1チャンネル表示
・3チャンネル表示
・5チャンネル表示

前日の番組表表示
(過去の番組は表示できません)

翌日の番組表表示

お知らせ

- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から10番組まで表示されます。

映像／音声を切り替える

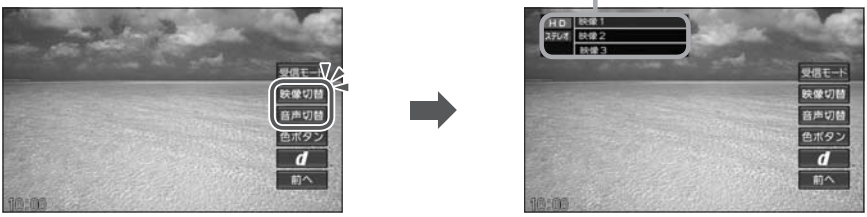
複数の映像または音声が同時に放送されている番組では、本機で切り替えることができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして、**次へ**➡**映像切替**／**音声切替**をタッチする。

※映像表示／音声表示が出ている間、**映像切替**／**音声切替**をタッチするたびに切り替わります。

※本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

映像表示(例)



12セグ／ワンセグを切り替える

1 TV視聴中に画面をタッチして、次へ ➡ 受信モード をタッチする。

※タッチするたびに受信モードが切り替わります。

・放送自動切替
・12セグ固定受信
・ワンセグ固定受信

視聴エリアの変更をする

視聴エリアを変更すると、チャンネルリスト(チャンネルキー含む)が更新されます。

1 TV視聴中に画面をタッチして、メニュー ➡ エリア変更 をタッチする。

2 下表に従って操作する。

自動で変更	自動で視聴エリアの変更を行います。 (自動変更がはたらくには、GPSで現在位置が受信できる必要があります) 自動 をタッチ
手動で変更	① 手動 をタッチ ②地方を選んでタッチ➡県域を選んでタッチ ③チャンネルスキャンを行う場合は はい 、スキャンを行わずエリア変更を終了する場合は いいえ をタッチ

チャンネルをスキャンする

1 TV視聴中に画面をタッチして、**メニュー**➡**スキャン**をタッチする。

2 **初期スキャン**／**再スキャン**を選んでタッチする。

初期スキャン	受信可能なチャンネルを探し、視聴エリアとチャンネルリスト(チャンネルキー含む)を最新の状態に上書き更新します。 ※引越しなどで受信地域が変わり、チャンネルリストを一新したい場合に行ってください。
再スキャン	受信可能なチャンネルを探し、新たに受信可能なチャンネルをチャンネルリストに追加します。(ただし、チャンネルリストに登録される放送局には上限があります) ※新しく開設された放送局を、現在のチャンネルリストに追加したい場合に行ってください。

郵便番号を設定する

データ放送を見る前に郵便番号を設定しておくことをおすすめします。地域情報(天気予報など)を見るときに必要な場合があります。

1 TV視聴中に画面をタッチして、**メニュー**➡**郵便番号設定**をタッチする。

2 郵便番号を入力し、**決定**をタッチする。

中継・系列局サーチをする

視聴中のチャンネルの受信ができない場合、中継局や系列局のサーチを行うことができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして、**中継**をタッチする。

お知らせ

各種設定(→J-7ページ)で中継・系列局サーチの設定(**自動**／**手動**)ができます。
自動…受信状態が悪くなった場合、自動で中継局や系列局を探します。
手動…受信状態が悪くなった場合、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。
はいをタッチすると中継・系列局サーチを開始します。

各種設定をする

1 TV視聴中に画面をタッチして、**メニュー**➡**各種設定**をタッチする。

2 各項目を選んでタッチし、設定する。

放送自動切替	12セグ／ワンセグの切り替え(→J-5ページ)を放送自動切替モードにしている場合、12セグ／ワンセグのどちらを優先して自動切り替えするか設定します。 **12セグ優先** …受信状態が悪くなっても、12セグを優先して受信 **ワンセグ優先** …受信状態が悪くなった場合、すぐにワンセグに切り替え
中継・系列局サーチ	受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局や系列局を探すか、手動で探すかを設定します。 **自動** …受信状態が悪くなった場合、自動で中継局や系列局を探す **手動** …受信状態が悪くなった場合、中継局を探すことをうながすメッセージが表示
サービス設定	独立データサービスを選局するか設定します。 **テレビ／データ** …テレビサービスと独立データサービスを選局 **テレビ** ……テレビサービスのみ選局 ※番組表もテレビサービスのみ表示されます。
チャンネル設定	チャンネル表示をサービスチャンネル番号で表示するか、物理チャンネル番号で表示するか設定します。 **サービスch** …サービスチャンネル番号(例：021)で表示 **物理ch** ……物理チャンネル番号(例：20ch)で表示
文字スーパー表示	文字スーパー表示を設定します。 **第1言語** ……第1言語で文字スーパーを表示 **第2言語** ……第2言語で文字スーパーを表示 **しない** ……文字スーパーを表示しない
字幕表示	字幕表示を設定します。 **第1言語** ……第1言語で字幕を表示 **第2言語** ……第2言語で字幕を表示 **しない** ……字幕を表示しない

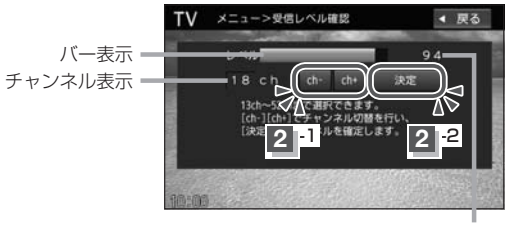
受信レベルを確認する

1 TV視聴中に画面をタッチして、**メニュー** ➡ **受信レベル確認** をタッチする。

2 **ch－** ／ **ch+** をタッチし
チャンネルを選んで、
決定 をタッチする。

※受信状態はバーの長さと数値で
確認できます。

受信レベル確認画面



MAXを100とし、100に近いほど
受信状態は安定しています。

緊急警報放送について

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

- **「受信設定」をしてください。**
  緊急警報放送は地域別に異なることがありますので、受信設定(視聴エリアの変更、スキャン)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急警報放送が受信できません。
  →J-5、J-6ページ

受信中に緊急警報放送が始まると

画面にメッセージが表示され、自動で緊急警報放送に切り替わります。

緊急警報放送が終了すると

画面にメッセージが表示され、緊急警報放送前のチャンネルに自動で戻ります。

お知らせ

緊急警報放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。TVソース以外のソースを選んでいるときや、車のキースイッチを「OFF」にしているときは緊急警報放送は受信できません。

K

外部機器の映像を見る／音声を聞く

接続する……K-2
映像を見る／音声を聞く……K-3

接続する

市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。
※接続する前に、機器側の電源を切り、車のキースイッチを「OFF」にしてください。
（本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります）

1 機器を接続する。

VTR機能	別売のAVケーブルと映像・音声ケーブルを使用して 本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	音声ケーブル(3.5 φ)を使用して 本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続 お知らせ ● ディスプレイを開閉するときに音声ケーブルがからまったり、プラグ部がぶつかったりしないよう注意して接続してください。 ● 音声ケーブルは抵抗なし品を使用してください。抵抗入りケーブルは音声が聞こえません。

2 外部接続を設定する。

※AUXで接続する場合は外部接続の設定をする必要はありません。

① 情報・設定メニューから **AV設定** をタッチする。

② **外部接続** をタッチする。

③ “VTR接続” **する** ／ **しない** を選んでタッチする。

※VTR接続機能を使用しない場合は、外部接続設定を **しない** にしてください。

映像を見る／音声を聞く

あらかじめAV機器などを本機に接続しておく必要があります。
さらに、VTRソースを使用する場合は、外部接続設定を **する** に設定しておいてください。

1 本機と使用する機器の電源を入れ、AVメニューから VTR ／ AUX を選んでタッチする。

お知らせ

画面をタッチするとタッチキーが表示されます。

VTRソース画面(例)

タッチキーを消し、全画面を表示
※ **ボタン消** はVTRソースのみ表示されます。

明るさアップキー

2 AV機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器の説明書をご覧ください。
※VTR接続機能を使用しない場合は、外部接続設定を **しない** にしてください。

お知らせ

- 接続機器の電源をOFFにしてから、車のキースイッチを「OFF」にしてください。
- VTR端子に入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- AUX端子に入力された音声はAUXソースで聞くことができます。
- VTR／AUXの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作ができます。
- 接続機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子	
映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)
AUX入力端子	
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)

L
ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンを使う……L-2
電話を受ける……L-2
通話中の操作……L-3
電話をかける……L-4
発信中の操作……L-5
ハンズフリーの通話設定をする……L-6
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……L-7

ハンズフリーフォンを使う

あらかじめ携帯電話を登録して、“電話1”または“電話2”に接続設定しておく必要があります。
→F-11、F-12ページ

電話を受ける

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信中画面になります。

着信中画面

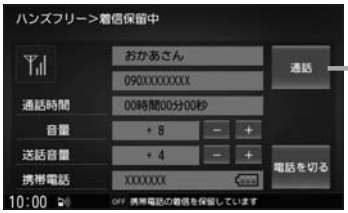
電波状態

携帯電話の名称と電池残量

相手の名前、電話番号
（名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示）

呼び出し音の音量を調整
※ 音量 ツマミを着信中に操作しても調整できます。

1 操作したい項目を選んでタッチする。

電話に出る	通話が開始され、通話中画面が表示されます。
保留	相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。 着信保留中画面  電話に出る ※着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。（保留できない携帯電話ではメッセージが表示されます） ※保留中も相手には通話料金がかかります。
電話を切る	かかってきた電話を応答せずに切ります。

お知らせ

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。
- 電波状態および電池残量は携帯電話の表示と異なる場合があります。
- 発信／着信／通話は携帯電話2台同時にはできません。（例：電話1で発信／着信／通話中、電話2に電話がかかってきたとき着信はできません。なお、電話2にかかってきたときの動作は設定により着信拒否されます）

通話中の操作

通話が始まると通話中画面が表示されます。

1 操作したい項目を選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます) ※ミュートを行うと、ミュート が 通話 に変わります。 通話 をタッチすると、再度自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話切替	ハンズフリー通話をやめて、携帯電話での通話に切り替えます。 ※携帯電話に切り替えると、携帯電話切替 が ハンズフリー切替 に変わります。 ハンズフリー切替 をタッチすると、ハンズフリー通話になります。
トーン	トーン入力が行えます。 ※安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
電話を切る	通話を終了し、電話を切ります。

お知らせ

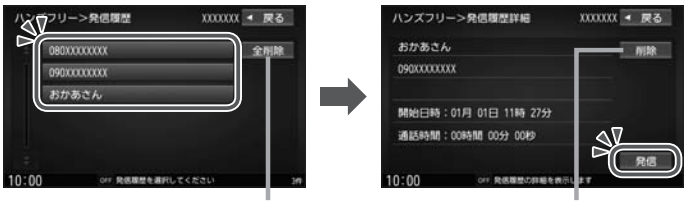
- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。
- 携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面を表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、トップメニューから 電話 をタッチしてください。
- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はAVの音量調整(音量 ツマミ)は無効となります。

電話をかける

1 トップメニューから **電話** をタッチする。

2 **電話1** ／ **電話2** を選んでタッチする。

3 画面に表示されるメニューの中から発信方法を選んでタッチする。

ダイヤル	電話番号を入力して電話をかけます。 **電話番号を入力して 発信 をタッチ**
リダイヤル	直前にかけた電話番号に電話をかけます。 **メッセージが表示されるので、 はい をタッチ**
発信履歴 ／ **着信履歴**	発着信履歴から電話をかけます。 ① **発着信履歴から電話をかける相手を選んでタッチする。** ② **発信** をタッチする。 発信履歴(例)  発信履歴画面の場合は、発信履歴を一括で削除　　選んだ履歴１件を削除
アドレス帳	携帯電話から登録した電話帳から電話をかけます。 ※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。 →L-7ページ ① **リストから電話をかける相手を選んでタッチする。** ② **番号１で発信** ／ **番号２で発信** を選んでタッチする。 アドレス帳の全件を一括で削除　　選んだアドレス帳１件を削除

お知らせ

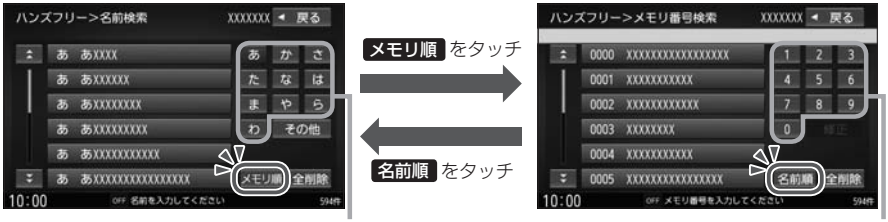
走行中は発信操作が制限されます。

発信履歴／着信履歴について

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴がリストに表示されます。（施設名は表示されません）
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

アドレス帳画面について

- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳に正しく50音割り当てされない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機に表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合があります。
- **メモリ順** をタッチするとアドレス各件に振られているメモリ番号の順にリストを並べ替えて表示します。



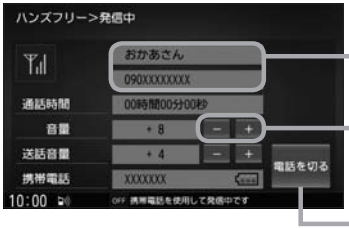
タッチしたひらがなのアドレス（名前）を表示

タッチしたメモリ番号のアドレス（名前）を表示

発信中の操作

電話をかけると発信中画面が表示されます。

発信中画面



相手の名前、電話番号
（名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示）

呼び出し音の音量を調整
※ 音量 ツマミを発信中に操作しても調整できます。

発信を中止する

お知らせ

携帯電話によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
（例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります）

ハンズフリーの通話設定をする

1 トップメニューから 電話 ➡ Bluetooth設定 ➡ 通話設定 をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

着信音量	着信時の呼び出し音の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
受話音量	通話中の相手の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
送話音量	通話中の相手に伝わる自分の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
通話中の着信拒否	例えば、電話１が発信／着信／通話中に、電話２へ電話がかかってきたとき、かかってきた電話を着信拒否するよう設定できます。 する：着信拒否する。 しない：着信拒否しない。
自動応答保留	設定すると電話がかかってきたとき、自動的に着信保留を行います。 （着信保留を行うと、電話回線がつながり電話に出られないことを音声で案内します） する：自動的に着信保留を行う。 しない：自動的に着信保留しない。

お知らせ

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- 各項目の設定は、電話１／電話２共通の設定となります。（個別には設定できません）

通話中の着信拒否について

- 通話中の着信拒否は、携帯電話が本機に２台接続している場合の機能です。
- 着信の場合、発信操作を拒否された側には、本機能で拒否された旨は通知されません。
  ※突然、電話を切られたようにみえます。
- “通話中の着信拒否” する に設定していると、発信／着信／通話中は他方の携帯電話での発信はできません。
  （例：電話１が発信／着信／通話中は、電話２で携帯電話での発信はできません）
- “通話中の着信拒否” する に設定していると、発信／着信／通話中は他方の携帯電話でのBluetooth®接続はできません。
  （例：電話１が発信／着信／通話中は、電話２のBluetooth®接続はできません）
  ※端末操作で発信操作を行いたい場合は、“通話中の着信拒否” しない に設定するか、Bluetooth®接続を携帯電話側で解除してください。

自動応答保留について

- 保留中のときも、相手には通話料金がかかります。
- 自動応答保留を行うためには、携帯電話側で応答保留（着信保留）に対応している必要があります。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

1 トップメニューから **電話** をタッチする。

2 **電話1** ／ **電話2** を選んでタッチする。

3 **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

お知らせ

- 携帯電話によっては、 **携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。（この場合の転送は全件転送のみ）自動で転送されたら、手順 **5** に進んでください。自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- Bluetooth® Audio機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

4 携帯電話を操作して、
転送したいアドレス帳を選んで
データ送信を開始させる。

携帯電話接続待ち中画面

読み出しを中止

※アドレス帳の全件転送（一括送信）を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。
追加保存 ／ **上書き保存** を選んでタッチしてください。
上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。

5 **終了** をタッチする。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。（転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません）
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。
- アドレス帳を転送するには、携帯電話を本機に登録し、”電話 1” または” 電話 2” に接続設定されていることが必要です。
- 本機のメモリがいっぱいになったり（1 台あたり最大 1500 件）、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたアドレス帳は保存されています。
- 転送中に車のキースイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。（故障のおそれがありますので、読み出し中はキースイッチを変更しないようご注意ください）
- 転送中に着信があった場合、**Bluetooth**® 接続では携帯電話によっては着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。（携帯電話によっては読み出しができる場合があります）
- 読み出しできる文字数は、名前：全角９文字まで／よみ：半角 18 文字までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送（一括送信）をすると携帯電話によってオーナー番号（お客さま自身の番号）も登録される場合があります。

M
困ったとき

故障かな？と思ったら…… M-2
こんなメッセージが表示されたら…… M-14

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記内容をチェックしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売会社にご連絡ください。

共通

	症　状	考えられる原因と処置
共通項目	**電源が入らない（動作しない）**	各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。 ⇨ 販売会社にご相談ください。
	音が出ない	音量が小さい、または“0”になっている。 ⇨ 音量 ツマミで調整してください。→I-2ページ
		フェード・バランスが片方に寄っている。 ⇨ フェード・バランスを正しく調整してください。→I-22ページ ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇨ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	本機に登録した情報が消失している	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に登録した情報が消失する場合がある。 ⇨ 消失したデータについては補償できません。
	ディスプレイが閉じない	ディスク排出の処理中である。 ⇨ 排出が終わったらディスクを取り出してください。
		SDカードが奥まで挿入されていない。 ⇨ 奥まで挿入してください。
		地図SDカード挿入口のフタが閉まっていない。 ⇨ フタを確実に閉めてください。
	ディスクが出ない	ディスクに汚れ、キズ、指紋が付いている。 ⇨ ▲(OPEN)を長押ししてください。
	映像が出ない	走行している。 ⇨ 走行中は映像を見ることができません。
		明るさ／コントラスト調整が最も暗い調整になっている。 ⇨ 明るさ／コントラストを調整してください。→N-6ページ
		画面が消えている。 ⇨ 画面をタッチして、画面を表示させてください。
		VTRソースになっている。 ⇨ 外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。 （VTR未入力時は黒い画面になります）
	画面が乱れる	本機の近くに携帯電話や無線機がある。 ⇨ 携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合がありますので本機と離してください。

	症　状	考えられる原因と処置
共通項目	表示が暗く見づらい	● 車両側のオートライトが働いている。 ● ライトをONにした。 ⇨ 画面の明るさはイルミネーションに連動します。 （トンネル内など画面が急に暗くなります）
	テレビなどの映像色や色合いが悪い	調整がずれている。 ⇨ 明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。 →N-6ページ
	映像にはん点やしま模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響で起きることがある。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素があるが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。 ⇨ 故障ではありません。

ナビゲーション

	症　状	考えられる原因と処置
自車マーク	平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる	3D表示では画面が煩雑にならないよう、文字表示の間引き処理を行っている。また同一の道路や地名などを複数表示することもある。 ⇨ 故障ではありません。
	現在地が正しく表示されない	走行条件やGPS衛星の受信状態により、表示誤差が生じた。 ⇨ 見晴らしのよい場所を一定速度でしばらく走行し、GPS衛星電波を受信してください。
	自車を移動させても地図がスクロールしない	現在地画面になっていない。 ⇨ 現在地 を押してください。
	自車マークが表示されない	
	走行すると道路が消える	走行中は細街路を表示しない。 ⇨ 故障ではありません。
	地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のままになっている	GPSアンテナ上に雪などが覆い被さって、GPS衛星からの電波が受信できない。 ⇨ 積もった雪などを取り除いてください。
		GPS衛星の受信感度が悪い。 ⇨ GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。
	自車位置精度が悪い	タイヤチェーンの装着、本機の他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。 ⇨ しばらく（およそ30 km/hの速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。または、センサー学習結果の初期化を行ってください。→N-43ページ
		GPS内蔵レーダー探知機を設置している。 ⇨ 本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。

	症　状	考えられる原因と処置
ルート探索	**探索されたルートが表示されない**	目的地の近くに道路がない。 ⇨ 目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意のうえ、道路上に目的地や経由地を設定してください。
		出発地と目的地が近い。 ⇨ 故障ではありません。
	遠回りな自動ルートを探索する	探索では、広い道路を優先して使用する場合がある。 ⇨ 故障ではありません。
		出発地、目的地付近の道路に規制がある。（一方通行など） ⇨ 出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してください。
		細街路を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地（経由地）付近では左折を優先している。 ⇨ 故障ではありません。
		車の方向が目的地方向と逆になっている。 ⇨ 故障ではありません。
	ランドマークの表示が実際と異なる	地形データに不備や誤りがある。 ⇨ 地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売会社にご相談ください。
	出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていない。 ⇨ 近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
	意図したルートとは違うルートが引かれる	● 目的地の近くに探索可能な道路がない。 ● 目的地を建物の中心に設定している。 ⇨ 目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。（目的地と逆の車線に設定され、正しいルートが作れないことがあります）
		中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。 ⇨ 最詳細地図で車線などを確認して設定してください。（一方通行を考慮するので大回りなルートを引く場合があります）
	再探索時、経由地を探索しない	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。 ⇨ 通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。
	ルート情報が表示されない	ルート探索を行っていない。 ⇨ 目的地を設定し、ルート探索を行ってください。→C-1 ページ
		ルート案内が停止になっている。 ⇨ ルート案内を開始してください。→C-19ページ
	ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示） ⇨ 探索されたルート上を走行してください。
	経由地が設定できない	すでに経由地を５地点設定している。 ⇨ 経由地は６地点以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。

	症　状	考えられる原因と処置
音声案内	**音声案内しない**	探索されたルートを外れている。 ⇨ 探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。
		ルート案内が停止になっている。 ⇨ ルート案内を開始してください。→C-19ページ
		音声案内画面の 消音 をタッチして音声を出なくしている。 ⇨ 消音 をタッチして解除してください。→F-9ページ
	音声案内やハンズフリー時の音量が急に大きくなる	音量 ツマミを操作してしまっている。 ⇨ 音量 ツマミで、音量を調整しなおしてください。→I-2ページ
	実際の道路と案内が異なる	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合がある。 ⇨ 実際の交通ルールに従って走行してください。

	症　状	考えられる原因と処置
VICS	**VICS情報が表示されない**	VICS情報を受信していない。 ⇨ 情報を受信できるまでお待ちください。

AV

	症　状	考えられる原因と処置
CD	CDソースに切り替わらない	ディスクが挿入されていない。 ⇨ ディスクを挿入してください。→A-15ページ
	● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まったりする ● 音が飛んだり音質が悪かったりする	ディスクに問題がある。 ⇨ 他のCD、MP3／WMAを聞いてみてください。問題なければ、CD、MP3／WMAのディスク自体に問題のある可能性があります。
		ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。 ⇨ ディスクのクリーニングをしてみてください。また、キズの付いているディスクは使用しないでください。
		ディスクにラベルが貼ってある。 ⇨ ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。
		CD-R／RWの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右される。 ⇨ 一番遅い速度での書き込みをお試しください。
		結露している。 ⇨ ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。
	ディスクが入らない	すでにディスクが入っていて２枚目を入れようとしている。 ⇨ 入っているディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。
	CD-RやCD-RWを再生できない	ディスクがファイナライズされていない。 ⇨ ディスクをファイナライズしてください。
	ディスクを取り出したときディスクが熱い	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。 ⇨ 長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスク自体が熱くなることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はありません。気をつけて取り出してください。
	MP3／WMAファイルが再生できない	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。 ⇨ CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。
		MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 ⇨ 正しい拡張子が付いたディスクに交換してください。
		ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 ⇨ ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
		対応していないビットレートで記録されている。 ⇨ 対応しているビットレートで記録してください。→N-40ページ

	症　状	考えられる原因と処置
CD	**MP3／WMAファイルの再生が始まるまでに時間がかかるまたは止まる**	ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇨ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする	ファイルの形式と拡張子が合っていない。 ⇨ ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。
	聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。 ⇨ 正しい拡張子が付いたディスクに交換してください。
	フォルダ名やファイル名が正しく表示されない	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。 ⇨ ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	MP3／WMAファイルの再生順序が記録した順と異なる	ディスク書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。 ⇨ ライティングソフトウェアの説明書をご確認ください。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	**SD 、 WALKMAN®／USB がタッチできない**	SDカード未挿入またはWALKMAN®／USBメモリー未接続である。 ⇨ SDカードを挿入またはWALKMAN®／USBメモリーを接続してください。 →A-15、I-18ページ
	MP3／WMA／AACファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。→N-40ページ
		AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを再生しようとした。 ⇨ AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。
		● 著作権保護された音楽データで記録されている。 ● SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。 ⇨ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。
	再生が始まるまでに時間がかかる	SDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。 ⇨ ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや不要なフォルダは書き込まないようにしてください。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする	ファイルの形式と拡張子が合っていない。 ⇨ ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。
	WALKMAN®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送を行っている。 （ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードの 全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ジャンル ／ グループ ／ プレイリスト をタッチできません） ⇨ ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生できます。 ⇨ x-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送できます。x-アプリまたはSonicStageを使用して転送した曲は、選曲モードの 全曲 ／ アルバム ／ アーティスト ／ ジャンル ／ グループ ／ プレイリスト から選曲することで再生できます。
	WALKMAN®／USBメモリーを認識していない	WALKMAN®／USBメモリーが本機に対応していない。 ⇨ 別のWALKMAN®／USBメモリーで試してください。 ⇨ 本機に対応しているWALKMAN®／USBメモリーか確認してください。 →N-33ページ
		USB接続ケーブルが正しく接続されていない。 ⇨ 正しく接続してください。→I-18ページ
	再生できない	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。 ⇨ SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れてください。→N-43ページ
		本機で再生できないSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを使用している。 ⇨ 再生可能なSDカードまたはWALKMAN®／USBメモリーを使用してください。 →N-31、N-33ページ ⇨ 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 →N-40ページ
		結露している。 ⇨ SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。
	SDカードを初期化できない	SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ⇨ 「LOCK」を解除してください。

	症　状	考えられる原因と処置
SD／WALKMAN®／USB	ジャケット写真が表示できない	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。 ⇨ iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 ⇨ アプリケーションが自動で取得したジャケット写真(アートワーク)は音楽ファイルに自動で付加されない場合があります。そのような場合は、手動でジャケット写真を登録してください。
		登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。 ⇨ JPEGファイルを使用してください。
		登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇨ ジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
		1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。 ⇨ 1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。
	ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さい。 ⇨ 176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズをおすすめします。
	MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される	Macで作成したファイルをSDカード／USBメモリーで再生している。 ⇨ 使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。(Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます)
	音楽ファイル再生中に音飛びが発生する	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。 ⇨ 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
	ファイル再生が記録したい順と異なる	SDカードまたはWALKMAN®／USBメモリー書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。 ⇨ 書き込む際、パソコン上で期待する順に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
iPod	**正常に動作しない**	正しく接続していない。 ⇨ 本機とiPodの接続を確認してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。→I-14ページ
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。 ⇨ 本機で対応しているバージョンにしてください。→N-35ページ
		突然、iPodと通信ができなくなった。 ⇨ iPodを再起動してください。
	ビデオ再生ができない	iPodがビデオ再生に対応していない。 ⇨ Lightningケーブルで接続するiPodは、本機ではビデオ再生できません。
		iPodのソフトウェアバージョンが古い。 ⇨ 本機で対応しているバージョンにしてください。→N-35ページ
		別売のiPod用接続ケーブルで接続されていない。 ⇨ ビデオ再生するには、別売のiPod用接続ケーブルで接続してください。→I-14ページ
	iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される	iPodビデオ認証中に車のキースイッチを変更した。 ⇨ AVをOFFにし、iPodを接続しなおして再度AVをONにしてください。
	再生できないビデオがある	アーティスト名、アルバム名などのタイトル情報を登録していない。 ⇨ ビデオを再生するにはタイトル情報を登録してください。
	車のキースイッチを「OFF」にするとiPod抜き忘れを知らせる音声が流れる	iPod用接続ケーブルにiPodを接続したままキースイッチを「OFF」にした。 ⇨ 故障ではありません。音声は設定によりやめることができます。→F-5ページ

	症　状	考えられる原因と処置
FM／AM	**ラジオの自動選局ができない**	強い電波の放送局がない。 ⇨ 手動で選局してください。→I-7ページ
	ラジオの入りが悪い	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。 ⇨ 車両側の電装品の動作を止めてください。電装品が動くとノイズが入る場合があります。
		本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。 ⇨ 妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。

	症　状	考えられる原因と処置
Bluetooth® Audio	**Bluetooth® Audio対応機器が接続できない**	本機との接続情報が消えている。 ⇨ 登録・接続設定しなおしてください。→F-13、F-14ページ
		● Bluetooth® Audio対応機器の設定が、Bluetooth®接続待ちの状態になっていない。 ● 本機から接続を受け付けない。 ● 特定の状態（例：携帯電話での音楽プレイヤーの起動中）でしか接続できない。 ⇨ Bluetooth® Audio対応機器の説明書をご確認ください。
	音楽が流れない	Bluetooth® Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。 ⇨ Bluetooth® Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、登録・接続設定しなおしてください。→F-13、F-14ページ ⇨ Bluetooth® Audio対応機器によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。
	Bluetooth® Audio対応機器の操作を本機からできない	Bluetooth®のリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。 ⇨ Bluetooth® Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、登録・接続設定しなおしてください。→F-13、F-14ページ ⇨ Bluetooth® Audio対応機器によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。
	● **音が飛ぶ** ● **操作がおくれる** ● **再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる**	Bluetooth® Audio対応機器が本機から離れすぎている。 ⇨ Bluetooth® Audio対応機器を本機に近づけてください。
		ハンズフリー、データ通信などを行っている。 ⇨ 故障ではありません。通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。
	リストが操作できない	接続機器がリスト表示機能に対応していない。 ⇨ AVRCP1.4 に対応した機器を使用してください。 ※ Bluetooth® Audio対応機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。

	症　状	考えられる原因と処置
TV	**文字スーパーが出ない**	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で **しない** にしている。 ● 受信モードがワンセグである。 ⇨ 文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。→J-7ページ
	字幕が出ない	字幕のある番組を選局していない。 ⇨ 字幕のある番組を選局してください。
		字幕表示の設定がされていない。 ⇨ 字幕表示を設定してください。→J-7ページ
	受信できない	エリアを変更していない。 ⇨ 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。→J-5ページ
	映像が止まったりモザイクがかかったりする	電波が弱い場所で受信している。 ⇨ 12セグ／ワンセグを自動切り替えする設定にしておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。 ※自動切替に設定しても、放送局によってワンセグ放送を行っていない場合があるため、映像が映らない場合があります。→J-5ページ
	データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる	データ取得中である。 ⇨ 多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。
	本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合がある。 ⇨ 消失したデータについては補償できません。

その他

	症　状	考えられる原因と処置
ハンズフリー	**ビルの谷間などで音声が乱れる**	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
	AVの音声にブーンというノイズが入る	携帯電話からの電波が混入した。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。

	症　状	考えられる原因と処置
ハンズフリー	**発信できない**	電波が届きにくい場所にいる。 ⇨ 妨害電波を受けない場所に移動してください。
		“通話中の着信拒否” **する** に設定され、もう一方の端末が通話中である。 ⇨ “通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。→L-6ページ ⇨ もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。
	着信音／相手の声が聞こえない	音量が最小になっている。 ⇨ 着信音量、受話音量を調整してください。→L-6ページ
		携帯電話が本機より離れすぎている。 ⇨ 携帯電話を本機に近づけてください。 ⇨ 携帯電話の電波状態を確認してください。
	通話後、AVの音声が聞こえない	音を消している。（[☆]（OPT）を **消音** に設定している場合） ⇨ [☆]を押して消音を解除してください。→F-10ページ
		ハンズフリー通話時に**Bluetooth**® Audioの再生が止まる場合がある。 ⇨ 通話終了後、**Bluetooth**® Audioを再度、再生させてください。→I-19ページ
	着信時に応答できない	携帯電話側が応答保留（着信保留）に対応していない。 ⇨ 携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
		“通話中の着信拒否” **する** に設定し、もう一方の端末が通話中である。 ⇨ “通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。→L-6ページ
	携帯電話と接続できない	**Bluetooth**®で携帯電話と通信できない状態になっている。 ⇨ 携帯電話の電源を入れなおすか、車のキースイッチを「OFF」→「ON」にしてください。
		Bluetooth®対応の携帯電話を使用していない。 ⇨ **Bluetooth**®対応の携帯電話を使用してください。
		Bluetooth® Audio対応機器を接続している。 ⇨ 登録している**Bluetooth**® Audio対応機器を削除してください。（機器によっては、通信量が増加するため他の**Bluetooth**®機能を制限してしまう場合があります）
		他の**Bluetooth**®機能が動作中になっている。 ⇨ 他の**Bluetooth**®機器の動作が終わってから接続をしてください。
		“通話中の着信拒否” **する** に設定し、もう一方の端末が通話中である。 ⇨ “通話中の着信拒否” **しない** に設定してください。→L-6ページ ⇨ もう一方の端末の通話が終わってから発信してください。
		携帯電話によっては、“NaviCon”に接続設定していると**Bluetooth**®接続できない場合がある。 ⇨ “NaviCon”の接続設定を解除してください。→F-12ページ

こんなメッセージが表示されたら

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
け	**現在、放送されていません。〔E203〕**	放送休止中である。（PAT／PMTが取得できず） ⇨ 視聴できるチャンネルを選んでください。→J-2ページ
こ	**この受信機ではデータを表示できません。〔E401〕**	データ放送のBMLエンジンが、取得したBMLドキュメントのバージョンをサポートしていない。 ⇨ 視聴できるチャンネルを選んでください。→J-2ページ
し	**受信局が変化しました。情報を受信中です。（FM多重）**	FM多重のVICS情報（文字表示／簡易図形表示）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。 ⇨ 表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。放送エリア内、または電波の良いところへ移動してください。
	使用できないSDカードが挿入されています	対応していないSDカードが挿入されている。 ⇨ 本機で再生できるSDカードで試してください。
		SDカードを正しくフォーマットしていない。 ⇨ 本機でSDカードの初期化を行ってください。→N-43ページ
		本機がSDカードを正しく認識できない。 ⇨ SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。
	情報の受信中です。（FM多重）	表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い） ⇨ 受信できるまでしばらくお待ちください。
	情報を受信していません。（FM多重）	受信エリア外にいる。 ⇨ 受信エリア外では、受信できません。受信エリア内に移動してください。
		受信エリア内にいるが、電波状況が悪く、受信できない。 ⇨ 場所を移動してみてください。
		放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。 ⇨ サーチが完了して周波数が表示された後、 文字情報 ／ 図形情報 をタッチしてください。
		VICS放送局でない放送局（周波数）を受信している。 ⇨ 全てのFM多重放送局がVICS情報を放送しているわけではありません。VICS情報を放送している放送局を受信してください。 →E-4ページ
	信号が受信できません。中継局を探しますか？〔E202〕	放送エリア外にいる。 ⇨ 放送エリア外では受信できません。放送エリア内に移動してください。
		地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。 ⇨ 受信できる場所に移動してください。
		アンテナが故障している。 ⇨ 停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。（レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます）→J-8ページ

	メッセージ表示	考えられる原因と処置
し	**信号が受信できません。中継局を探しますか？〔E202〕**	車の走行速度が速い。 ⇨ 法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。
		パソコンや携帯電話などを使用している。 ⇨ 車内で使用している電子機器、無線利用の機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。
		放送エリア内にいるが、受信できない。 ⇨ 本機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。（一般社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）で公表されている放送エリアの目安は固定受信機を想定しています）
た	**対応していない機器が接続されています**	対応していないWALKMAN®／USBメモリーが接続されている。 ⇨ 本機に対応したWALKMAN®／USBメモリーで試してください。
て	**データが受信できません。〔E400〕**	データ放送のBMLドキュメントが取得できない。 ⇨ 視聴できるチャンネルを選んでください。→J-2ページ
	データの表示に失敗しました。〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこった。 ⇨ 操作をやりなおしてください。→J-3ページ
と	**登録できませんでした。**	他の**Bluetooth®**機器からの登録が行われている。 ⇨ ハンズフリーの登録を行う際には、誤登録を防ぐために周囲の他の**Bluetooth®**機器の電源はお切りください。
ひ	**ビデオモードに対応していません**	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。 ⇨ iPodがビデオモードに対応していないのでビデオ再生はできません。
ほ	**放送チャンネルではないため、視聴できません。〔E200〕**	非放送サービスを受信した。 ⇨ 視聴できるチャンネルを選んでください。
る	**ルート探索ができません。**	極端に長い距離のルートを探索した。 ⇨ 目的地を近くに設定しなおし、再度ルート探索してください。

N
必要なとき

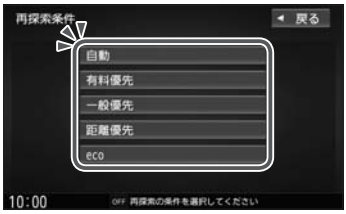
再探索する……N-2
自車位置を修正する……N-3
GPS情報を見る……N-4
システム情報／バージョン情報を見る……N-4
接続状態を確認する……N-5
映像の調整のしかた……N-6
画質を調整する……N-6
映像の表示サイズを変更する……N-7
GPS衛星の電波受信と測位……N-8
GPS(Global Positioning System)について……N-8
受信しにくい場所について……N-8
受信するまでの時間について……N-8
自律航法とマップマッチング……N-9
現在地の誤差について……N-9
自律航法とマップマッチングについて……N-9
センサー学習について……N-9
ルート案内について……N-10
ルート案内中の音声案内例……N-11
ルート探索について……N-12
VICSについて……N-14
地図ソフトについて……N-17
市街地図の収録エリア……N-21
表示できる施設……N-27
テレビ／ラジオについて……N-29
ディスク／SDカードについて……N-30
再生できるディスク……N-30
ディスクの取り扱いについて……N-31
SDカードについて……N-31
SDカードの取り扱いについて……N-32
WALKMAN® ／USBメモリーについて……N-33
WALKMAN®の音楽ファイルについて……N-33
対応可能なWALKMAN®……N-34
対応可能なUSBメモリー……N-34
iPodについて……N-35
対応可能なiPod……N-35
Bluetooth®について……N-36
ハンズフリーについて……N-36
Bluetooth® Audioについて……N-38
ステアリングオーディオリモコンスイッチについて……N-39
音楽ファイルについて……N-40
さまざまな情報・データを初期化する……N-43
仕様……N-44
初期設定一覧……N-45
ナビゲーション……N-45
AV……N-47
別売品(システムアップ)について……N-48
商標など……N-49
保証とアフターサービス……N-51
さくいん……N-52

再探索する

“自動再探索” しない に設定しているとき、ルート案内時に設定ルートから外れてしまったら、手動で現在地から目的地までのルートを再探索できます。
再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。
※あらかじめQuick MENUに 再探索 を設定しておく必要があります。→B-14ページ

1 **現在地画面で、 Quick ➡ 再探索 をタッチする。**

2 **探索条件を選んでタッチする。**



お知らせ

- 経由地を設定している場合、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過した経由地は除く）
  また、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地（現在地）が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

自車位置を修正する

自車マークの位置や角度が実際とずれた場合、見晴らしの良い場所を一定速度でしばらく走行すると自動的に修正されますが、お客さまで修正することもできます。

1 情報・設定メニューから ナビ設定 ➡ 表示 ➡ “自車位置” 修正する をタッチする。

2 地図をスクロールして
実際の現在地にカーソル(−┼−)を合わせ、
セット をタッチする。

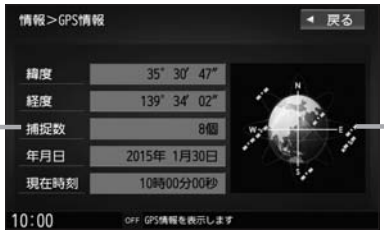
※必要に応じて 微調整 をタッチして位置を合わせてください。

3 矢印をタッチして実際の角度に自車マークを合わせ、 セット をタッチする。

：自車マークの位置と角度が修正されます。

GPS情報を見る

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ GPS情報 をタッチする。



受信中のGPS衛星の数

GPS衛星マーク
受信中のGPS衛星の
おおよその位置を示します。

お知らせ

- 受信中のGPS衛星の数には、測位に使用できないものも含まれています。
  測位に使用できるGPS衛星の数が3個以上ない場合は、緯度と経度は表示されません。
- 現在時刻は、GPS衛星の電波を受信していても、1秒程度の誤差はあります。
  電波を受信していないときは、誤差はより大きくなります。

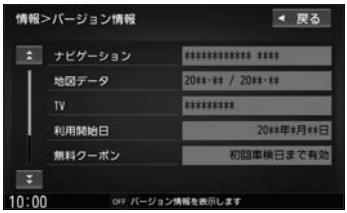
システム情報／バージョン情報を見る

ナビIDや地図データのバージョンなどを見ることができます。

1 情報・設定メニューから 情報 ➡ システム情報 ／ バージョン情報 をタッチする。

システム情報画面

バージョン情報画面



接続状態を確認する

本機が車側に正しく接続されていない場合、本機の機能が正常に働きません。
接続確認画面で接続の確認ができます。

1 情報・設定メニューから システム設定 ➡ その他設定 ➡ 接続確認 をタッチする。

2 接続を確認する。

：ONのときは“ON”が赤色表示、OFFのときは“OFF”が青色表示になります。

パーキングブレーキ	正しく接続されていれば、車のパーキングブレーキをかけると“ON”が赤色表示
車速	正しく接続されていれば、停車中は“OFF”が青色表示、走行させると“ON”が赤色表示 ※走行速度によっては、“ON”が赤色表示になるまで時間がかかったり、“ON”／“OFF”が交互に色表示されるときがありますが、この場合でも正しく接続されています。 ※車を動かす際、広い場所(駐車場など)で、安全確認をしてから行ってください。
リバース	正しく接続されていれば、車のシフトレバーをリバースに入れると“ON”が赤色表示 ※リヤビューカメラを接続し、リヤビューカメラを選んでいるとき、リヤビューカメラ画面を表示します。

映像の調整のしかた

各オーディオ画面や別売のカメラ映像などで個別に調整することができます。
※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。走行中は調整できる項目が限られます。

画質を調整する

1 調整したい映像を表示させて 現在地 を長押しする。

2 **画質調整** ➡調整したい項目を選んでタッチする。

※調整する画面によっては、 **画質調整** のタッチは不要です。
※調整する画面によっては、調整項目が **明るさ** ／ **コントラスト** のみになります。

3 ◀／▶をタッチして値を調整する。

お知らせ

調整はタッチパネルの◀または▶をタッチし続けても調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

明るさ	◀をタッチすると暗くなり、▶をタッチすると明るくなる。 **お知らせ** 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさを記憶しています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ調整してください。
コントラスト	◀をタッチすると黒さが増し、▶をタッチすると白さが増す。
色の濃さ	◀をタッチすると淡くなり、▶をタッチすると濃くなる。
色合い	◀をタッチすると赤が強くなり、▶をタッチすると緑が強くなる。

映像の表示サイズを変更する

1 現在地 を長押しする。

2 表示サイズを選んでタッチする。

ノーマル	映像を4：3で表示 ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。 ※両端は黒い帯で表示されます。
フル	16：9の映像を最適に表示 ※4：3の映像は画面全体が引きのばされて表示されます。
ワイド	左右の端部が横方向に向けて引きのばされて表示
シネマ	ノーマル表示が上下左右方向に引きのばされて表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

お知らせ

TVソースの場合はフル固定ですので、画面サイズは選べません。

GPS衛星の電波受信と測位

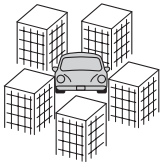
GPS(Global Positioning System)について

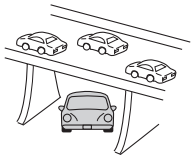
地球の廻り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。
※本機では高度は表示しません。

受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。
GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
受信に適した場所は、屋外の電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は以下のようなところです。

- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など





※同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため

受信するまでの時間について

初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります。現在地を表示するまでは移動しないでください。通常は電源を入れてから数分で表示します。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、方位キーの背景色が黄色になり、測位した現在地を表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法とマップマッチングについて

自律航法とは、本機に内蔵のジャイロセンサーなどで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出す方法です。
マップマッチングとは、測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの道路上に表示させる機能です。
自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのズレを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

センサー学習について

本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーや車速パルスなどで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
取り付けてしばらくの間は「センサー学習」が十分ではありませんので、実際の現在地からずれてしまう場合があります。

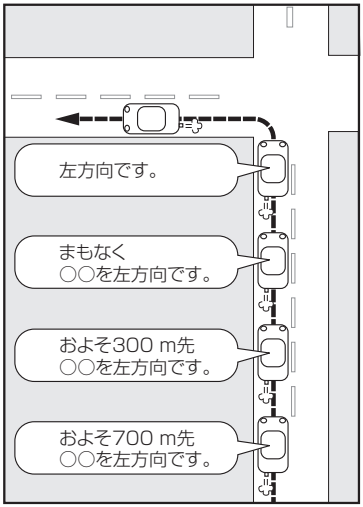
ルート案内について

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 道路は日々変化しているため、地図ソフト作成時期により、交通規制やルートなどの案内が実際の道路と合致しない場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった案内内容になったり、音声案内しない場合があります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。その先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

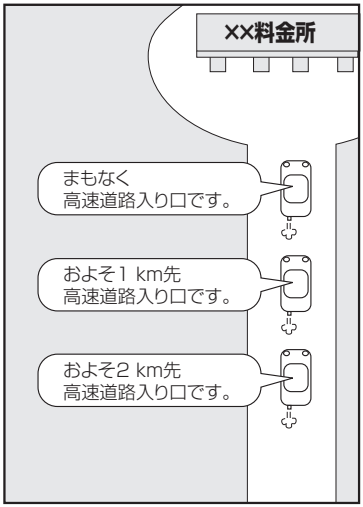
ルート案内中の音声案内例

目的地までのルート案内時に、右左折する交差点などに近づくと自動的に音声で案内が流れます。

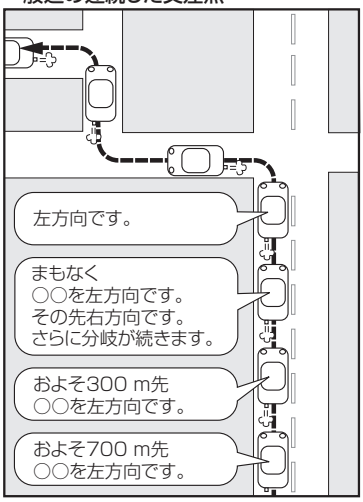
一般道の交差点



高速道路入口

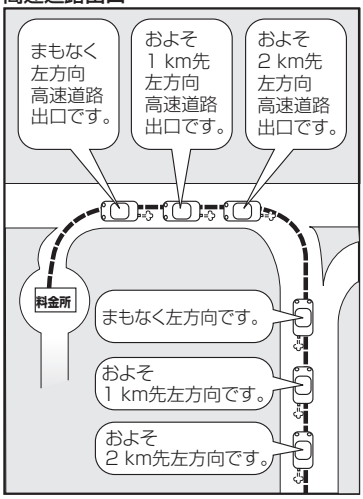


一般道の連続した交差点



交差点名がある場合は、交差点名を音声案内します。

高速道路出口

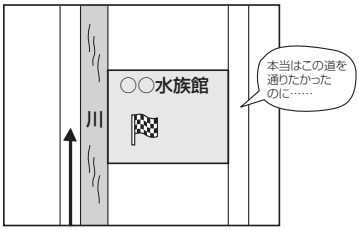


お知らせ

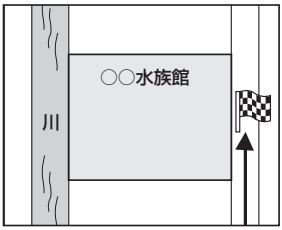
- 音声案内の音量を調整するには →F-9ページ
- 音声案内を再度聞きたいときは 現在地 をタッチしてください。
  ※タイミングによっては、直前の音声案内ではなく次の分岐点の案内になる場合があります。

ルート探索について

- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルートを削除したときにルートは消えます。
- 再探索したとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- 距離優先 に設定してルート探索した場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。また、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 一般優先 に設定してルート探索した場合、有料道路を通るルートを表示する場合があります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや 探索条件 で“フェリーを優先” する に設定していなくても、フェリー航路でのルートを表示する場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などを確認のうえ、利用してください。
- 道路が近接している場所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路が案内ルートの起点／中継点／終点になります。そのため以下の例のようなケースに注意して目的地を設定してください。
  （例）名称から「○○水族館」の地図を表示し、目的地を設定した場合（駐車場がない場合、または駐車場情報を選ばなかった場合）



目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

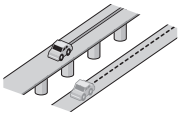


詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

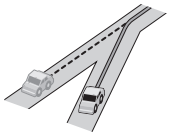
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
  - ・交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合
  - ・極度に迂回したルートしかない場合
  - ・現在地と目的地が遠すぎる場合
    ※目的地を複数回に分けて探索してください。
  - ・その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

● **自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。**

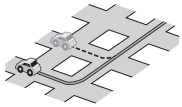
・高速道路と一般道路が近くにある。



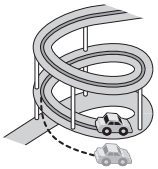
・角度の小さなY字路を走行している。



・碁盤目状の道路を走行している。



・らせん状の道路などを走行している。



・地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき。
・車のキースイッチを「OFF」にしてターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき。
・旋回、切り返しを繰り返したとき。
・S字の連続する道路を走行しているとき。
・直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき。

お知らせ

エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

● **経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。**
・どれか1区間でもルートが探索できなかったときは、ルート探索ができません。
・経由地付近でルートがつながらないことがあります。
・経由地付近でUターンするルートを表示されることがあります。
となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。

● **ルート探索する前に、自車マークの位置／角度が正しいか確認してください。**

● **走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。**

● **以下のようなルートを表示することがあります。**
・ルート探索しても、自車マークの前または後からルートを表示することがあります。
・目的地を設定しても、目的地の前または後にルートを表示することがあります。
・ルート探索しても、現在地と異なる道路からのルートを表示することがあります。
この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
・登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
・細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

VICSについて

※VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの販売会社へお問い合わせください。
※VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）

VICSセンター

電話番号	0570-00-8831 ※PHS、IP電話等からはご利用できません。 ※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。 ※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。
電話受付時間	平日9：30～17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
FAX番号	(03)3562-1719
FAX受付時間	24時間
URL	http://www.vics.or.jp/

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位（以下、VICSリンクと称します）を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
　文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
　簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
　車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重　要　!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使　用　規　定

1．(株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。

2．(株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し､本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。

3．お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

（1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。

（2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4．お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

（1）本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。

（2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は､(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

（3）本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5．お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

（1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

（2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む｡)の全部または一部を使用させること。

（3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

（4）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。

（5）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

⚠ 警告

指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26情使、第244-B54号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25情使、第798-004号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2014年11月のものを使用しています。

- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2014年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2014年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D交差点……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2014年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2014年11月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。（予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）
  なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2015年7月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)
電話番号：0570-00-8831
電話受付時間：9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2014年12月(高速・有料道路)／2014年10月(国道・都道府県道)
■交通規制※1：2014年11月　■住所検索　：2014年11月　■電話番号検索：2014年11月
■郵便番号検索　：2014年11月　■ジャンル検索：2014年10月
■高速・有料道路料金※2：2014年12月　■市街地図　：2014年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2015年7月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2015年7月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2015 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先
株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 9:30～17:30　月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図の収録エリア

2014年7月現在

北海道	**＜ほぼ全域を収録＞** 札幌市、室蘭市、江別市、北広島市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	**＜ほぼ全域を収録＞** 三沢市、田舎館村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町
岩手県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、平泉町
宮城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 多賀城市、仙台市、塩竈市、名取市、岩沼市、大河原町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、美里町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、山元町、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福島市、鏡石町、西郷村、矢吹町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	**＜ほぼ全域を収録＞** 水戸市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、結城市、龍ケ崎市、下妻市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、那珂市、筑西市、坂東市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 日立市、古河市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、阿見町、常陸大宮市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	**＜ほぼ全域を収録＞** 小山市、上三川町、壬生町、野木町、さくら市、下野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、益子町、市貝町、芳賀町、那須町、那須塩原市、那須烏山市、茂木町

群馬県	**＜ほぼ全域を収録＞** 前橋市、伊勢崎市、太田市、榛東村、甘楽町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、館林市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高崎市、桐生市、吉岡町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
千葉県	**＜ほぼ全域を収録＞** 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	**＜ほぼ全域を収録＞** 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 檜原村、奥多摩町
神奈川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 山北町
新潟県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新潟市、燕市、聖籠町、見附市、田上町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、村上市、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 滑川市、砺波市、小矢部市、射水市、舟橋村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 内灘町、能美市、野々市市、川北町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町

福井県	**＜ほぼ全域を収録＞** 鯖江市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福井市、坂井市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	**＜ほぼ全域を収録＞** 富士吉田市、都留市、大月市、南アルプス市、昭和町、中央市、西桂町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 甲府市、山梨市、韮崎市、北杜市、甲斐市、笛吹市、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、身延町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岡谷市、諏訪市、飯山市、千曲市、下諏訪町、坂城町、小布施町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松本市、長野市、上田市、飯田市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、軽井沢町、御代田町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岐阜市、多治見市、岐南町、関ケ原町、神戸町、瑞浪市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、北方町、輪之内町、安八町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、下呂市、恵那市、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	**＜ほぼ全域を収録＞** 浜松市＊、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、東伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町、御前崎市、吉田町、菊川市、牧之原市 ＊印…浜松市北区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 沼津市、島田市、伊豆市、河津町、西伊豆町、小山町、森町、伊豆の国市
愛知県	**＜ほぼ全域を収録＞** 名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 豊田市、新城市
三重県	**＜ほぼ全域を収録＞** 津市、東員町、四日市市、伊勢市、鈴鹿市、名張市、鳥羽市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、朝日町、川越町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松阪市、いなべ市、菰野町、桑名市、尾鷲市、亀山市、熊野市、木曽岬町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	**＜ほぼ全域を収録＞** 草津市、守山市、栗東市、湖南市、日野町、竜王町、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 近江八幡市、大津市、彦根市、長浜市、野洲市、甲賀市、米原市、高島市、多賀町

京都府	**＜ほぼ全域を収録＞** 城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、宇治市、亀岡市、長岡京市、南山城村、大山崎町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、宇治田原町、笠置町、和束町、京丹後市、南丹市、伊根町、与謝野町
大阪府	**＜ほぼ全域を収録＞** 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 忠岡町
兵庫県	**＜ほぼ全域を収録＞** 尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、太子町、神戸市、洲本市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、たつの市、加東市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 福崎町、上郡町、姫路市、豊岡市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、多可町、香美町、新温泉町、市川町、神河町
奈良県	**＜ほぼ全域を収録＞** 橿原市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、三宅町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 奈良市、桜井市、宇陀市、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村
和歌山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 和歌山市、海南市、岩出市、橋本市、有田市、御坊市、紀の川市、太地町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** かつらぎ町、湯浅町、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、串本町
鳥取県	**＜ほぼ全域を収録＞** 米子市、倉吉市、境港市、三朝町、日吉津村 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 鳥取市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市
岡山県	**＜ほぼ全域を収録＞** 岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、笠岡市、井原市、総社市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、美咲町、浅口市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 津山市、高梁市、新見市、真庭市
広島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 福山市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、大竹市、廿日市市、海田町、熊野町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 呉市、尾道市、府中市、三原市、三次市、庄原市、東広島市、安芸高田市
山口県	**＜ほぼ全域を収録＞** 宇部市、防府市、下松市、山陽小野田市、周南市、和木町、平生町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 下関市、山口市、萩市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周防大島町、田布施町

徳島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 徳島市、鳴門市、小松島市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
香川県	**＜ほぼ全域を収録＞** 坂出市、善通寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、宇多津町、琴平町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高松市、丸亀市、観音寺市、綾川町、まんのう町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	**＜ほぼ全域を収録＞** 新居浜市、松前町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、砥部町、伊方町、 久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、 香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	**＜ほぼ全域を収録＞** 糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、志免町、粕屋町、水巻町、 直方市、田川市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、 那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、大刀洗町、苅田町、 吉富町、福津市、宮若市、鞍手町、大木町、みやま市、小竹町、糸田町、大任町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宗像市、飯塚市、柳川市、八女市、うきは市、嘉麻市、朝倉市、築上町、桂川町、筑前町、広川町、 香春町、添田町、川崎町、赤村、福智町、みやこ町
佐賀県	**＜ほぼ全域を収録＞** 鳥栖市、基山町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、 上峰町、みやき町
長崎県	**＜ほぼ全域を収録＞** 時津町、島原市、諫早市、平戸市、波佐見町、壱岐市、雲仙市、長与町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 佐世保市、長崎市、大村市、松浦市、五島市、対馬市、西海市、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	**＜ほぼ全域を収録＞** 熊本市 *、荒尾市、水俣市、宇土市、菊陽町、合志市、益城町 ＊印…熊本市南区は市街中心部、または一部地域を収録したエリアになります。 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 玉名市、八代市、人吉市、山鹿市、菊池市、大津町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、 高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町
大分県	**＜ほぼ全域を収録＞** 別府市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、 豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	**＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、 国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町

鹿児島県	**＜ほぼ全域を収録＞** 垂水市 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町
沖縄県	**＜ほぼ全域を収録＞** 那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、うるま市、南城市、八重瀬町 **＜市街中心部、または一部地域のみ収録＞** 読谷村、嘉手納町、石垣市、宮古島市

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場
	映画館

ジャンル	企業名・中分類
観る(続き)	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等
	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店
	インテリア用品店

ジャンル	企業名・中分類
買う(続き)	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング
	温泉

ジャンル	企業名・中分類
生活施設（続き）	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ施設（続き）	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
カーディーラー	三菱
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

テレビ／ラジオについて

- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。
- 放送方式（12セグ／ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- ラジオやテレビの受信は受信環境によって、電波の強さが変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持したりすることが困難な場合もあります。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れて雑音がはいる場合があります。
- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
- トンネルの中や放送局から遠いと電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
- 一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
- ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなったりする場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由して視聴すると正常に受像できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ディスク／SDカードについて

再生できるディスク

CD

ディスクの種類	市販の音楽CD、CD-R、CD-RW
フォーマット	CD-DA、MP3、WMA

・コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）には対応しておりません。
・CD-R／CD-RWは、拡張フォーマットを除いたISO9660 レベル1／レベル2で書き込まれたディスクに対応しています。
・MP3／WMAファイルについては、「音楽データの規格について」もお読みください。→N-40ページ

■8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■次のような場合は再生できないことがあります。

・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
・データ書き込みに失敗し再度録音した場合
・記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
・無許諾のディスク（海賊版のディスク）

■下記のディスクには対応していません。（再生できても正常に再生されないことがあります）

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- SVCD
- コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）

■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズが付いたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについて

● ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。

● 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

内側から外側へ拭く

● レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

● そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。

● 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SDカードについて

● **本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。**

● **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**

● **本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。**

使用できるSDカードの種類（下記以外のSDカードは使用できません）	
・SDカード（2 GB以下、256 MB以上を推奨） ・SDHCカード（4 GB～32 GB）（Class2～10）	※SDロゴ、SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。 ※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

● SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。

● miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。

● **SDカードの初期化は本機で行ってください。**

● SDカードで音楽再生中／初期化中にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。AVをOFFにしてから、SDカードを取り出してください。

● SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。

● SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。

● SDカードが不良の場合、正常に動作しません。

● ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など）でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

WALKMAN® ／ USBメモリーについて

- 画像再生、動画再生はできません。
- WALKMAN®／USBメモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- WALKMAN®／USBメモリーは再生中に本機から外さないでください。
- WALKMAN®／USBメモリーは市販のUSBハブまたはUSB延長ケーブルを介して接続しないでください。
- 下記のWALKMAN®／USBメモリーには対応していません。
  ・パーティションが複数あるもの
  ・電流が500 mA を超えるもの
  ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
  ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
- 全てのWALKMAN®、USBメモリーの動作を保証するものではありません。

お知らせ

- 本機にWALKMAN®を接続すると、本機起動中はWALKMAN®へ充電を行います。
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0のものを接続した場合、USB2.0で動作します。

WALKMAN®の音楽ファイルについて

- **x-アプリ、SonicStageを使用して転送したMP3／WMA／AAC／ATRACファイルが再生可能です。**
  ※上記4種以外のファイル形式(ATRAC Advanced Lossless、WAV(PCM)、FLACなど)には対応していません。
  ※ハイレゾ音源には対応していません。
- **以下の方法で転送された音楽ファイルは選曲モードで 全曲 または フォルダ を選ぶ方法でのみ再生できます。**
  ・ドラッグ＆ドロップ転送した音楽ファイル
  ・Content Transfarで転送した音楽ファイル
  ・Media Goで転送した音楽ファイル

お知らせ

- WALKMAN®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- WALKMAN®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- 表示可能文字数は全角32文字／半角64文字となります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(WALKMAN®が対応している階層とは異なります)
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。
- microSDカードに転送したファイルの再生には対応していません。
- microSDカード対応のWALKMAN®を本機に接続する場合、WALKMAN®の「保存するメモリー」を「本体メモリー」に設定してください。
  ※機種により表現が異なる場合があります。詳しくはWALKMAN®の説明書をご確認ください。

対応可能なWALKMAN®

2015年1月現在　調査結果

モデル名	ミュージック(音楽)
NW-E305/E307	○
NW-E405/E407	○
NW-E505/E507	○
NW-E002/E003/E005	○
NW-E013/E015/E016	○
NW-E023F/E025F/E026F	○
NW-E042/E043/E044	○
NW-E052/E053	○
NW-E052K/E053K	○
NW-E062/E063	○
NW-E062K/E063K	○
NW-E083	○
NW-E083K	○
NW-A605/A607/A608	○
NW-A805/A806/A808	○
NW-A916/A918/A919	○
NW-A828/A829	○
NW-A845/A846/A847	○
NW-A855/A856/A857	○
NW-A865/A866/A867	○
NW-A16/A17	○
NW-S203F/S205F	○
NW-S603/S605	○
NW-S703F/S705F/S706F	○
NW-S615F/S616F	○
NW-S636F/S638F/S639F	○
NW-S715F/S716F/S718F	○
NW-S736F/S738F/S739F	○
NW-S644/S645	○
NW-S744/S745/S746	○
NW-S754/S755/S756	○
NW-S764/S765/S766	○
NW-S774/S775	○
NW-S784/S785/S786	○

モデル名	ミュージック(音楽)
NW-S14/S15	○
NW-S636FK/S638FK	○
NW-S736FK/S738FK	○
NW-S644K/S645K	○
NW-S744K/S745K	○
NW-S754K/S755K	○
NW-S764K/S765K	○
NW-S774K/S775K	○
NW-S784K/S785K	○
NW-S14K/S15K	○
NW-S764BT	○
NW-S774BT	○
NW-F805/F806/F807	○
NW-F805K/F806K	○
NW-F805BT	○
NW-F885/F886/F887	○
NW-X1050/X1060	○
NW-Z1050/Z1060/Z1070	○
NW-ZX1	○
NW-M505	×
NW-HD1	×
NW-HD2	×
NW-HD3	×
NW-HD5/HD5H	×
NW-A1000/A1200	×
NW-A3000	×
NW-E103/E105/E107	×
NWD-W202	×
NWD-W253	×
NWD-W263	×
NWD-W273	×
NW-W274S	×
NW-WS615	×
NW-WH303	×

○：可能　×：不可

対応可能なUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- ファイルシステム：FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット：USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

iPodについて

※本書では特にことわりのない限り、iPod、iPhoneを「iPod」と表記しています。

対応可能なiPod

2015年1月現在　調査結果

iPod／iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod用接続ケーブル(別売)で接続		Lightningケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 6	8.1.1	×	×	○	×
iPhone 6 Plus	8.1.1	×	×	○	×
iPhone 5s	8.1.1	×	×	○	×
iPhone 5c	8.1.1	×	×	○	×
iPhone 5	8.1.1	×	×	○	×
iPhone 4S	8.1.1	○	○	×	×
iPhone 4	7.0.6	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.5	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	8.1.1	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.5	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2	○	○	×	×
iPod Video	1.3	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。

お知らせ

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをApple Inc.のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作しない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod／iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod側で操作しないでください。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。

Bluetooth® について

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBluetooth®機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  接続するBluetooth®対応機器はBluetooth SIG. Incの定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth®対応機器がBluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げの販売会社へご相談ください。
  3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売会社へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- Bluetooth®対応機器と本機以外の機器がBluetooth®接続されている場合、本機とBluetooth®接続を行うことはできません。その場合は、Bluetooth®対応機器と本機以外の機器とのBluetooth®接続を切断してください。

ハンズフリーについて

- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。**
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のキースイッチ「ON」直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のWebサイトでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。

- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- AV再生中に発信および着信された場合、再生中のAVは消音状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth® 接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetooth® の接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種は、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。

Bluetooth® Audioについて

- Bluetooth® Audio再生中にBluetooth®接続された携帯電話を操作すると、Bluetooth® Audioの音楽が出なくなることがあります。Bluetooth® Audio再生中は、Bluetooth®接続された携帯電話の操作はお控えください。
- Bluetooth® Audio再生中に着信した場合やBluetooth®接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBluetooth® Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBluetooth® Audio対応機器の仕様によっては、Bluetooth® Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBluetooth® Audio対応機器をご使用になる場合は、Bluetooth® Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- Bluetooth® Audio対応機器によっては、登録後や接続後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- Bluetooth® Audioの仕様により、音楽の音質が低下することがあります。
- 本機でBluetooth® Audio対応機器を充電することはできません。
- Bluetooth® Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- Bluetooth® Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によっては他のBluetooth®操作を行えない場合があります。その場合はBluetooth® Audioの登録を削除してください。
- Bluetooth® Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBluetooth® Audio対応機器を置いてください。本機とBluetooth® Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- Bluetooth® Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- Bluetooth® Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- Bluetooth®対応機器の音楽再生アプリによってはBluetooth® Audioが正しく動作しない場合があります。

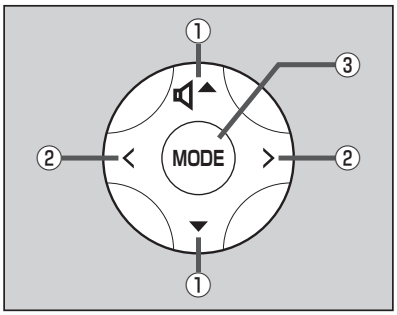
ステアリングオーディオリモコンスイッチについて

お車によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合、運転中にAVの操作が可能です。

※ハンドルやステアリングオーディオリモコンスイッチの形状は車両によって異なります。

※対応車両は三菱自動車販売会社におたずねください。

イラストはイメージ図です。



①音量スイッチ(▲／▼)

▲側に押すと音量が大きくなり、▼側に押すと音量が小さくなります。
押したままにすると連続して音量の増減ができます。

②選曲／選局スイッチ(＜／＞)

- FM／AMを聞いているとき
  ＞側に押すとプリセットされている次の放送局を選局します。
  ＜側に押すとプリセットされている前の放送局を選局します。
  押したままにすると自動選局になり、放送局を受信すると止まります。
- TVを見ているとき
  ＞側に押すとチャンネルリスト上の次の放送局を選局します。
  ＜側に押すとチャンネルリスト上の前の放送局を選局します。
  押したままにすると自動選局になり、放送局を受信すると止まります。
- CD／SD／WALKMAN®／USB／iPodを聞いているとき
  ＞側に押すと次のトラックに進みます。
  ＜側に押すと前のトラックに戻ります。
  ＞側に押したままにすると早送り、＜側に押したままにすると早戻しをします。

③ MODE スイッチ

スイッチを押すたびに、下記のようにソースが切り替わります。

CD → FM → AM → TV → VTR → AUX → SD → **Bluetooth®** Audio ← WALKMAN®／USB／iPod ←

お知らせ

- オーディオ画面↔地図画面の切り替えは AV ↔ 現在地 を押して切り替えてください。
- AV OFFのときは音量調整、選曲／選局の操作はできません。
  ※ハンズフリー着信中は着信音量を、ハンズフリー発信中は呼び出し音を、通話中は受話音量を、音声案内中は案内音量を音量スイッチで操作可能です。
- 以下の場合はそのソースを飛ばします。
  CDディスク未挿入、iPod未接続、SDカード未挿入、**Bluetooth®** Audio未接続設定、USB未接続、AUX未接続、VTRの接続設定を しない に設定

音楽ファイルについて

● 音楽データの規格について

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R／-RW、 SD、USB	CD-R／-RW、 SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名／ ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD　　：512(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む) SD、USB：10,000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD　　：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	CD　　：トラック名／アーティスト名／アルバム名 SD、USB：トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1： 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3： CD： 全角30/半角60文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	CD： 全角30/半角30文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	全角32/半角64文字
フォーマット、バージョン	MPEG1 Layer3 MPEG2 Layer3	Version7/9	
サンプリング周波数(kHz)	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/ 24 kHz/32 kHz/ 44.1 kHz/48 kHz
ビットレート(kbps)	8 kbps～320 kbps、 VBR	48 kbps～320 kbps、 VBR	8 kbps～320 kbps
ジャケット写真	CD　　：非対応 SD、USB：対応		

※m3u／MP3i フォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応です。
※WMA Professional／WMA Lossless、WMA Voiceは非対応です。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先

● **音楽ファイルの再生について**

・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

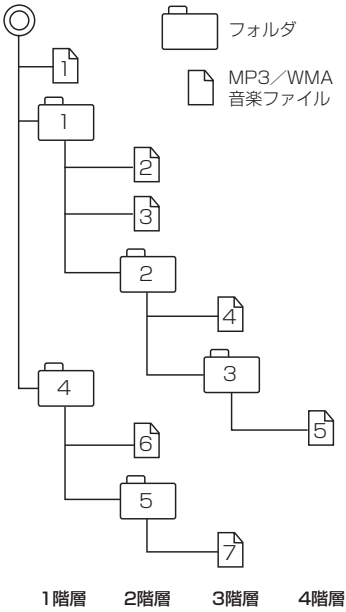
● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

● **ジャケット写真について**

・JPEG形式のみに対応しています。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● **階層と再生順序について**



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
・本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
・ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
・再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
・使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
・通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
・同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
・8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

音楽ファイルについて

- **再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて**
  - ・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
  - ・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
  - ・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
  - ・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
  - ・音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- **MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**
- **マルチセッションについて**
  マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズをしてください。

お知らせ

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません）
- **MP3以外のファイルに“mp3”の拡張子、WMA以外のファイルに“wma”の拡張子、AAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“mp3”／“wma”／“m4a”の拡張子を付けないでください。**
  MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

さまざまな情報・データを初期化する

SDカード内のデータや本機に登録・設定された内容などの情報を初期化します。

1 情報・設定メニューから **システム設定** ➡ **その他設定** ➡ **初期化** をタッチする。

2 初期化したい項目をタッチする。

SDカードの初期化	SDカード内のデータを初期化します。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
登録・履歴の消去	登録地点・目的地履歴・登録ルート・走行軌跡を初期化します。

3 **はい** をタッチする。

：選んだ項目が初期化されます。

※初期化(消去)した項目は、もとに戻せません。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。

⚠注意 **初期化中は他の操作(AVソースを切り替えたり車のキースイッチを変更するなど)をしないでください。**
故障の原因となります。

お知らせ

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客さまが入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜)を学習し、記録しています。(センサー学習)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替え、他人に譲渡または処分などの場合は、センサー学習結果の初期化を行ってください。
- 本機は普段使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先して探索します。従って、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果を初期化し、学習しなおすことをおすすめします。
- **出荷状態に戻す** をタッチしたときはAVがOFFになります。

仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	7 V型
使用光源	LED

ナビゲーション部

受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	−145 dBm
位置更新時間	約0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリーフォーマット

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	000～999 UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ

CD部

S／N比	75 dB以上
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0 MHz～90.0 MHz AM 522 kHz～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(15 kHz L.P.F使用時) AM 50 dB(15 kHz L.P.F使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB(15 kHz L.P.F使用時)
歪率	FM／AM 0.5 %

入出力端子

電源入力端子	TH18専用コネクタ
外部入力端子	TH08専用コネクタ (ケーブル別売)
GPSアンテナ入力端子	GT5専用コネクタ
DTVアンテナ入力端子	GT13S専用コネクタ
ラジオ入力端子	GT13SH専用コネクタ
(VICS入力端子	ラジオ入力端子と共用)
iPod端子	6ピン専用コネクタ
マイク入力端子	TH04専用コネクタ
AUX入力端子	φ3.5ミニジャック
USB／iPod端子	GT17(A)専用コネクタ

その他

供給電源電圧	DC12 V
最大出力	43 W×4(14.4 V)
外形寸法	206×106×163 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	2.4 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。
※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。
※画面サイズのV型(7 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

初期設定一覧

各項目の初期設定は下記のとおりです。

ナビゲーション

画面表示	
メイン画面	進行方向が上 縮尺＝25 m
右画面	3D 縮尺＝100 m

FM VICS	
周波数設定	自動選局＝ ON プリセット選局＝未設定

表示

メイン画面用地図設定
名称の文字サイズ＝ 大
吹き出しを表示＝ する
標高地図を表示＝ する
地図モード＝ 進行方向
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目

右画面用地図設定
右画面に地図表示＝ しない
名称の文字サイズ＝ 大
吹き出しを表示＝ する
標高地図を表示＝ する
地図モード＝ 3D
3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目

地図色設定
昼夜切り替え＝ 時間連動
地図切り替え＝ ノーマル
標高地図色＝ 季節連動

情報バー表示設定
MAPCODEを表示＝ する
地図情報を表示＝ 住所名
AV情報を表示＝ しない

その他設定
緯度・経度を表示＝ しない
冠水注意ポイント表示＝ する
市街地図での冠水注意ポイント表示＝ しない
登録地を表示＝ する
映像中の時計表示＝ する
安全運転メッセージ＝ する
エコ運転機能を表示＝ する
アニメーションを表示＝ する

表示

その他設定
ランドマーク
　カーディーラー＝三菱
　レンタカー＝MMCレンタカー
カーマーク＝矢印(レッド)
自車位置＝未設定

案内

ルートの全表示＝ する
交差点情報の表示＝ する
ETCレーンの表示＝ する
JCTビューの表示＝ する
ルート情報の表示＝ しない
ハイウェイモードの表示＝ する
交差点拡大図の表示＝ する
リアル3D表示＝ する
方面看板の表示＝ する
高速道路での逆走報知＝ する
AV画面中の案内割込み＝ する

探索

探索条件＝ 自動
料金表示＝ 普通車
自動再探索＝ する
フェリーを優先＝ しない
季節規制考慮＝ する
時間規制道路を考慮＝ する
スマートICを利用＝ しない
ルート学習結果を利用＝ する
VICS自動再探索＝ する
VICS情報を考慮＝ する
統計交通情報を考慮＝ する
到着予想
　自動＝ON
　一般道＝ 50 km/h
　国道＝ 65 km/h
　有料道路＝ 80 km/h

渋滞情報		
VICS表示設定	一般道＝ON 規制＝ON 駐車場＝ON 渋滞無し＝OFF	有料道＝ON 点滅＝ON 渋滞混雑＝ON

イージーセットアップ

未設定

ナビデータ編集

登録地編集
　自宅＝未登録
　お気に入り地点＝未登録
　登録地点＝未登録
走行軌跡
　軌跡記録スタート／ストップ＝ストップ
　軌跡表示＝OFF
　軌跡記録データ なし

セキュリティ

セキュリティ設定＝ しない
盗難多発地点　音声案内＝ する
盗難多発地点　表示案内＝ する
市街地図での盗難多発地点表示案内＝ しない
iPod抜き忘れ案内＝ しない

オプションボタン

消音

音声案内

15段階中5段階目
消音＝OFF
詳細設定
合流案内＝ 案内中
踏み切り案内＝ 案内中
専用レーン案内＝ する
高速走行時の音量切替＝ する
VICS案内＝ する
休憩メッセージ案内＝ する
トンネル出口案内＝ する

ユーザーカスタマイズ

ユーザー切替＝ユーザー1
ユーザー名表示＝ する

Language

日本語

車両メンテナンス

エンジンオイル交換＝ しない
オイルフィルタ交換＝ しない
タイヤ交換＝ しない
クリーンフィルタ交換＝ しない
バッテリー交換＝ しない
タイヤローテーション＝ しない
お好み1＝ しない
お好み2＝ しない

キー操作音

キー操作音＝ する

Quick MENU

お気に入り地点	右画面表示
再探索	ランドマーク
渋滞地点	登録・履歴消去
音声案内	地点を登録
走行軌跡	オプション設定

AV

FADE／BALANCE設定
各項目の調整値＝0

イコライザー設定
設定＝ OFF

サラウンド設定
DSP=HALL

車速連動音量
設定＝ MIDDLE

音量調整
音量＝6

外部接続設定
VTR接続＝ する

CD
再生モード＝通常再生

FM／AM
FM周波数＝76.0 MHz AM周波数＝522 kHz 交通情報＝1620 kHz

SD／WALKMAN®／USB
選曲モード＝全曲 再生モード＝通常再生

iPod
モード切替＝ミュージック

Bluetooth® Audio
パスキー＝0000

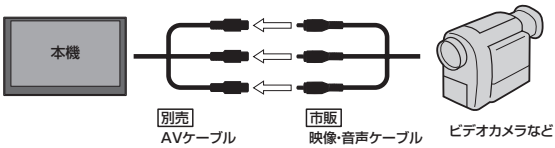
TV〔12セグ／ワンセグ〕
エリア変更＝ 自動 視聴エリア＝東京 チャンネルリスト＝登録済み(東京) プリセットリスト＝未登録 番組表＝3 ch表示 呼出＝エリア 郵便番号設定＝ 0000000 各種設定 　放送自動切替＝ 12セグ優先 　中継・系列局サーチ＝ 自動 　サービス設定＝ テレビ／データ 　チャンネル設定＝ サービスch 　文字スーパー表示＝ 第1言語 　字幕表示＝ しない

ハンズフリー	
パスキー＝1212	接続確認案内＝ する
着信音量＝＋8	通話中の着信拒否＝ する
受話音量＝＋8	自動応答保留＝ しない
送話音量＝＋4	デバイス名＝MM115D

映像調整		
明るさ	ナビ	30(11)
	リヤビューカメラ	30(18)
コントラスト	ナビ、 リヤビューカメラ	16(16)
色の濃さ	ナビ、 リヤビューカメラ	16(16)
色合い	ナビ、 リヤビューカメラ	16(16)
映像の表示サイズ	フル	

※(　)内はイルミネーションON時の設定値
※地図画面では、明るさとコントラストのみ表示されます。

別売品(システムアップ)について

別売品が必要な機能	別売品の名称
本機で車載カメラ映像を見る	・リヤビューカメラ
本機でiPodビデオを見る	・iPod用接続ケーブル ※DockコネクタのあるiPodのみビデオ対応しています。
本機で外部機器の映像を見る／ 音声を聞く (VTRソースの場合)	・AVケーブル 

お知らせ

・本機で使用できる別売品については、お買い上げの販売会社におたずねください。

商標など

- **Bluetooth**®および**Bluetooth**®ロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。
- “NaviCon”は株式会社デンソーの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for iPod iPhone

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iTunes is a trademark of Apple Inc.
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、およびInternet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- “WALKMAN®”“ウォークマン®”はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”は、ソニー株式会社の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- VICS®は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

商標など

- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本製品には、以下のMozilla Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれています。
  ・以下のオリジナルコードからの派生コード
  　js-1.5.tar.gz
  ・上記オリジナルコードの初期開発者
  　Netscape Communications Corporation

  お客様は、以下のホームページに掲載されるMozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/
  なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
  また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ホームページに掲載されるファイル情報	
・修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- **MD5 Message-Digest Algorithm**

  Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

  License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

  License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

  RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

  These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

  Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から３年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000 kmまでといたします。
同梱の保証書に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。
それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの販売会社にご相談ください。

さくいん

あ 行

案内画面の表示設定……D-7
案内スタート／案内ストップ……C-19
イコライザー設定……I-23
一般優先(ルート探索条件)……C-4
緯度・経度探索……C-12
緯度経度を表示／非表示……D-3
ウォークマン®……I-15
ウォークマン®対応可能機種……N-34
ウォークマン®の取り付け／取り外し……I-18
迂回ルート探索……C-24
英語表示……F-8
映像の調整……N-6
エコ運転診断……E-7
エラーメッセージ……M-14
お買い上げ時の状態への戻しかた……N-43
お気に入り地点を削除……D-16
お気に入り地点を編集……D-12
オプションボタン……F-10
音楽ファイルについて……N-40
音声案内……F-9, N-11

か 行

各部の名称と機能……A-10
画面消……A-14
韓国語表示……F-8
冠水注意ポイント表示……B-3
キー操作音……F-10
季節連動(標高地図色)……D-2
距離優先(ルート探索条件)……C-4
緊急情報(FM多重)……E-6
携帯電話のアドレス転送……L-7
経由地に設定……B-13
経由地の入れ替え……C-18
経由地の削除……C-18
経由地の変更……C-18
経由地への残距離表示……B-10, D-7
経由地を追加……C-17
現在地を表示……B-2
交差点情報……D-7, D-8
高速道路逆走報知……D-10
交通情報……I-8

さ 行

細街路……B-4
再生できるディスク……N-30
再生モード……I-6, I-12, I-13, I-17, I-21
サンプリング周波数……N-40
時間規制道路を考慮……C-26
時間連動……D-2
自車マーク……B-3, N-3
システム情報……N-4
施設の詳細……B-13
自宅(オプションボタン)……F-10
自宅登録……B-9
自宅登録の削除……D-16
自宅へのルート探索……C-14
自宅編集……D-12
自動再探索……C-25
自動(ルート探索条件)……C-4
シミュレーション走行……C-23
シャッフル再生(iPod)……I-12
ジャンル検索……C-9
住所検索……C-5
渋滞予測回避……C-21
渋滞予測ルート……C-21
周辺施設検索……C-7
出荷状態への戻しかた……N-43
出発地に設定……B-13
出発地の変更……C-15
主要地図更新……H-3
消音(オプションボタン)……F-10
初期化……N-43
初期設定一覧……N-45, N-47
スキャン再生……I-6, I-17
ステアリングオーディオリモコンスイッチ……N-39
スマートIC……C-25, C-26
スモール連動……D-2
セキュリティインジケータ……A-10, F-3
セキュリティ設定……F-2
接続確認……N-5
接続設定(**Bluetooth**® Audio)……F-14
接続設定(携帯電話)……F-12
センサー学習結果の初期化……N-43
走行軌跡……D-6

た 行

探索条件……C-4, C-18, C-25
地図画面の見かた……B-2
地図記号……B-4
地図情報表示設定(情報バー)……D-3
地図スクロールでルート探索……C-14
地図の拡大・縮小……B-8
地図表示(方位)の切り替え……B-5
地点を登録……D-11
地点を編集……D-12
中国語表示……F-8
ディスクについて……N-30
ディスクの挿入……A-15
ディスクの取り出し……A-15
テナント情報……B-13
電話番号検索……C-11
電話リダイヤル発信(オプションボタン)……F-10
統計交通情報……C-21, C-25, C-27
到着予想時刻表示……B-3
盗難多発地点表示……B-3, F-4
登録削除(**Bluetooth**® Audio)……F-14
登録削除(携帯電話)……F-14
登録設定(**Bluetooth**® Audio)……F-13
登録設定(携帯電話)……F-11
登録地点検索……C-6
登録地点の並び替え……D-15
登録地点の編集……D-12
登録地点を削除……D-16
登録地表示設定……D-4

な 行

日時指定探索……C-22

は 行

バージョン情報……N-4
ハイウェイモード……B-11
パスワード……F-2
ハンズフリー通話設定……L-6
ハンズフリーフォン……L-2
ビットレート……N-40
標高地図表示……D-2
フェリーを優先……C-25
フォルダ名編集……D-14
複数ルート探索……C-4
方面看板表示……D-8
保存したルートの削除……C-20
保存したルートの呼び出し……C-20

ま 行

マップコード検索……C-11
マルチセッション……N-42
名称検索……C-2
目安線(リヤビューカメラ)……G-2
メンテナンス設定……F-6
目的地に設定……B-13
目的地の入れ替え……C-18
目的地の変更……C-15
目的地への残距離表示……B-3
目的地履歴探索……C-8
目的地を追加……C-16
文字サイズ(地図設定)……D-2
文字修正……A-17
文字入力……A-16

や 行

ユーザーカスタマイズ……F-7, F-8
有料優先(ルート探索条件)……C-4

ら 行

ラジオ……I-7
ランダム再生……I-6, I-17, I-21
ランドマーク……D-4
リダイヤル……L-4
リピート再生……I-6, I-12, I-17, I-21
リヤビューカメラ……G-2
ルート学習……C-27
ルート学習結果の初期化……N-43
ルート情報……B-10
ルート全表示……C-19
ルート沿い……C-7
ルート探索……C-1, C-21
ルート探索条件設定……C-25
ルート変更……C-15

わ 行

ワンセグ……J-5

数字・アルファベット

3D表示……B-5
AAC……N-40
AUX(外部入力)……K-2
AV情報表示設定(情報バー)……D-3
AVソース切替(オプションボタン)……F-10
AVのON／OFF……I-3
Bluetooth® Audio……I-19
E1Grand Prixのご案内……E-8
eco(ルート探索条件)……C-4
FM多重……E-2
GPS受信表示……B-3
GPS情報を見る……N-4
iPod……I-9
iPod／iPhone対応可能機種……N-35
iPod抜き忘れ案内設定……F-5
iPodの接続……I-14
JCTビュー表示……D-7
Language……F-8
MAPCODE……C-11
MAPCODE表示設定(情報バー)……D-3
MP3……N-40
NaviCon……C-13
Quick MENU……B-12, B-14
SDHCカード……N-31
SDカード……A-15
SDカードについて……N-31
SDカードの初期化……N-43
SDカードの挿入……A-15
SDカードの取り出し……A-15
TVの初期化……N-43
USBメモリー……I-15
USBメモリーについて……N-33
USBメモリーの取り付け／取り外し……I-18
VICS……E-2
VICS自動再探索……C-27
VICS渋滞情報(矢印表示)……E-3
VICS情報……E-2
VICS情報を考慮……C-25, C-27
VICSタイムスタンプ……C-21
VICSマーク……E-3
VTR(外部入力)……K-2
WALKMAN®……I-15
WALKMAN®対応可能機種……N-34
WALKMAN®の取り付け／取り外し……I-18
WMA……N-40

本機は、三菱自動車工業株式会社向けに、パナソニック株式会社オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社が開発・製造しています。
お問い合わせは、裏表紙に記載の「三菱自動車　お客様相談センター」へお願いいたします。

MITSUBISHI MOTORS

お問い合わせ，ご相談は下記にお願いいたします。

三菱自動車
お客様相談センター
(Customer Relations)

全国共通フリーダイヤル
(Toll Free)
☎0120-324-860

お客様の個人情報は厳重に取り扱い，お問い合わせへの対応に使用いたします。
また，ご相談内容によっては適切な対応をさせていただくため，三菱自動車販売会社等へ必要な範囲で情報を開示し，当該販売会社等からお客様にご連絡を取らせていただく場合もございますので，予めご了承ください。
なお，当社における個人情報の取り扱いの詳細については三菱自動車ホームページ（www.mitsubishi-motors.co.jp）にて記載しております。